平成31年度（2019）

履修の手引

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部

平成31年度(2019)

履修の手引

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部

は　じ　め　に

この「履修の手引」は、学生諸君が４年間にわたって本学で学修していくうえで必要な事項をまとめた手引きです。

奈良学園大学では、学修に必要な数多くの教育科目を開設しています。学生諸君は、自分の目標や興味・関心に基づき、本学の定める履修規程に従って、履修する授業科目を選択し、主体的に履修を完遂してください。自ら責任をもって計画を立て学修することは、大学教育の大きな柱の一つです。

学修においては一定の成果を修め、卒業に必要な単位を修得していかなければなりません。この「履修の手引」を熟読し、効果的な履修計画を立て、有意義な学習ができるよう期待しています。

目　次

建学の精神 …… 6

教育理念 …… 6

保健医療学部の教育目的 …… 6

奈良学園大学　教育のポリシー
1）アドミッションポリシー …… 7
2）ディプロマポリシー …… 7

2019 年度　学年暦及び行事予定表
1）看護学科 …… 8
2）リハビリテーション学科 …… 12

Ⅰ　履修要項（2学科共通）

1．教育課程
1）教育課程（カリキュラム）…… 15
2）単位制 …… 15
3）単位の計算方法 …… 15

2．履修登録
1）履修登録 …… 16
2）履修制限 …… 17
3）履修登録の変更・取消 …… 17

3．授　業
1）授業時間 …… 17
2）休講 …… 18
3）臨時休講 …… 18
4）補講 …… 18
5）公欠・長期欠席等 …… 19
6）学校で予防すべき感染症 …… 19

4．試　験
1）定期試験 …… 20
2）論文（レポート）試験・提出 …… 20
3）追試験 …… 20
4）再試験 …… 21
5）試験受験の心得 …… 21
6）不正行為（カンニング）…… 22

5．成　績
1）成績評価 …… 22
2）成績発表 …… 22
3）成績通知書と修得単位 …… 22

6．卒業の要件
1）卒業の要件 …… 23
2）卒業に必要な単位数 …… 23

7．ＧＰＡ制度
1）ＧＰＡ制度導入の趣旨 …… 23
2）ＧＰＡの算出方法 …… 23
3）ＧＰＡの算定基準 …… 23
4）ＧＰＡの算出例 …… 24
5）ＧＰＡ値の確認方法 …… 24

8．オフィス・アワー …… 24

Ⅱ　看護学科（2018 年度以降入学生）

1．履修規程（2018 年度以降入学生） …… 27

2．履修に関する留意点
1）授業の形態 …… 29
2）授業への出席 …… 29
3）履修指導の体制 …… 29
4）再受験科目 …… 29
5）看護学実習科目の履修に関する留意点 …… 29
6）課程選択に伴う履修上の留意点 …… 30
7）課程選択の決定 …… 30

3．教育目的と教育課程編成の考え方
1）教育目的 …… 30
2）教育課程編成の考え方 …… 30

4．ディプロマポリシーとカリキュラムマップ
1）カリキュラムマップ …… 31
2）ディプロマポリシーを構成する要素 …… 31

5．看護学実習の概要
1）看護学実習の概要と開講時期 …… 39
2）看護学実習要綱 …… 39
3）看護学実習の評価 …… 40
4）実習中の事故防止と対処 …… 40
5）感染防止 …… 40

6．看護師・保健師課程選択者選考要領 …… 41

7．看護師・助産師課程選択者選考要領 …… 43

授業科目表 …… 45

課程選択別履修モデル …… 48

Ⅲ　看護学科（2017 年度以前入学生）

1．履修規程 …… 51

2．履修に関する留意点
1）授業の形態 …… 53
2）授業への出席 …… 53
3）履修指導の体制 …… 53
4）看護学実習科目の履修に関する留意点 …… 53
5）再受験科目 …… 53
6）課程選択に伴う履修上の留意点 …… 53
7）課程選択の決定 …… 54

3．教育目標と教育課程編成の考え方
1）教育目標 …… 54
2）教育課程編成の考え方 …… 54
3）教育課程全体の特色 …… 55
4）教育課程の概要 …… 56

4．看護学実習の概要
1）看護学実習の概要と開講時期 …… 60
2）看護学実習要綱 …… 61
3）看護学実習の評価 …… 61
4）実習中の事故防止と対処 …… 61
5）感染防止 …… 61

5．看護師・保健師課程選択履修要領 …… 62

6．看護師・助産師課程選択履修要領 …… 64

授業科目表 …… 66

課程選択別履修モデル …… 69

Ⅳ　リハビリテーション学科

1．履修規程 …… 75

2．履修に関する留意点
1）授業の形態 …… 77
2）授業への出席 …… 77
3）履修指導の体制 …… 77
4）再受験科目 …… 77
5）臨床実習科目の履修に関する留意点 …… 77

3．教育目標と教育課程編成の考え方
1）教育目標 …… 78
2）教育課程編成の考え方 …… 78

4．ディプロマポリシーと科目の関連性
理学療法学専攻 …… 80
作業療法学専攻 …… 84

授業科目表 …… 87

選択科目履修モデル …… 91

建　学　の　精　神

高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する。

教　育　理　念

現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をつちかい、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成する。

保健医療学部の教育目的

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力をそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者を育成することを目的とする。

奈良学園大学　教育のポリシー

1．アドミッションポリシー（admission policy　入学者受入方針）

①大学教育を受けるに相応しい基礎能力や体験を備え、本学での教育を通じて社会人としての一層の成長が期待できる学生を受け入れる。

②実践を重視した演習課題に、積極的にとりくむ意欲のある学生を受け入れる。

③地域社会との交流に関心を持ち、将来、社会全体の発達・発展に貢献する事に使命感を持つ学生を受け入れる。

2．ディプロマポリシー（diploma policy　卒業認定・学位授与に関する方針）

本学は、所定の単位を修得し、以下のような「実践力」を身につけた学生に対して、その卒業を認定する。

①高度な学識と実務能力に基く実践力

②時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をもつ実践力

③社会に貢献することのできる実践力

平成 31 年度（2019） 学年暦及び行事予定表

【看護学科】

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1年次生
4月		1	2	3	4	5	6	3日（水） 入学式 4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日） 履修登録 5日（金）～6日（土） 新入生学外宿泊研修（1泊2日） 5日（金）・8日（月） 教科書販売 8日（月）～14日（日） 履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始 20日（土） 保護者懇談会（3,4年次生） 20日（土） 4月29日の授業日	3日（水） 入学式 4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日） 履修登録 5日（金）～6日（土） 新入生学外宿泊研修（1泊2日） 5日（金）・8日（月） 教科書販売 8日（月）～14日（日） 履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
5月				1	2	3	4	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月）全年次生授業実施日 11日（土） 4月30日の授業日 25日（土） 5月1日の授業日	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月）授業実施日
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
6月							1	22日（土） 保護者懇談会（1,2年次生）	22日（土） 保護者懇談会
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30								
7月		1	2	3	4	5	6	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					
8月					1	2	3	1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示	1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
9月	1	2	3	4	5	6	7	9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始（1,2,4年次生） 23日（月） 授業実施日	2日（月）～13日（金） 基礎看護学実習Ⅰ 9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始 23日（月） 授業実施日
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							

2 年 次 生	3 年 次 生	4 年 次 生
4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）・8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始	4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）・8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始 20日（土） 保護者懇談会	4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）・8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始 20日（土） 保護者懇談会
2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月） 授業実施日	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月） 授業実施日	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月） 授業実施日 6日（月）～6月7日（金） 統合看護学実習
22日（土） 保護者懇談会		
15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験
1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示	1日（木）～6日（火） 実習オリエンテーション 7日（水）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 追再試験成績開示 26日（月）～3月6日（金） 各領域実習	1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示
9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始 23日（月） 授業実施日	9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間	9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始 23日（月） 授業実施日

【看護学科】

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1年次生
10月			1	2	3	4	5	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
11月						1	2	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
12月	1	2	3	4	5	6	7	21日（土） 年内授業最終日 22日（日）～1月9日（木） 冬期休業	21日（土） 年内授業最終日
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
1月				1	2	3	4	10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了 21日（火）～27日（月） 後期定期試験（1,2年次生）	10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了 21日（火）～27日（月） 後期定期試験
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
2月							1	7日（金） 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き (1,2年次生)	7日（金） 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
3月	1	2	3	4	5	6	7	2日（月）,3日（火） 後期追再試験 10日（火） 成績開示 15日（日） 卒業式・学位記授与式	2日（月）,3日（火） 後期追再試験 10日（火） 成績開示
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						

2 年 次 生	3 年 次 生	4 年 次 生
13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日（日） 学園祭（三室祭） 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)
1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日	1日（金） 創立記念日　授業実施日	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日
21日（土） 年内授業最終日	21日（土） 年内授業最終日	7日（土） 年内授業最終日 9日（月）～14日（土） 後期試験 19日（木） 成績開示 19日（木）,20日（金） 後期追再試験手続き日
10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了 21日（火）～27日（月） 後期定期試験 31日（金） 基礎看護学実習Ⅱ オリエンテーション	6日（月） 年明け各領域実習開始	10日（金）～11日（土） 後期追再試験
3日（月）～28日（金） 基礎看護学実習Ⅱ 7日（金） 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き		7日（金） 成績開示
2日（月）,3日（火） 後期追再試験 10日（火） 成績開示	10日（火） 成績開示	15日（日） 卒業式・学位記授与式

【リハビリテーション学科】

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定
4月		1	2	3	4	5	6	3日（水）　入学式 4日（木）　ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）～6日（土）新入生学外宿泊研修（1泊2日） 5日（金）・ 8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月）　前期授業開始 20日（土）　4月29日の授業日
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
5月				1	2	3	4	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月）　全年次生授業実施日 11日（土）　4月30日の授業日 25日（土）　5月1日の授業日
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
6月							1	22日（土）　保護者懇談会
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
7月		1	2	3	4	5	6	15日（月）　授業実施日 20日（土）　前期授業終了 25日（木）～31日（水）　前期定期試験 ※7月中　早期体験実習オリエンテーション、事前学習セミナー
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
8月					1	2	3	1日（木）～9月15日（日）　夏期休業 1日（木）～8日（木）　早期体験実習（うち3日間） 6日（火）　成績開示 7日（水）～8日（木）　前期追再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火）　前期追再試験 10日（土）　早期体験実習終了後セミナー 23日（金）　成績開示
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9月	1	2	3	4	5	6	7	9日（月）～15日（日）　履修登録 16日（月）　授業実施日　後期授業開始 16日（月）～22日（日）　履修登録確認期間 23日（月）　授業実施日
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定
10月			1	2	3	4	5	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭（登美ヶ丘祭）
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			
11月						1	2	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	21日（土） 年内授業最終日 22日（日）～1月9日（木） 冬期休業
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
1月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	21日（火）～27日（月） 後期定期試験
	26	27	28	29	30	31		
2月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	7日（金） 成績開示
	9	10	11	12	13	14	15	13日（木）,14日（金）,17日（月）,18日（火） 後期追再試験手続き
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
3月	1	2	3	4	5	6	7	2日（月）,3日（火） 後期追再試験
	8	9	10	11	12	13	14	10日（火） 成績開示
	15	16	17	18	19	20	21	15日（日） 卒業式・学位記授与式
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

Ⅰ　履修要項（2学科共通）

1. 教育課程

1)教育課程（カリキュラム）

大学において開設される授業科目は、学部・学科の専門に関する科目と、幅広く深い教養を培う科目に分類されます。これらの授業科目を必修科目・選択科目に分けたり、各年次に配当したり、一週間あたりの時間数を決めるなどして編成したものを教育課程（カリキュラム）といいます。

2)単位制

大学では、高等学校と違い「単位制」が大きな役割を持っています。

本学で開講している各授業科目には、それぞれに「単位数」が定められています。学生諸君は、単位数の定められた授業科目を履修し、その成績が合格点（60点以上）であれば、その所定単位は認定され、単位を修得したことになります。修得した単位数の履修区分ごとの合計が卒業に必要な単位数を満たし、かつ、在学期間が４年以上となった時点で卒業することができます。

3)単位の計算方法

単位数については、文部科学省の定める大学設置基準によって、45時間の学修を必要とする内容を１単位とするとされています。ただし、ここで言う学修とは、授業時間に加えて、予習・復習及び研究等のための自学自習の時間を含みます。自学自習の時間を保証するために、大学では高等学校までと違って授業の入っていない時間帯があるのです。

以下、学修の典型的なパターンのいくつかを示します。なお、１回分の授業を１コマと数え、１コマ90分を2時間として計算します。

＜1単位30時間の科目の場合＞

●学修時間：45時間×１単位＝45時間

授業時間：（前期15週×２時間）または（後期15週×２時間）＝　半年間30時間

自学自習の時間：半年間15時間

授業 30 時間	自学自習 15 時間

計 45 時間

└─ １週間に１コマ２時間（90分）を15週

＜1単位15時間の科目の場合＞

●学修時間：45時間×１単位＝45時間

授業時間：（半期前半7.5週×２時間）または（半期後半7.5週×２時間）＝　半年間15時間

自学自習の時間：半年間30時間

授業 15 時間	自学自習 30 時間

計 45 時間

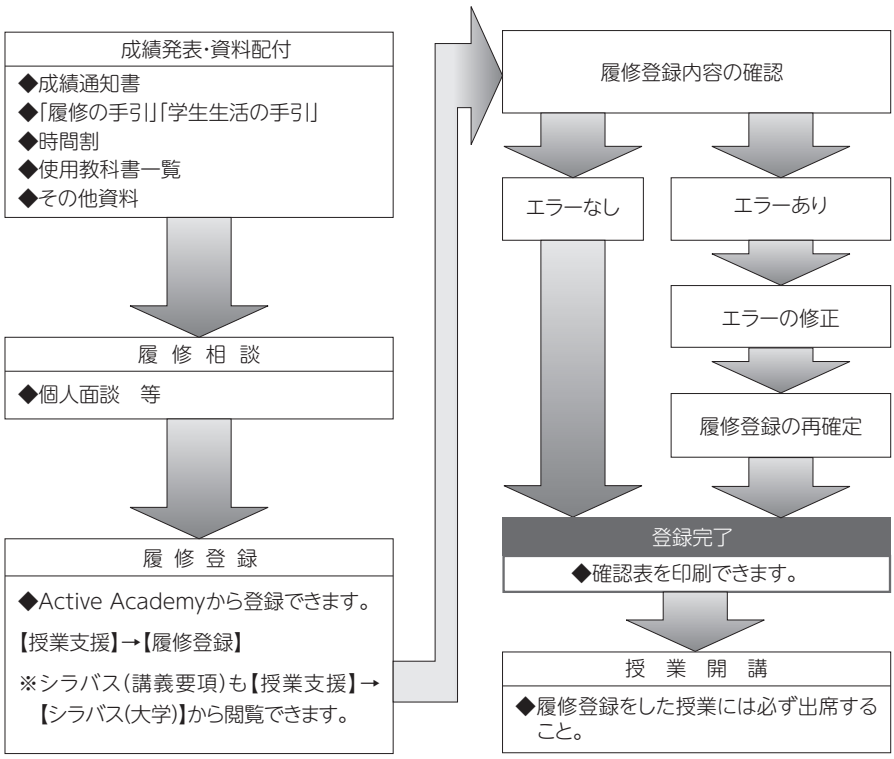
└─ １週間に１コマ２時間（90分）を7.5週

2. 履修登録

1)履修登録

大学では、授業を受講するにあたって、まず履修登録をしなければなりません。

履修登録をしていない科目を受講しても単位は認定されません。履修登録にあたっては、各自の学修計画に基づいて、十分に検討してください。



履修計画の注意点

1．「履修の手引」をよく読み、履修のルール（履修方法や履修規程）をよく知ること。
2．「シラバス（講義概要)」をよく読み、授業の内容や概要をつかむこと。
3．将来の目標に合わせて、必要とする授業科目を選択すること。
4．担任との面談には必ず出席すること。
5．各自の成績通知書を確認し、結果をふまえて履修計画を立てること。
6．必修科目は必ず登録すること。
　前年度の必修科目が修得できなかった場合は再履修すること。
7．選択科目についてもそれぞれの履修区分や単位修得条件について注意してください。
　必修科目ではないからといって履修放棄したり、単位を落としたりしてはいけません。
8．卒業必要単位をギリギリ履修するのではなく余裕ある単位修得計画が必要です。

2)履修制限

履修できる授業科目数は、その授業科目の合計単位数で制限されており、学年ごとに履修登録可能な授業単位数の上限が決められています。この履修制限は、予習・復習等の自習時間を十分にとれるようにし、自ら学修を深めてもらうためのものです。

履修制限の単位数は次表のように定められており、この単位数を超えて履修することはできません。

履修登録の際には、卒業までの履修計画と合わせて履修制限内で登録の科目を考えてください。

■保健医療学部　看護学科　履修制限単位（2018年度以降入学生）

学　年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学　期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	48		48		48		48	

■保健医療学部　看護学科　履修制限単位（2017年度以前入学生）

学　年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学　期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	45		45		45		45	

■保健医療学部　リハビリテーション学科　履修制限単位

学　年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学　期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	48		48		48		48	

3)履修登録の変更･取消

履修登録確定後に変更する場合は、「学年暦及び行事予定表」（pp8 ～ 13）に示された「履修登録確認期間」内に大学事務室（教務課）に申し出てください。

ただし、次の科目は変更できません。

ア．必修科目

イ．履修制限科目（定員があり、それを充足した科目）

①変更したい場合

「履修登録確認期間」内に、各自で Active Academy にアクセスし、変更してください。期間を過ぎての変更はできません。

②取消したい場合

前期・後期とも、第６週目の授業終了までに、所定の用紙に理由等を記入し、大学事務室（教務課）で申請してください。ただし、理由によっては認められない場合もあります。

3. 授　業

1)授業時間

１回の授業時間は90分です。通常、月曜日～金曜日は１～5時限で、土曜日は１～２時限で行います。

ただし、集中講義や補講などでこれ以外の時間帯に授業を行う場合があります。掲示板や学年暦及び行事予定表（pp8～13）で確認してください。

校時表

時　限	時　　間
1	9：00 ～ 10：30
2	10：40 ～ 12：10
昼　休　み	
3	13：00 ～ 14：30
4	14：40 ～ 16：10
5	16：20 ～ 17：50
6	18：00 ～ 19：30

2)休講

大学の事情（入学試験等）や担当教員のやむを得ない理由（病気、出張等）により、休講になることがあります。

休講通知は、原則として１週間前に掲示します。ただし、急な事情のときは、やむを得ず当日に掲示されることもありますので、登校時には必ず掲示板を確認するようにしてください。

また、休講の掲示もなく、授業開始時刻から30分過ぎても担当教員が来室しない場合は、大学事務室に連絡して指示を受けてください。

3)臨時休講

下記のア及びイの場合は、臨時休講となります。学生は各自で情報を的確に収集し、それぞれの判断で以下の定めに従って行動してください。その際、大学への問い合わせはしないでください。

ア．交通機関ストライキの場合

以下に示すいずれかの交通機関がストライキを行った場合、次の時限が休講となります。

①午前7時の時点で実施されている場合：午前の授業（１・２時限）を休講とする。

②午前10時の時点で実施されている場合：午後の授業（3・４・5・6時限）も休講とする。

鉄道会社	対 象 に な る 路 線
近　　鉄	全　　線

イ．気象警報が発表された場合

対象となる地域	対象となる気象警報の種類
奈良県北西部又は大阪府	特別警報・暴風警報

上記警報が発令された場合、次の時限が休講となります。ただし大雨洪水警報は対象外です。

① 午前7時の時点で警報が発表されている場合：午前の授業（１・２時限）を休講とする。

② 午前10時の時点で警報が発表されている場合：午後の授業（３・４・５・６時限）も休講とする。

交通機関のストライキ及び特別警報・暴風警報発表に伴う授業の休講措置について

スト実施及び特別警報・暴風警報発表時刻	授業の措置
午前７時以前に解除	休講しない
午前 10 時までに解除	午後（3・4・5・6 時限）から授業
午前 10 時を過ぎても解除されない	全日休講

※通学途中、通学が危険かつ困難となった場合は、各自の判断で危険等を回避したのち、大学事務室に届け出てください。

4)補講

休講等によって授業時間数が規定時間数に満たない場合は、補講を行います。補講の日程・教室・時間等は、掲示板で指示します。

5)公欠･長期欠席等

授業は勿論のこと、大学行事への参加は学生の本分です。そのため、次のようなやむを得ない理由で授業を欠席する場合は、大学事務室へ申し出て「公欠届」、「公欠願」及び「欠席届」の手続きを行ってください。ただし、公欠願が認められるのは、１つの授業科目につき、原則３回までです。

なお、公欠を許可された学生は、公欠届または公欠願を、登学次第、速やかに提出し、許可を得、当該授業科目担当教員に提出してください。

欠席理由	届の種類	必要書類等	手続先
忌引 〔父母（養父母を含む）・祖父母・実兄弟または実姉妹〕	公欠届 （忌引）	公的証明書（写し可）と印鑑 〔父母（養父母を含む）３日以内・祖父母１日以内・実兄弟または実姉妹２日以内〕	教務課
感染症 （学校保健安全法施行規則第 18 条に規定）	公欠届 （感染症）	学校感染症治癒証明書 ［書式は本学ホームページからダウンロード］	学生支援センター
交通機関の事故・ストライキ等	公欠届 （交通）	遅延証明書等と印鑑	教務課
災害等	公欠届 （災害等）	官公庁による被災証明書と印鑑	教務課
実習・実習に係る事前訪問	公欠届 （実習関係）	印鑑	教務課
単位互換協定大学等の試験	公欠届 （単位互換）	印鑑	教務課
国または都道府県を代表して、諸行事に参加	公欠届 （特別）	印鑑	教務課
警報発表に基づく欠席	公欠届	通学証明書・遅延証明書等と印鑑	教務課
本学課外活動において学長が認めた公式試合及び行事等に参加（注 1）	公欠願	事前に学生支援センターに届け出ておくこと（同好会は対象外）	学生支援センター
本学が認めるボランティア活動に参加（注 1）	公欠願	印鑑	学生支援センター
就職試験等を受験	公欠願	企業が発行した就職試験の受験を証明するもの	キャリアセンター
病気・怪我等による１週間以上の長期欠席	欠席届	医師の診断書と印鑑	教務課

（注1）実習期間中の公欠願は認めません。

6)学校で予防すべき感染症

学校において予防すべき感染症（第２種）の種類と出席停止期間の基準が決まっています。（学校保健安全法施行規則第18条・第19条）

これらの感染症にかかった場合は、以下の手続をしてください。

感染症名	出席停止期間の基準
インフルエンザ	発症後５日を経過し、かつ、解熱後２日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は５日間の適切な抗菌療法が終了するまで
麻疹（はしか）	解熱後３日を経過するまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後２日を経過するまで
結核	感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがないと認められるまで
その他	◎学校において予防すべき感染症第一種：治癒するまで ◎学校において予防すべき感染症第三種：医師において感染のおそれがないと認められるまで

※出席停止の期間は、学校医、その他の医師において、感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

4．試　験

1)定期試験

定期試験、論文（レポート）試験、実技試験、追試験及び再試験があります。なお、この他に担当者の判断で小テスト等の臨時試験を実施する場合もあります。

定期試験とは期間を定めて行う試験のことであり、試験期間は原則として以下の通りです。

ア．前期試験　７月下旬

イ．後期試験　１月下旬から（1･2年次）、12月中旬（４年次）

試験期間は毎年度、学年暦によって決定されます。

定期試験の時間割表は、試験の１週間前までに２号館１階、1号館1階掲示板に掲示します。

試験教室は通常授業の教室とは異なる場合があります。試験教室についても、試験の１週間前までに掲示板に掲示します。

2)論文(レポート)試験･提出

授業科目によっては、論文（レポート）試験や実技試験等によって成績評価を行う場合があります。これらは定期試験の代わりとなるものですから、提出期限や条件等は厳格に守ってください。なお、論文（レポート）試験や実技試験は、担当教員が直接授業中に指示する場合と、掲示板を通して指示する場合があります。

また、試験とは別に、担当教員からレポート課題が課せられることがあります。この場合、担当教員が授業中に直接指示します。

提出期限	指定された提出期日・時刻は厳守することが必要です。 **締切後の提出は一切、受理できません。**
提 出 先	指定された所へ提出してください。 （指定された提出先以外では受理できません） ①担当教員 ②授業時間中もしくは授業担当者の研究室 ③大学事務室窓口（レポート提出 BOX）
受付時間	◎平日　8：30 ～ 16：30 ◎土曜　8：30 ～ 13：00 この時間内でも特に担当教員の締切時刻がある場合は、その締切時刻以降は一切、受理できません。

3)追試験

追試験とは、やむを得ない正当な理由によって定期試験当日に受験できなかった学生又は論文（レポート）試験でレポートを提出することができなかった学生に対して定期試験期間後に実施する試験のことをいいます。

追試験を希望する場合は、理由を証明する書類を添えて期間内に大学事務室教務課に申し込んでください。

追試験の日程・試験教室については、２号館１階、１号館１階掲示板に掲示します。

欠 席 理 由	証　明　書	備　　考
疾病等 （病気・怪我等）	医師の診断書	家族の病気の付き添い等は認めません。
忌引	公的証明書（写し可）と印鑑	父母（養父母を含む）３日以内・祖父母１日以内・実兄弟姉妹２日以内。 法事による欠席は認めません。
就職試験等を受験	企業等が発行した就職試験受験を証明するもの	会社訪問、セミナー、研修等は認めません。

交通障害	遅延証明書・事故証明書	20 分以内の遅延は認めません。 バイク、マイカー使用に起因する交通事故及び交通渋滞による遅刻は認めません。
災害（地震・台風・火災・水害等）	官公庁による被災証明書	本人又は家族の居住地が被災した場合に限ります。
その他（本人の不注意によらない理由であること）	公的な証明書	事前に判明している場合は、大学事務室に問い合わせてください。 資格試験等は認められません。

追試験を受験するためには、上表のように、当該試験を受験できなかったことが公的な証明書により明確に証明されなければなりません。例えば、診断書に証明されている日時が試験日時と一致しない場合は、受付できませんので注意してください。

公的な証明書が添付されていなければ、理由の如何を問わず、追試験を受験することはできません。例えば、風邪などにより、自宅で療養していた場合は、医師の診断書がないため受付できません。必ず医師の診断を受けておくことが必要です。

忌引、就職試験、災害などによる欠席において遠隔地にいた場合は、往復のための所要日数も考慮しますので大学事務室に申し出てください。

4)再試験

再試験とは、試験等で不可となった学生に対して、次の実施要領に従って実施する試験のことをいいます。

（1）目的

再試験とは、履修登録を行った科目の単位を修得することができなかった学生を対象とする試験である。

（2）受験範囲

試験等の結果、前期・後期で「不可」となった科目について、各学期末に受験することができる。

（3）再試験を許可される科目

担当教員が受験を認めた科目。

（4）受験手続き

① 受験希望者は期日内に「再試験願」を大学事務室に提出しなければならない。
② 再試験料は 1 科目 1,000 円とする。
③ 再試験時間割は掲示により発表される。

5)試験受験の心得

受験に際しては、次の注意事項を厳守してください。

（1）学生証を机上に置き、公正な態度で受験する。
（2）学生証・筆記用具・時計等の許可された物品以外は、すべてかばんの中に入れる。
（3）携帯電話は電源を切り、かばんの中にいれる。
（4）試験開始後 20 分が経過した場合には入室することはできない。また、試験開始後、30 分が経過するまでは退室することはできない。
（5）出席不良等で受験停止を命じられている者は、受験することができない。
（6）履修登録をしていない科目は、受験することができない。
（7）質問がある時は、手を挙げて試験監督者に知らせる。
（8）許可された物以外のものが机上または机の中にある時は、不正行為とみなす場合がある。また、物品の貸借は認めない。
（9）解答用紙を試験場外に持ち出した場合は、当該試験を無効とする。
（10）試験中に不正行為を行った者は、厳しい処分を科す。

試験当日、学生証を忘れた場合

大学事務室内の自動証明書発行機で『仮学生証』（100 円）を購入し、試験科目名、試験教室を記入して、机上に置くこと。
※『仮学生証』は発行当日のみ有効
※ 年間 10 枚のみ発行

6)不正行為（カンニング）

試験中の次の行為は、不正行為とみなします。

（1）カンニングペーパーまたはこれに類似するものを試験中に所持または使用すること。
（2）他人に受験させ、または他人の代わりに受験すること。
（3）他人の答案をのぞき見することまたは故意に見せること。
（4）答案用紙を交換すること。
（5）持込みを許可されていない物品を参照すること。
（6）他の受験者と私語をすること。
（7）物品の貸借をすること。
（8）試験監督者の指示に従わないこと。
（9）その他不正行為を疑われるような行為をすること。

試験中に不正行為をした者については、当該学期に履修登録した**全授業科目の単位を無効**とします。ただし、演習科目・実技科目の単位についてはこの限りではありません。

5．成　績

1)成績評価

成績は 100 点を満点とし、60 点以上を合格とします。履修した科目の成績評価は筆記試験・論文・レポート・実技テストその他、授業担当者の定める評価基準により行われます。

成績通知は科目ごとに、次の評価によって発表します。

	点　数	評　価	成績通知書	成績証明書	単　　位
5段階評価	90 点～ 100 点	秀	秀	秀	単位認定（修得）
	80 点～ 89 点	優	優	優	
	70 点～ 79 点	良	良	良	
	60 点～ 69 点	可	可	可	
	0 点～ 59 点	不可	不可	表示しない	単位不認定（未修得）
	評価不能	不可	不可	表示しない	

2)成績発表

成績発表は、原則として、学期末（前期末又は後期末）に成績通知書を学生個人に配付することによって行います。成績発表の日程については、学年暦で確認してください。

また、**成績に関する問い合わせは、成績発表後２週間以内**に大学事務室に申し出て、「成績評価問い合わせ票」に必要事項を記入・捺印のうえ提出してください。電話での問い合わせは受け付けません。

3)成績通知書と修得単位

学期末の成績通知書には、その学期に受講した科目の成績評価（秀・優・良・可・不可）と、入学年度からの単位修得（合格）した科目の成績評価を示しています。

また、成績通知書には、履修区分別の単位修得表も掲載されています。指定された科目群の中から一定の単位を修得する必要がありますので、各自の成績表と比較して、卒業に必要な科目が何かを知るうえでの参考にしてください。

※注　意

①前期の成績通知書
　○前期開講科目…確定した成績評価
　○集中開講科目…確定した成績評価（８月中に授業が終了した科目のみ）
②後期の成績通知書
　○前期開講科目…前期に確定した成績評価
　○通年科目……前期と後期の成績をもとに最終的に確定した成績評価
　○後期開講科目…確定した成績評価
　○集中開講科目…確定した成績評価
※ 成績評価は、秀・優・良・可・不可で示す。

6. 卒業の要件

1)卒業の要件

本学保健医療学部では、卒業するために次の条件を満たす必要があります。

ア．４年間以上の在学（休学期間を除く）

イ．本学保健医療学部が定める卒業に必要な科目、並びに卒業に必要な単位数以上の修得

2)卒業に必要な単位数

看護学科 2018 年度以降入学生は 27 ページ、2017 年度以前入学生は 51 ページ、リハビリテーション学科学生は 75 ページの履修規程第４条を参照してください。

7. GPA制度

1)GPA制度導入の趣旨

本学では成績評価に加えて、GPA（Grade Point Average）を導入しています。

GPA とは成績評価方法の１つで、履修科目の成績の平均を数値化したものです。また、ただ単位を修得すればいいということではなく、その質（成績の評価）も重要となるため、学生の皆さんが自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるよう制度を設けています。

2)GPAの算出方法

履修登録科目のうち GPA 対象科目について、各科目の成績評価（秀・優・良・可・不可）に応じて５段階（４、3、２、１、0）に分けて数値化した評価点（Grade Point）に単位数を掛けたものを総合計し、履修登録科目の総単位数で割ることにより算出します。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{対象科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価点})]\text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$$

※ 小数第３位を四捨五入

3)GPAの算定基準

		評　価	得　点	評価点 (Grade Point)
判　定	合　格	秀	100 ～ 90 点	4
		優	89 ～ 80 点	3
		良	79 ～ 70 点	2
		可	69 ～ 60 点	1
	不合格	不可	0 ～ 59 点	0
無判定	その他	認定	他大学又は短期大学等で修得し、本学部で認定された単位	－

4)GPAの算出例

授業科目名	単位数	成　績	評価点(GP)	単位数 × 評価点(GP)
日本国憲法	2	秀	4	8
看護学概論	2	優	3	6
保健医療学概論	1	良	2	2
奈良学	2	不可	0	0
看護理論	1	優	3	3
免疫学	1	良	2	2
計	9			21
	[単位数 × 評価点(GP)の合計] ÷ [単位数の合計] = GPA 21 ÷ 9 = 2.33 ※ 小数第3位を四捨五入			

5)GPA値の確認方法

GPA 値は成績・履修状況一覧表で確認できます。GPA 値には、学期 GPA と累積 GPA があり、学期 GPA は当該学期の GPA 値を、累積 GPA は通算した GPA 値を示します。

8.オフィス・アワー

オフィス・アワーとは、教員が指定した曜日・時間帯に学生が自由に研究室を訪れ、授業内容・学修上の問題等について質問や相談ができる制度です。

各教員が指定した曜日・時間帯は、新学期当初に掲示します。授業担当の教員を始め、多くの教員に、授業や学生生活に関することなどを相談してください。

なお、相談に際してはマナーを心がけ、有効に活用してください。

看 護 学 科

Ⅱ　看護学科（2018年度以降入学生）

1. 履修規程

（総　　則）

第１条　本学学則第 13 条第３項の規定に基づき、保健医療学部看護学科（以下「本学科」）の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

（卒業資格）

第２条　本学科を卒業するためには、４年以上在学し、132 単位以上を修得しなければならない。

２　看護師･保健師課程選択を選択した場合は、143 単位以上を修得しなければならない。

３　看護師･助産師課程選択を選択した場合は、155 単位以上を修得しなければならない。

（授業科目の区分）

第３条　授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。

２　共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養科目、キャリア形成科目、及び導入基礎科目に区分する。

３　専門基礎科目は、これを人間の理解、環境の理解、健康の理解に区分する。

４　専門教育科目は、これを看護の考え方と方法、看護学の総合と発展、公衆衛生看護学、及び助産学に区分する。

（授業科目の履修）

第４条　本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

（１）共通教育科目	２５単位以上
（２）専門基礎科目	３０単位以上
（３）専門科目	７３単位以上
（４）専門基礎科目および専門科目の選択科目	４単位以上

（単　　位）

第５条　各授業科目の単位数は、45 時間の学修を必要とする内容をもって１単位とする。

（配当年次）

第６条　各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

（授業科目の履修制限）

第７条　授業科目については、原則として、年間 48 単位を超えて履修することができない。

（履修登録）

第８条　履修登録は、各学期初めに年２回行わなければならない。

（履修登録の制限）

第９条　授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。

２　同時限に開講される授業科目は、１科目しか登録することができない。

（再登録）

第 10 条　単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。

2　単位を修得することができなかった授業科目は、第７条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

（履修登録の変更）

第 11 条　履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。

2　学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

（授業科目の開講）

第 12 条　授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

（授業の組分け）

第 13 条　履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

（単位の認定）

第 14 条　担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等（以下「試験等」という）、または平素の履修状況（学習態度等）により学修の成果を評価して単位を与える。

2　各授業への出席が授業時間の３分の２（実習においては５分の４）に満たない場合は再履修とする。

（単位認定を受ける資格）

第 15 条　次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。

（１）　授業料その他諸納入金が未納であるとき

（２）　履修登録をしていないとき

（試験等の成績評価）

第 16 条　試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。

（１）　100 点から 90 点まで　　秀

（２）　89 点から 80 点まで　　優

（３）　79 点から 70 点まで　　良

（４）　69 点から 60 点まで　　可

（５）　59 点以下　　不可（不合格）

（受験上の注意）

第 17 条　学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

（再試験等）

第 18 条　試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。

2　再試験等の実施については、別に定める。

3　再試験等で合格した者の成績評価は、60 点（可）とする。

（追試験等）

第 19 条　病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。

2　追試験等の実施については、別に定める。

3　追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附　則

この規定は、平成 31 年４月１日から施行する。

2. 履修に関する留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の３分の２（実習科目においては５分の４）に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30 分未満の場合は３分の１回の欠席扱いとし、30 分以上の場合は１回の欠席扱いとします。

3)履修指導の体制

各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、再履修しなければなりません。ただし、授業科目（原則的に選択科目は除く）については、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります（ただし、成績の評価は 60 点を上限とし、受験回数は１回のみとします。）この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の３分の２以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)看護学実習科目の履修に関する留意点

看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

①基礎看護学実習Ⅱを履修するためには、次の科目の単位を修得していること。「看護学概論」「看護コミュニケーション論」「看護倫理学」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「看護理論」「看護過程演習」「ヘルスアセスメント」「基礎看護学実習Ⅰ」

②３年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、<u>３年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。</u>

③統合看護学実習を履修するためには、<u>３年次後期までのすべての領域別実習の単位を修得していること。</u>

6)課程選択に伴う履修上の留意点

(1) 看護師・保健師課程選択

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、「保健統計（2単位)」と公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目（7科目、13単位）を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

「公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動)」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健)」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、3年次後期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得していること。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話Ⅰ（1単位)」「英会話Ⅱ（1単位)」「健康スポーツ（理論）（1単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作（2単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「健康スポーツ（実技）（1単位)」「日本国憲法（2単位)」の合計8単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師・助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目14科目27単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

「助産学実習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには、3年次後期までのすべての助産師課程の科目とすべての領域実習の単位を修得していること。

7)課程選択の決定

3年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程（20名以内)」、「看護師・助産師課程（女子のみ10名以内)」のいずれかを選択します。「看護師・保健師課程」選択者は保健師国家試験受験資格を、「看護師・助産師課程」選択者は助産師国家試験受験資格を看護師国家試験受験資格と同時に取得することが可能です。

「看護師・保健師課程」ならびに「看護師・助産師課程」の選択は、2年次の終わりに希望調査を行い、3年次の始業までに希望者に対して筆記試験と面接を行い、それらの結果と2年次までの成績を考慮して決定します。

3. 教育目的と教育課程編成の考え方

1)教育目的

2)教育課程編成の考え方

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的としています。

上記の教育目的とディプロマポリシーを実現するため、以下のようなカリキュラムポリシーに基づき、看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格（保健師、助産師は選択制）を取得できるよう保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を満たした教育課程を編成しています。

カリキュラムポリシー

1．豊かな人間性や国際的感覚、汎用的能力を育むための科目を、1年次から4年次までを通して配する。
2．看護専門職者として、対象となる個や集団を理解し、倫理的態度を基本に全人的看護ケアを実践する力を育むための科目を段階的に配する。
3．専門性を発揮しながら、多職種と協働できる力を育むための科目を配する。
4．看護専門職者として自己研鑽できる力を育むための科目を配する。

4. ディプロマポリシーとカリキュラムマップ

1)カリキュラムマップ

2)ディプロマポリシーを構成する要素

ディプロマポリシーと授業科目がどのように関係しているかを示したものをカリキュラムマップと言います。看護学科のカリキュラムマップを 37 ページから 38 ページに示します。

カリキュラムマップでは、ディプロマポリシーを構成しているいくつかの要素に分けて示しています。それぞれの授業科目がどの要素を育成するかを◎または○で示しています。◎は特に重点的に育成することを、○は重点的に育成することを表しています。

看護学科ディプロマポリシー（DP）	構成要素
1．国際的な視点をもち、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を有することができる。	1）国際的な視点 2）幅広い教養 3）豊かな人間性 4）変化に対応できる汎用的能力
2．看護職として個別的で多様な保健医療ニーズに倫理的配慮をもって応えることができる。	1）看護者としての倫理的態度 2）保健医療ニーズを捉える力
3．人間愛に基づき「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、協調性などを備え、主体的に全人的ケアができる。	1）個に対する看護を実践するための専門的知識 2）個に対する看護を実践するための技術 3）創造性と協調性をもって主体的に看護を実践する力
4．学際性を培い、専門性を発揮しながら他職種と連携・協働し、チーム医療を推進することにより社会に貢献できる。	1）他職種と協働するための調整力 2）他職種連携やチーム医療を推進する基礎力

看護学科　カリキュラムマップ

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	DP1 1)国際的な視点	DP1 2)幅広い教養	DP1 3)豊かな人間性	DP1 4)汎用的能力	DP2 1)倫理的態度	DP2 2)保健医療ニーズ	DP3 1)専門的知識	DP3 2)技術	DP3 3)創造性・協調性・主体的実践力	DP4 1)調整力	DP4 2)他職種連携も推進力
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1前	1		◎			○							
		英語Ⅱ	1後	1		◎			○							
		英会話Ⅰ	1前	1		◎			○							
		英会話Ⅱ	1後	1		◎			○							
		中国語基礎Ⅰ	1･2･3･4前		1	◎			○							
		中国語基礎Ⅱ	1･2･3･4後		1	◎			○							
		中国語会話	1･2･3･4前		1	◎			○							
		スペイン語基礎Ⅰ	1･2･3･4前		1	◎			○							
		スペイン語基礎Ⅱ	1･2･3･4後		1	◎			○							
		スペイン語会話	1･2･3･4前		1	◎			○							
		文学	1･2･3･4後		2		◎									
		哲学	1･2･3･4前		2		◎									
		倫理学	1･2･3･4前		2			◎	○	○						
		心理学	1･2･3･4前		2		○	◎								
		行動の科学	1･2･3･4後		2		○	◎								
		文化人類学	1･2･3･4後		2	○	◎									
		音楽の世界	1･2･3･4後		2		◎									
		社会学	1･2･3･4後		2		◎									
		日本国憲法	1･2･3･4前		2		◎									
		歴史学	1･2･3･4後		2	○	◎									
		地理学	1･2･3･4後		2	○	◎									
		数学の世界	1･2･3･4前		2		○		◎							
		自然科学の基礎	1･2･3･4後		2		◎		○							
		環境化学の基礎	1･2･3･4後		2		◎									
		健康スポーツ（理論）	1前	1			◎									
		健康スポーツ（実技）	1･2･3･4後		1		○	◎								
		スポーツ実技Ⅰ	1･2･3･4前		1		○	◎								
		スポーツ実技Ⅱ	1･2･3･4後		1		○	◎								
	共生教養	共生と社会	1･2･3･4後		2		○	◎								
		人権論	1･2･3･4前		2		○	◎								
		ボランティア活動	1･2･3･4前		2			◎	○							
		生活と環境	1･2･3･4前		2		◎									
	国際・地域	奈良学	1･2･3･4前		2		◎									
		異文化コミュニケーション	1･2･3･4後		2	◎	○									
		国際事情	1･2･3･4後		2	◎	○									
	情報教養	情報機器の操作	1前	2			○		◎							
		情報倫理とセキュリティ	1･2･3･4前		2			◎	○	○						
		データの世界	1･2･3･4前		2		○		◎							
		CGの基礎と演習	1･2･3･4後		2		◎									
		情報と分析	1･2･3･4後		2		○		◎							
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	◎							
		キャリアデザインⅡ	1後		1			○	◎							
		キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	◎							
		キャリアディベロプメントⅡ	2後		1			○	◎							
	学びの技法	基礎演習Ⅰ(ラーニングスキルズ)	1前	1					◎							
		基礎演習Ⅱ(文章表現)	1後	1					◎							
		小計（46科目）		9	63											
専門基礎科目	人間の理解	人体構造機能学Ⅰ	1前	2								◎				
		人体構造機能学Ⅱ	1前	2								◎				
		発達心理学	1前	2								◎				
		生化学	1前	1								◎				
		栄養学	1前	1								◎				
		微生物学	1前	1								◎				
		免疫学	1前	1								◎				
	環境の理解	疫学	2後	2								◎				
		公衆衛生学	1後	1								◎				
		社会福祉学	1前	1								◎				
		医療福祉関係法規	1前	1								◎				
		保健医療福祉行政論	2後	2								◎				
		保健統計	2後		2						○	◎				
	健康の理解	保健医療学概論	1前	1								◎				
		病理学	1前	1								◎				
		疾病治療論Ⅰ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅱ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅲ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅳ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅴ	2前	1								◎				
		疾病治療論Ⅵ	2前	1								◎				
		小児疾病治療論	2前	1								◎				
		栄養治療論	2後	1								◎				
		薬理学	1後	2								◎				
		リハビリテーション論	2後	1								◎	○			
		小計（25科目）	-	30	2											
専門科目	看護の考え方と方法	看護学概論	1前	2						○	○	◎				
		看護倫理学	1前	1						◎						
		看護コミュニケーション論	1前	1						○		○	◎			
		基礎看護技術演習Ⅰ	1前	2								○	◎	○		
		基礎看護技術演習Ⅱ	2前	2								○	◎	○		
		看護理論	1後	1								◎				
		看護過程演習	2前	1							◎	○				
		ヘルスアセスメント	2前	1								○	◎	○		
		保健医療倫理学	1後	1						◎		○				
		基礎看護学実習Ⅰ	1前	1						○			○	◎		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2							○		○	◎		
		成人看護学概論	1後	2						○	○	◎				
		成人看護学援助論	2通	2							○	◎		○		
		成人看護援助論演習	3前	2							○	○	◎			
		老年看護学概論	2前	1							○	◎				○
		老年看護援助論	2後	1							○	◎	○			
		老年看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		小児看護学概論	2前	2						○		◎				
		小児看護援助論	2後	1							○	◎				
		小児看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		母性看護学概論	2前	2						○	○	◎				
		母性看護援助論	2後	1							○	◎	○			
		母性看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		精神看護学概論	2前	1						○	○	◎				
		精神看護援助論	2後	1							○	◎	○			
		精神看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		成人看護学実習Ⅰ(急性期･周手術期)	3後	3							○		○	◎		
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	3後	3							○		○	◎		
		老年看護学実習Ⅰ	3後	2							○			◎		○
		老年看護学実習Ⅱ	3後	2							○		○	◎		
		小児看護学実習	3後	2							○		○	◎		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	DP1 1)国際的な視点	DP1 2)幅広い教養	DP1 3)豊かな人間性	DP1 4)汎用的能力	DP2 1)倫理的態度	DP2 2)保健医療ニーズ	DP3 1)専門的知識	DP3 2)技術	DP3 3)創造性・協調性・主体的実践力	DP4 1)調整力	DP4 2)他職種連携も推進力
専門科目		母性看護学実習	3後	2							○			◎		○
		精神看護学実習	3後	2							○			◎		○
		ターミナルケア論	4前		1					○		◎				○
		感染看護	4前		1							◎	○			
		家族看護学	4前		1						○	◎				
		ペインコントロール論	4前		1						○	◎	○			
	看護の統合と実践	在宅看護学概論	2前	1								◎			○	○
		在宅看護援助論	2後	2							○	◎	○			
		在宅看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		在宅看護学実習	3後	2									○	◎	○	
		看護管理学	4前	2								◎			○	○
		チーム医療論	4前	1								◎			○	○
		チーム医療論演習	4後		1							○			◎	○
		統合看護論	4後	2							○	◎				○
		統合看護学実習	4前	2										○	○	◎
		国際看護論	4前	1		◎					○	○				
		国際看護論演習	4後		1	◎						○			○	
		地域包括ケア論	4後		1						○	◎				○
		災害看護学	4後		1							◎	○		○	
		看護教育学	4後		1							◎				
		カウンセリング論	4後		1					○		◎	○			
		卒業研究Ⅰ	4前	1								◎				
		卒業研究Ⅱ	4前後	1					◎	○						
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2							◎					○
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3前		2						○	◎				
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	3前		2						○	◎				
		公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2後	2							○	◎			○	
		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	3前		2						○	◎			○	
		公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	3前	2							○	◎			○	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)	4通		3									◎	○	○
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4通		1								○	◎	○	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4通		1							○	○	◎	○	
		公衆衛生看護学診断演習	4前		2						◎	○	○			
	助産学	助産学概論	3前		2					○		◎				○
		ウィメンズヘルス学	3前		2						○	◎	○			
		周産期医学	3前		1							◎				
		助産診断・技術学Ⅰ	3前		2						○	◎	○			
		助産診断・技術学Ⅱ	3後		2						○	◎	○			
		助産診断・技術学Ⅲ	3後		2						○	◎	○			
		助産診断・技術学演習Ⅰ	3後		1							○	◎	○		
		助産診断・技術学演習Ⅱ	4前		1							○	◎	○		
		助産学実習Ⅰ	4通		2								○	◎	○	
		助産学実習Ⅱ	4通		4								○	◎	○	
		助産学実習Ⅲ	4通		4								○	◎	○	
		助産学実習Ⅳ	4通		1								○	◎	○	
		地域母子保健	4前		1						○	◎				○
		助産管理論	4前		2							◎			○	○
		小計（78科目）	-	73	50											
		合計		112	115											

（注）DP1 ～ DP4 は P31 を参照

保健医療学部看護学科カリキュラム

保健師課程

公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）＊
公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）＊
公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）＊
公衆衛生看護学方法論Ⅱ＊
公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）＊
公衆衛生看護学方法論Ⅰ＊
公衆衛生看護学診断演習＊

助産師課程

助産診断・技術学Ⅰ＊
助産学実習Ⅰ＊
周産期医学＊
助産診断・技術学演習Ⅰ＊
地域母子保健＊
助産学実習Ⅱ＊
ウィメンズヘルス学＊
助産診断・技術学Ⅲ＊
助産管理論＊
助産学実習Ⅲ＊
助産学概論＊
助産診断・技術学Ⅱ＊
助産診断・技術学演習Ⅱ＊
助産学実習Ⅳ＊

看護の統合と実践

卒業研究Ⅱ
卒業研究Ⅰ
統合看護実習
統合看護論
国際看護論
国際看護論演習＊
チーム医療論
チーム医療論演習＊
看護管理学
災害看護学＊
カウンセリング論＊
看護教育学＊
地域包括ケア論＊
在宅看護学概論
在宅看護援助論
在宅看護援助論演習
在宅看護学実習

看護の考え方と方法（発達段階・健康状態に応じた看護）

公衆衛生看護学概論
公衆衛生看護学Ⅰ（地域活動）
公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）
精神看護学概論
精神看護援助論
精神看護援助論演習
精神看護学実習
母性看護学概論
母性看護援助論
母性看護援助論演習
母性看護学実習
小児看護学概論
小児看護援助論
小児看護援助論演習
小児看護学実習
老年看護学実習Ⅱ
老年看護学概論
老年看護援助論
老年看護援助論演習
老年看護学実習Ⅰ
成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）
成人看護学概論
成人看護援助論Ⅰ（急性期・周手術期）
成人看護援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）
成人看護援助論演習
成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）

看護学の拡がりと深まり

家族看護学＊
感染看護＊
ペインコントロール論＊
ターミナルケア論＊

看護の考え方と方法（看護の基礎）

基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護技術演習Ⅱ
基礎看護技術演習Ⅰ
看護コミュニケーション論
ヘルスアセスメント
保健医療倫理学
基礎看護学実習Ⅱ
看護倫理学
看護過程演習
看護学概論
看護理論

健康の理解

薬理学
疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）
疾病治療論Ⅲ（免疫・神経系）
小児疾病治療論
疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌・腎尿路系）
疾病治療論Ⅵ（老年医学）
リハビリテーション論
栄養治療論
病理学
保健医療学概論
疾病治療論Ⅰ（循環器・血液造血器・呼吸器系）
疾病治療論Ⅴ（生殖器系・精神疾患）

環境の理解

保健統計＊
医療福祉関係法規
保健医療福祉行政論
社会福祉学
公衆衛生学
疫学

人間の理解

免疫学
微生物学
栄養学
生化学
発達心理学
人体構造機能学Ⅱ
人体構造機能学Ⅰ

＊は選択科目

共通教育科目

1年次　2年次　3年次　4年次

5. 看護学実習の概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の概要と開講時期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり１年次から４年次まで段階的に実習を開講します。

１年次：基礎看護学実習Ⅰを履修し、臨床現場を経験することで、将来の自分の姿を想像し、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

２年次：基礎看護学実習Ⅱを履修し、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

３年次：各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等、対象の特性に応じた適切な看護を行う能力を養います。

４年次：統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。保健師または助産師課程選択の学生（２年次終了後に選抜）は公衆衛生看護学実習または助産学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時間

必修／選択	実習科目	開講時期	単位
必　修	基礎看護学実習Ⅰ	１年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	２年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	３年次後期	6
	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
	小児看護学実習		2
	母性看護学実習		2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	４年次前期	2
選　択	公衆衛生看護学実習Ⅰ～Ⅲ	４年次	5
	助産学実習Ⅰ～Ⅳ		11

2)看護学実習要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、１年次から継続して実習教育を行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オリエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習の評価	看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とします。 ※ 出席が 4/5 に満たない場合は再履修となります。
4)実習中の事故防止と対処	①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。 ②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。 ※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険（総合補償保険 will 保険）に加入します。
5)感染防止	①自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。 ②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。 ③定期健康診断時（4月）に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体（B型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。3年生は麻疹･風疹の抗体価、HBs 抗体（B型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。 ⅰ 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の学生は母子健康手帳などの予防接種歴（ワクチン接種歴）を確認し、下記の対応をしてください。 ・ワクチンを２回接種している→２回分の接種証明書を提出。 ・ワクチンを１回接種している→ワクチン接種を１回受けて、２回分の接種証明書を提出。 ・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→１ヵ月以上の間隔をあけて、２回予防接種を受ける。接種後、２回分の接種証明書を提出。 提出先：学生支援センター 提出書類：接種証明書（医療明細書または母子健康手帳の写し） 提出期限：基礎看護実習Ⅰが始まる１ヵ月前 なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センターに申し出てください。 ⅱ 結核感染の有無について（T- スポット） 検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。 ⅲ HBs 抗体（B型肝炎）について HBs 抗体陰性（－）の学生はワクチン接種を受けてください。 ※HBs 抗体のワクチンは、３回の接種が必要で、終了までに約７か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。 ⅳ インフルエンザについて 感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

6. 看護師・保健師課程選択者選考要領

（趣旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部看護学科履修規定第２条第２項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目（以下「保健師課程選択科目」という）を選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（保健師課程選択科目の定義）

第２条　保健師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（履修定員）

第３条　保健師課程の履修定員は、原則２０名までとする。

（履修者の決定及び選考）

第４条　前条の保健師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会（以下、「学部企画委員会」という）において行う。

２　履修者の選択は、３年次前期開講までに行う。

３　別表２に定める科目の筆記試験、面接、及び２年次までの成績によって選考する。

４　選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会（以下、「選考委員会」という）が行う。志願者が第３条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

（履修志願手続き）

第５条　保健師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で、２年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。

３　申請に必要な書類は、所定の志願書及び「保健師課程選択志願理由書」とする。

（選考結果の通知）

第６条　保健医療学部長は、第４条による結果を、志願者に対して通知する。

（雑　則）

第７条　この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

（改　廃）

第８条　この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

この要領は、平成２７年９月２日から施行する。

この要領は、平成３０年７月４日から施行する。

別表１　保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
専門科目	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）	2	30
	公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合　　計		15	405

別表２　筆記試験科目

「保健医療学概論」、「公衆衛生学」、「公衆衛生看護学概論」、「社会福祉学」上記科目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識

7. 看護師・助産師課程選択者選考要領

（趣　　旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部看護学科履修規定第２条第３項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目（以下「助産師課程選択科目」という。）を選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（助産師課程選択科目の定義）

第２条　助産師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（助産師課程選択科目の授業時間）

第３条　助産師課程選択科目の授業は、履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

（履修定員）

第４条　助産師課程選択の履修定員は、女子に限り、原則１０名までとする。

（履修者の決定及び選考）

第５条　前条の助産師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会（以下、「学部企画委員会」という）において行う。

２　履修者の選考は、３年次前期開講までに行う。

３　別表２に定める科目の筆記試験、面接、及び２年次までの成績によって選考する。

４　選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会（以下、「選考委員会」という）が、学部企画委員会で決定された選考要領に基づいて行う。志願者が第４条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

（履修志願手続き）

第６条　助産師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で、２年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。

３　申請に必要な書類は、所定の志願書及び「助産師課程選択志願理由書」とする。

（選考結果の通知）

第７条　保健医療学部長は、第５条による結果を、志願者に対して通知する。

（雑　則）

第８条　この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

（改　廃）

第９条　この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

この要領は平成 27 年９月２日から施行する。

この要領は平成 30 年７月４日から施行する。

別表１　助産師課程選択科目

科目名	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウィメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学Ⅰ	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習Ⅰ	1	30
助産診断・技術学演習Ⅱ	1	30
助産学実習Ⅰ	2	90
助産学実習Ⅱ	4	180
助産学実習Ⅲ	4	180
助産学実習Ⅳ	1	45
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
合　　計	27	765

別表２　筆記試験科目

１．専門基礎科目試験
人体構造機能学Ⅰ、人体構造機能学Ⅱ、疾病治療論Ⅰ（循環器・血液造血器・呼吸器系）、疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌･腎尿路系）、疾病治療論Ⅲ（免疫･神経系）、疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）、小児疾病治療論、の範囲から出題する。
２．専門科目試験
母性看護学概論、母性看護援助論、の範囲から出題する。

授業科目表

●…必修　○…選択

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●								30	25単位以上（必修9単位を含む）
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		スペイン語会話		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		文学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		心理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		行動の科学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		日本国憲法		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		歴史学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		地理学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		自然科学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		環境化学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ（理論）	1		1前	●								15	
		健康スポーツ（実技）		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	共生教養	共生と社会		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		生活と環境		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
	奈良・国際	奈良学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		異文化コミュニケーション		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		国際事情		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1前	●								30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		データの世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ＣＧの基礎と演習		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		情報と分析		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後		○							30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				○					30	
	導入基礎	基礎演習Ⅰ（ラーニングスキルズ）	1		1前	●								30	
		基礎演習Ⅱ（文章表現）	1		1後		●							30	
	小計（46科目）		9	63	－										

※「中国語基礎Ⅱ」を履修するためには「中国語基礎Ⅰ」を修得していることが、「スペイン語基礎Ⅱ」を履修するためには「スペイン語基礎Ⅰ」を修得していることが必要です。

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門基礎科目	人間の理解	人体構造機能学Ⅰ	2		1前	●								30	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		人体構造機能学Ⅱ	2		1前	●								30	
		発達心理学	2		1前	●								30	
		生化学	1		1前	●								15	
		栄養学	1		1前	●								15	
		微生物学	1		1前	●								15	
		免疫学	1		1前	●								15	
	環境の理解	疫学	2		2後				●					30	
		公衆衛生学	1		1後		●							15	
		社会福祉学	1		1前	●								15	
		医療福祉関係法規	1		1前	●								15	
		保健医療福祉行政論	2		2後				●					30	
		保健統計		2	2後				○					30	
	健康の理解	保健医療学概論	1		1前	●								15	
		病理学	1		1前	●								15	
		疾病治療論Ⅰ（呼吸器・循環器・血液造血器系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌・腎尿路系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅲ（免疫・神経系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅴ（生殖器系・精神疾患）	1		2前			●						30	
		疾病治療論Ⅵ（老年医学）	1		2前			●						30	
		小児疾病治療論	1		2前			●						30	
		栄養治療論	1		2後				●					15	
		薬理学	2		1後		●							30	
		リハビリテーション論	1		2後				●					30	
	小計（25科目）		30	2	–										
専門科目	看護の考え方と方法	看護学概論	2		1前	●								30	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		看護倫理学	1		1前	●								15	
		看護コミュニケーション論	1		1前	●								30	
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1前	●								60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		1後		●							60	
		看護理論	1		1後		●							15	
		看護過程演習	1		2前			●						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			●						30	
		保健医療倫理学	1		1後		●							15	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1前	●								45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●					90	
		成人看護学概論	2		1後		●							30	
		成人看護援助論Ⅰ(急性期･周手術期)	1		2前			●						30	
		成人看護援助論Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	1		2後				●					30	
		成人看護援助論演習	2		3前					●				60	
		老年看護学概論	1		2前			●						15	
		老年看護援助論	1		2後				●					30	
		老年看護援助論演習	1		3前					●				30	
		小児看護学概論	2		2前			●						30	
		小児看護援助論	1		2後				●					30	
		小児看護援助論演習	1		3前					●				30	
		母性看護学概論	2		2前			●						30	
		母性看護援助論	1		2後				●					30	
		母性看護援助論演習	1		3前					●				30	
		精神看護学概論	1		2前			●						15	
		精神看護援助論	1		2後				●					30	
		精神看護援助論演習	1		3前					●				30	
		成人看護学実習Ⅰ(急性期･周手術期)	3		3後						●			135	
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	3		3後						●			135	
		老年看護学実習Ⅰ	1		3後						●			45	
		老年看護学実習Ⅱ	3		3後						●			135	
		小児看護学実習	2		3後						●			90	
		母性看護学実習	2		3後						●			90	
		精神看護学実習	2		3後						●			90	
		ターミナルケア論		1	4前							○		15	
		感染看護		1	4前							○		15	
		家族看護学		1	4前							○		15	
		ペインコントロール論		1	4前							○		15	

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門科目	看護学の統合と発展	在宅看護学概論	1		2前			●						15	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		在宅看護援助論	2		2後				●					60	
		在宅看護援助論演習	1		3前					●				30	
		在宅看護学実習	2		3後						●			90	
		看護管理学	2		4前							●		30	
		チーム医療論	1		4前							●		15	
		チーム医療論演習		1	4後								○	30	
		統合看護論	2		4後								●	30	
		統合看護実習	2		4前							●		90	
		国際看護論	1		4前							●		15	
		国際看護論演習		1	4後								○	30	
		地域包括ケア論		1	4後								○	15	
		災害看護学		1	4後								○	15	
		看護教育学		1	4後								○	15	
		カウンセリング論		1	4後								○	15	
		卒業研究Ⅰ	1		4前							●		30	
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		2前			●						30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後				●					30	
		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					●				30	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)		3	4前後							○	○	135	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)		1	4前後							○	○	45	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前後							○	○	45	
		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							○		60	
	助産学	助産学概論		2	3前					○				30	
		ウィメンズヘルス学		2	3前					○				30	
		周産期医学		1	3前					○				15	
		助産診断・技術学Ⅰ		2	3前					○				30	
		助産診断・技術学Ⅱ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学Ⅲ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学演習Ⅰ		1	3後						○			30	
		助産診断・技術学演習Ⅱ		1	4前							○		30	
		助産学実習Ⅰ		2	4前後							○	○	90	
		助産学実習Ⅱ		4	4前後							○	○	180	
		助産学実習Ⅲ		4	4前後							○	○	180	
		助産学実習Ⅳ		1	4前後							○	○	45	
		地域母子保健		1	4前							○		15	
		助産管理論		2	4前							○		30	
	小計（79科目）		73	50	―										
合計（150科目）132単位以上			112	115	-	●…必修 ○…選択									

■看護師課程　履修モデル

区分	科目群	1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必	歴史学	2	選	倫理学	2	選													12	25	必修９単位含む25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必																								
		音楽の世界	2	選	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	選																					
	共生教養							生活と環境	2	選																2		
	奈良・国際										異文化コミュニケーション	2	選													2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必				情報倫理とセキュリティ	2	選																4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選	キャリアデザインⅡ	1	選	ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅠ	1	選																5		
		基礎演習Ⅰ（ﾗｰﾆﾝｸﾞ）	1	必	基礎演習Ⅱ（文章）	1	必																					
専門基礎	人間の理解	発達心理学	2	必																						10	30	専門基礎科目必修30単位
		微生物学	1	必																								
		免疫学	1	必																								
		人体構造機能学Ⅰ	2	必																								
		人体構造機能学Ⅱ	2	必																								
		生化学	1	必																								
		栄養学	1	必																								
	環境の理解	社会福祉学	1	必	公衆衛生学	1	必				疫学	2	必													7		
		医療福祉関係法規	1	必							保健医療福祉行政論	2	必															
	健康の理解	保健医療学概論	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅴ	1	必	栄養治療論	1	必													13		
		病理学	1	必	疾病治療論Ⅱ	1	必	小児疾病治療論	1	必	リハビリテーション論	1	必															
					疾病治療論Ⅲ	1	必	疾病治療論Ⅵ	1	必																		
					疾病治療論Ⅳ	1	必																					
					薬理学	2	必																					
専門	看護の考え方と方法	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必	老年看護学概論	1	必	老年看護援助論	1	必							ターミナルケア論	1	選				77	77	専門科目必修73単位 専門基礎科目および専門科目の選択科目4単位以上
		看護倫理学	1	必	看護理論	1	必	成人看護援助論Ⅰ	1	必	成人看護援助論Ⅱ	1	必	成人看護援助論演習	2	必				家族看護学	1	選						
		看護コミュニケーション論	1	必	保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必				老年看護援助論演習	1	必												
		基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	成人看護学概論	2	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
		基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必							基礎看護学実習Ⅱ	2	必															
								小児看護学概論	2	必	小児看護援助論	1	必	小児看護援助論演習	1	必												
								母性看護学概論	2	必	母性看護援助論	1	必	母性看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅰ	3	必									
								精神看護学概論	1	必	精神看護援助論	1	必	精神看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅱ	3	必									
																	老年看護学実習Ⅰ	1	必									
																	老年看護学実習Ⅱ	3	必									
																	小児看護学実習	2	必									
																	母性看護学実習	2	必									
																	精神看護学実習	2	必									
	看護学の統合と発展							在宅看護学概論	1	必	在宅看護援助論	2	必	在宅看護学援助論演習	1	必	在宅看護学実習	2	必	卒業研究Ⅰ	1	必	統合看護論	2	必			
																				卒業研究Ⅱ	1	必	卒業研究Ⅱ	~	必			
																				統合看護実習	2	必						
																				看護管理学	2	必	看護教育学	1	選			
																				チーム医療論	1	必						
																				国際看護論	1	必	国際看護論演習	1	選			
	公衆衛生学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ（地域）	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ（産業）	2	必												

	1年生		2年生		3年生		4年生		単位		
共通	必修 6 選択 3	9	必修 0 選択 7	7	必修 0 選択 0	0	必修 0 選択 0	0	必 9 選 16	25	共通教育科目25単位以上 専門基礎と専門科目の必修103単位, 選択4単位以上
専門基礎	必修 14 選択 0	14	必修 3 選択 0	3	必修 0 選択 0	0	必修 0 選択 0	0	必 30 選 0	30	
専門	必修 7 選択 0	7	必修 12 選択 0	12	必修 9 選択 0	9	必修 8 選択 2	10	必 73 選 4	77	
合計	必修 27 選択 3	30	必修 15 選択 7	22	必修 9 選択 0	9	必修 8 選択 2	10	必 112 選 20	132	
	必修43 選択5 合計48		必修32 選択11 合計43		必修27 選択0 合計27		必修10 選択4 合計14		必修112 選択20 合計132		

■看護師・保健師課程　履修モデル

区分	科目群	1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必	心理学	2	選	行動の科学	2	選													12	25	必修9単位含む25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必																								
		日本国憲法	2	選	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	選																					
	共生教養							ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選																2		
	奈良・国際										異文化コミュニケーション	2	選													2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必				CGの基礎と演習	2	選															4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選	キャリアデザインⅡ	1	選	ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅠ	1	選															5		
		基礎演習Ⅰ（ﾗｰﾆﾝｸﾞ）	1	必	基礎演習Ⅱ（文章）	1	必																					
専門基礎	人間の理解	発達心理学	2	必																						10	32	専門基礎科目必修30単位
		微生物学	1	必																								
		免疫学	1	必																								
		人体構造機能学Ⅰ	2	必																								
		人体構造機能学Ⅱ	2	必																								
		生化学	1	必																								
		栄養学	1	必																								
	環境の理解	社会福祉学	1	必	公衆衛生学	1	必				疫学	2	必													9		「保健統計」1科目2単位
		医療福祉関係法規	1	必							保健医療福祉行政論	2	必															
											保健統計	2	選															
	健康の理解	保健医療学概論	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅴ	1	必	栄養治療論	1	必													13		
		病理学	1	必	疾病治療論Ⅱ	1	必	小児疾病治療論	1	必	リハビリテーション論	1	必															
					疾病治療論Ⅲ	1	必	疾病治療論Ⅵ	1	必																		
					疾病治療論Ⅳ	1	必																					
					薬理学	2	必																					
専門	看護の考え方と方法	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必	老年看護学概論	1	必	老年看護援助論	1	必													86	86	専門科目必修73単位 専門基礎科目および専門科目の選択科目4単位以上 **公衆衛生選択必修7科目13単位**
		看護倫理学	1	必	看護理論	1	必	成人看護援助論Ⅰ	1	必	成人看護援助論Ⅱ	1	必	成人看護援助論演習	2	必												
		看護コミュニケーション論	1	必	保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必				老年看護援助論演習	1	必												
		基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	成人看護学概論	2	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
		基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必							基礎看護学実習Ⅱ	2	必															
								小児看護学概論	2	必	小児看護援助論	1	必	小児看護援助論演習	1	必												
								母性看護学概論	2	必	母性看護援助論	1	必	母性看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅰ	3	必									
								精神看護学概論	1	必	精神看護援助論	1	必	精神看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅱ	3	必									
																	老年看護学実習Ⅰ	1	必									
																	老年看護学実習Ⅱ	3	必									
																	小児看護学実習	2	必									
																	母性看護学実習	2	必									
																	精神看護学実習	2	必									
	看護学の統合と発展							在宅看護学概論	1	必	在宅看護援助論	2	必	在宅看護学援助論演習	1	必	在宅看護学実習	2	必	卒業研究Ⅰ	1	必	統合看護論	2	必			
																				卒業研究Ⅱ	1	必	卒業研究Ⅱ	-	必			
																				統合看護実習	2	必						
																				看護管理学	2	必						
																				チーム医療論	1	必						
																				国際看護論	1	必						
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ（地域）	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ（産業）	2	必												
														公衆衛生看護学Ⅱ（学校）	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	選	公衆衛生看護学実習Ⅰ	-	選			
														公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅱ	1	選	公衆衛生看護学実習Ⅱ	-	選			
														公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅲ	1	選	公衆衛生看護学実習Ⅲ	-	選			
																				公衆衛生看護学診断演習	2	選						

	1年生				2年生				3年生				4年生				単位		
共通	必修 6	9	必修 3	5	必修 0	7	必修 0	4	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必 9	25
	選択 3		選択 2		選択 7		選択 4		選択 0		選択 0		選択 0		選択 0		選 16	
専門基礎	必修 14	14	必修 7	7	必修 3	3	必修 6	8	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必 30	32
	選択 0		選択 0		選択 0		選択 2		選択 0		選択 0		選択 0		選択 0		選 2	
専門	必修 7	7	必修 6	6	必修 12	12	必修 11	11	必修 9	15	必修 18	18	必修 8	15	必修 2	2	必 73	86
	選択 0		選択 0		選択 0		選択 0		選択 6		選択 0		選択 7		選択 0		選 13	
合計	**必修 27**	**30**	**必修 16**	**18**	**必修 15**	**22**	**必修 17**	**23**	**必修 9**	**15**	**必修 18**	**18**	**必修 8**	**15**	**必修 2**	**2**	**必 112**	143
	選択 3		**選択 2**		**選択 7**		**選択 6**		**選択 6**		**選択 0**		**選択 7**		**選択 0**		**選 31**	
	必修43 選択5 合計48				**必修32 選択13 合計45**				**必修27 選択6 合計33**				**必修10 選択7 合計17**				**必修112 選択31 合計143**		

■看護師・助産師課程　履修モデル

区分	科目群	1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必	心理学	2	選	行動の科学	2	選													12	25	必修9単位含む25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必																								
		日本国憲法	2	選	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	選																					
	共生教養							ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選																2		
	国際・奈良										異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	2	選												2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必				情報倫理とセキュリティ	2	選															4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選	キャリアデザインⅡ	1	選	ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅠ	1	選															5		
		基礎演習Ⅰ（ラーニング）	1	必	基礎演習Ⅱ（文章）	1	必																					
専門基礎	人間の理解	発達心理学	2	必																					10	30	専門基礎科目必修30単位
		微生物学	1	必																								
		免疫学	1	必																								
		人体構造機能学Ⅰ	2	必																								
		人体構造機能学Ⅱ	2	必																								
		生化学	1	必																								
		栄養学	1	必																								
	環境の理解	社会福祉学	1	必	公衆衛生学	1	必				疫学	2	必												7		
		医療福祉師保法規	1	必							保健医療福祉行政論	2	必															
	健康の理解	保健医療学概論	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅴ	1	必	栄養治療論	1	必												13		
		病理学	1	必	疾病治療論Ⅱ	1	必	小児疾病治療論	1	必	リハビリテーション論	1	必															
					疾病治療論Ⅲ	1	必	疾病治療論Ⅵ	1	必																		
					疾病治療論Ⅳ	1	必																					
					薬理学	2	必																					
専門	看護の考え方と方法	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必	老年看護学概論	1	必	老年看護援助論	1	必												100	100	専門科目必修73単位 専門基礎科目および専門科目の選択科目4単位以上 **助産科目** **選択必修** **14科目27単位**
		看護倫理学	1	必	看護理論	1	必	成人看護援助論Ⅰ	1	必	成人看護援助論Ⅱ	1	必	成人看護援助論演習	2	必												
		看護コミュニケーション論	1	必	保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必				老年看護援助論演習	1	必												
		基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	成人看護学概論	2	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
		基礎看護学実習Ⅰ（集中）	1	必							基礎看護学実習Ⅱ	2	必															
								小児看護学概論	2	必	小児看護援助論	1	必	小児看護援助論演習	1	必												
								母性看護学概論	2	必	母性看護援助論	1	必	母性看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅰ	3	必									
								精神看護学概論	1	必	精神看護援助論	1	必	精神看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅱ	3	必									
																	老年看護学実習Ⅰ	1	必									
																	老年看護学実習Ⅱ	3	必									
																	小児看護学実習	2	必									
																	母性看護学実習	2	必									
																	精神看護学実習	2	必									
	看護学の統合と発展							在宅看護学概論	1	必	在宅看護援助論	2	必	在宅看護援助論演習	1	必	在宅看護学実習	2	必	卒業研究Ⅰ	1	必	統合看護論	2	必			
																				卒業研究Ⅱ	1	必	卒業研究Ⅱ	-	必			
																				統合看護実習	2	必						
																				看護管理学	2	必						
																				チーム医療論	1	必						
																				国際看護論	1	必						
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ（地域）	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ（産業）	2	必												
	助産学													助産学概論	2	選	助産診断・技術学Ⅱ	2	選	助産診断・技術学演習Ⅰ	1	選						
														ウィメンズヘルス学	2	選	助産診断・技術学Ⅲ	2	選	助産学実習Ⅰ	2	選	助産学実習Ⅰ	-	選			
														周産期医学	1	選	助産診断・技術学演習Ⅰ	1	選	助産学実習Ⅱ	4	選	助産学実習Ⅱ	-	選			
														助産診断技術学Ⅰ	2	選				助産学実習Ⅲ	4	選	助産学実習Ⅲ	-	選			
																				助産学実習Ⅳ	1	選	助産学実習Ⅳ	-	選			
																				地域母子保健	1	選						
																				助産管理論	2	選						
共通		必修 6 / 選択 3	9		必修 3 / 選択 2	5		必修 0 / 選択 7	7		必修 4 / 選択 0	4		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 9 / 選 16	25	
専門基礎		必修 14 / 選択 0	14		必修 7 / 選択 0	7		必修 3 / 選択 0	3		必修 6 / 選択 0	6		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 30 / 選 0	30	
専門		必修 7 / 選択 0	7		必修 6 / 選択 0	6		必修 12 / 選択 0	12		必修 11 / 選択 0	11		必修 9 / 選択 7	16		必修 18 / 選択 5	23		必修 8 / 選択 15	23		必修 2 / 選択 0	2		必 73 / 選 27	100	
合計		必修 27 / 選択 3	30		必修 16 / 選択 2	18		必修 15 / 選択 7	22		必修 17 / 選択 4	21		必修 9 / 選択 7	16		必修 18 / 選択 5	23		必修 8 / 選択 15	23		必修 2 / 選択 0	2		必 112 / 選 43	155	
		必修43　選択5　合計48						必修32　選択11　合計43						必修27　選択12　合計39						必修10　選択15　合計25						必修112　選択43　合計155		

Ⅲ　看護学科（2017年度以前入学生）

1. 履修規程

（総　　則）

第１条　本学学則第 13 条第３項の規定に基づき、保健医療学部看護学科（以下「本学科」）の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

（卒業資格）

第２条　本学科を卒業するためには、４年以上在学し、125 単位以上を修得しなければならない。

２　看護師･保健師課程選択を選択した場合は、135 単位以上を修得しなければならない。

３　看護師･助産師課程選択を選択した場合は、148 単位以上を修得しなければならない。

（授業科目の区分）

第３条　授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。

２　共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養科目及び、キャリア形成科目に区分する。

３　専門基礎科目は、これを健康の理解と区分する。

４　専門教育科目は、これを看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に区分する。

（授業科目の履修）

第４条　本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

（１）共通教育科目	２５単位以上
（２）専門基礎科目	２４単位以上
（３）専門科目	７６単位以上

（単　　位）

第５条　各授業科目の単位数は、45 時間の学修を必要とする内容をもって１単位とする。

（配当年次）

第６条　各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

（授業科目の履修制限）

第７条　授業科目については、原則として、年間 45 単位を超えて履修することができない。

（履修登録）

第８条　履修登録は、各学期初めに年２回行わなければならない。

（履修登録の制限）

第９条　授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。

２　同時限に開講される授業科目は、１科目しか登録することができない。

（再登録）

第 10 条　単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。

２　単位を修得することができなかった授業科目は、第７条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

（履修登録の変更）
第 11 条　履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
2　学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

（授業科目の開講）
第 12 条　授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

（授業の組分け）
第 13 条　履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

（単位の認定）
第 14 条　担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等（以下「試験等」という）、または平素の履修状況（学習態度等）により学修の成果を評価して単位を与える。
2　各授業への出席が授業時間の３分の２（実習においては５分の４）に満たない場合は再履修とする。

（単位認定を受ける資格）
第 15 条　次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
（1）　授業料その他諸納入金が未納であるとき
（2）　履修登録をしていないとき

（試験等の成績評価）
第 16 条　試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
（1）　100 点から 90 点まで　　秀
（2）　89 点から 80 点まで　　優
（3）　79 点から 70 点まで　　良
（4）　69 点から 60 点まで　　可
（5）　59 点以下　　不可（不合格）

（受験上の注意）
第 17 条　学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

（再試験等）
第 18 条　試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
2　再試験等の実施については、別に定める。
3　再試験等で合格した者の成績評価は、60 点（可）とする。

（追試験等）
第 19 条　病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
2　追試験等の実施については、別に定める。
3　追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附　則
この規程は、平成 31 年４月１日から施行する。

2.履修に関する留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の３分の２（実習科目においては５分の４）に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30 分未満の場合は３分の１回の欠席扱いとし、30 分以上の場合は１回の欠席扱いとします。

3)履修指導の体制

各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)看護学実習科目の履修に関する留意点

看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

①基礎看護学実習Ⅱを履修するためには、次の科目の単位を修得していること。

「看護学概論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「看護理論」「早期体験演習」「基礎看護学実習Ⅰ」「看護過程演習」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「ヘルスアセスメント」

②３年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、３年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。

③統合看護学実習を履修するためには、３年次後期までのすべての領域別実習の単位を修得していること。

5)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目（原則的に選択科目は除く）によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります（ただし、成績の評価は 60 点を上限とし、受験回数は１回のみとします。）この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の３分の２以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

6)課程選択に伴う履修上の留意点

（1）看護師・保健師課程

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の選択科目のうち「保健統計（２単位)」及び「保健医療福祉行政論（２単位)」を修得し、公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目７科目 13 単位を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

ただし、「公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動)」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健)」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、３年次後期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得していることが必要です。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話Ⅰ（１単位)」「英会話Ⅱ（１単位)」「健康スポーツ（理論）（１単位)」「健康スポーツ（実技）（１単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作（２単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「日

本国憲法（２単位)」の合計８単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師・助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目 13 科目 27 単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

「助産診断・技行学実習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには、３年次後期までのすべての助産師課程の科目とすべての領域実習の単位を修得しておく必要があります。

7)課程選択の決定

看護学科の学生は、入学者全員が看護学を学び、看護師国家試験受験資格を取得することができます。また、３年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程（20 名以内)」、「看護師・助産師課程（女子のみ 10 名以内)」のいずれかを選択します。「看護師･保健師課程」は保健師国家試験受験資格を、「看護師･助産師課程」は助産師国家試験受験資格を同時に取得することが可能です。

課程選択の決定は、２年次の終わりに希望調査を行い、３年次の始業までに希望者に対して試験、面接を行い、それらの結果と２年次までの成績を考慮して判定します。

3.教育目標と教育課程編成の考え方

以下の内容をよく読んで、明確な目標をもって履修する授業科目を考え、履修登録を行い授業に臨んでください。

1)教育目標

保健医療学部看護学科では、知識や技術の修得のみならず、看護のフィロソフィーの獲得を目指し、看護の役割の拡大や質の変化に対応でき、チーム医療の一員として他職種と協働して全人的ケアの提供ができる質の高い看護職者（看護師、保健師、助産師）を育成することを目標としています。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、看護師、及び希望者には保健師または助産師の国家試験受験資格が取得できるように保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

＜カリキュラムポリシーとそれに相応する教育課程＞

①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養科目群の語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養、共生教養及び奈良・国際の各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味･関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。特に、国際的な視点や国際感覚を身につけた人材を養成するために、共通教育科目の必修科目として「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を通して国際的なコミュニケーション能力を身につけ、「奈良学」を通して自国の文化を理解するとともに奈良の国際色豊かな文化・芸術、仏教文化などを学ぶ。さらに専門基礎科目の必修科目として「保健医療学概論」を通して全人的ケアに主眼をおいた保健医療学について諸外国の現状と実践例を学び、専門科目の必修科目として「国際保健医療看護論」を通して保健・医療・看護について国際社会の動向を知り、看護職者としてグローバルな視点で保健医療活動ができる基礎的能力を身につける。また、学生が自らの興味・関心によって主体的に国際

的な視点や国際感覚を身につけるための選択科目も豊富に配置している。共通教育科目では、奈良・国際科目群の「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」をはじめ、基礎教養科目群の「文化人類学」「外国史」、共生教養科目群の「生活と環境」、専門科目では「国際保健医療看護演習」をはじめ「保健医療英語Ⅰ」「保健医療英語Ⅱ（文献購読）」を配置している。

③主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養及びキャリアの各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

また、専門科目のグループワーク、臨地実習、卒業研究などを通して培う。

④看護職に必要な高度な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群、専門科目の看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に関する各科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。特に情報活用能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目の情報教養科目群の科目を主体的に受講することにより培い、応用的能力は専門科目の演習科目などにおいて必要に応じて多様なメディアを高度に利用することにより培う。また、コミュニケーション能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目のコミュニケーション関連科目を主体的に受講することにより身につけ、実践的応用的能力は専門基礎科目の「早期体験演習」及び専門科目の臨地実習などを通して身につける。

⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠（エビデンス）と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、探求心と想像力をもって、創造的な全人的ケアの実践ができる能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群及び専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。

特に、本学部が目指す全人的ケアの実践ができる能力について、まず、１年次必修科目の「保健医療学概論（専門基礎科目）」及び「チーム医療論」において、看護学、医学、健康諸科学の専任教員及び当該分野の専門家がオムニバス形式で担当することにより、その基本的な考え方と枠組について学ぶ。その後、全人的ケアを実践するための応用的能力について、主として、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の「ヘルスプロモーション論」「心身医療論」、「カウンセリング論」、専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の「行動変容アプローチ」「チーム医療演習」「ターミナルケア論」「統合看護学実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」などを主体的に受講することにより培う。

⑥看護職として学際性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身につける教育

主として、学際性は共通教育科目の基礎教養科目群及び専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の科目、社会のニーズや多様な変化に対応する能力は共通教育科目の共生教養、国際教養、情報教養、キャリア形成の各科目群の科目を主体的に受講することにより身につける。他職種と連携してチームで活動できる基礎的な能力や資質は、専門科目の看護学の基本に関する科目群の１年次後期必修科目の「チーム医療論」で学ぶ。また、チームで活動するための実践力や汎用的能力は、看護学の統合と発展に関する科目群の４年次後期必修科目の「チーム医療演習」で身につける。

3)教育課程全体の特色

教育課程編成の考え方をふまえ、全学（すべての学部）に共通する「共通教育科目」と、看護学科独自の「専門基礎科目」及び「専門科目」を設け、上述の教育目標が達成できる

ようなカリキュラムを構築し、学生一人ひとりの自主性と自立を支援するための充実した教育プログラムを展開しています。

「共通教育科目」は、語学、人文科学、社会科学、自然科学、スポーツに関連する科目を幅広く配置した基礎教養科目群、本学の教育・研究の特色（キーワード）である「共生」「国際」「情報」「奈良文化」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群、さらに社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むためのキャリア形成科目群の5つの科目群で構成し、専門性にとらわれない幅広い教養と豊かな人間性、社会のニーズや多様な変化に対応するための汎用的能力を培います。

「専門基礎科目」は保健医療専門職として必要な健康の理解に関する科目群、専門科目は、看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展に関する3つの科目群で構成し、人間を全人的に理解し高い専門性と創造力、倫理的配慮を備え、他職種と連携して全人的ケアができる看護職者の育成をめざしています。また、専門科目には、保健師養成のための公衆衛生看護学、助産師養成のための助産学に関する各科目群を配置しています。

4)教育課程の概要

(1) 共通教育科目（52科目82単位、うち必修は8科目10単位、選択は44科目72単位）

○共通教育科目の履修要件（卒業要件）：25単位以上（必修10単位、選択15単位以上）

①基礎教養科目群（32科目49単位、うち必修は6科目6単位、選択は26科目43単位）

語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する32科目（49単位）を配置しています。これらの幅広い科目の中から選択受講することにより、論理的・科学的な思考力、的確な判断能力、倫理性、社会性、豊かな表現力、コミュニケーション能力、自然や文化を大切にする心など、幅広い教養と豊かな人間性を主体的な学びにより培います。なお、国際的な視点で学び、世界各地の人々とコミュニケーションをとり活動する上で不可欠な「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」及び保健医療職者として自らが健康的で活動的なライフスタイルを形成するための基礎となる「健康スポーツ（理論）」「健康スポーツ（実技）」の6科目6単位は必修科目としています。

＜基礎教養科目群＞

【必修科目】

「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「健康スポーツ（理論）」
「健康スポーツ（実技）」

【選択科目】

「中国語基礎Ⅰ」「中国語基礎Ⅱ」「中国語会話」「文学」「哲学」「倫理学」
「心理学」「行動科学の基礎」「文化人類学」「感性・イメージ表現」「音楽の世界」
「社会学」「社会科学の基礎」「日本国憲法」「外国史」「地理学」「数学の世界」
「物理と地学の基礎」「環境化学の基礎」「実験と科学」「スポーツ実技Ⅰ」
「スポーツ実技Ⅱ」

※ 以下は留学生のための日本語科目（4科目4単位）を開講する。
「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語表現Ⅰ」「日本語表現Ⅱ」

②「共生」「奈良・国際」「情報」に呼応する科目群

以下に示す本学の教育･研究の特色（キーワード）である「共生」「奈良･国際」「情報」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群から、主体的に選択受講することにより、社会のニーズや多様な変化に対応し、人類・社会に貢献するための汎用的能力を培います。

ⅰ）共生教養科目群（4科目8単位、すべて選択）

様々な事象が絡み合った複雑な現代社会の現状を理解した上で、人や集団、自然との共生を実現させる方法及びその問題点について学ぶ科目を配置しています。人と人との共生を学ぶ科目「人権論」、共生を実現するための社会の仕組みについて学ぶ科目「共

生と日本社会」、人と自然との共生を学ぶ科目「生活と環境」があるほか、科目「ボランティア活動」を通して共生の実践を学び、他者を支援しながら、幸せを共有できる姿勢を養います。

＜共生教養科目群＞

【選択科目】

「共生と日本社会」「人権論」「ボランティア活動」「生活と環境」

ⅱ）奈良・国際科目群（５科目９単位、うち必修は１科目２単位、選択は４科目７単位）

国際化した現代社会では、様々な社会生活の場面で異文化との交流が必然的に発生します。その交流を積極的に進めるためには、海外及び自国の諸事情を把握し、互いの差異を理解することが必要となります。国際交流を進めていくために必要な準備及び国際交流の実践方法について学びます。特に国際交流の前提として、自らを深く理解するために本学が所在する奈良を重視し、日本人の特質や日本文化の土台を形成した奈良文化について学ぶ「奈良学」は必要不可欠な教養と考え、必修科目として配置しています。その上で自国文化を海外の人々に伝える方法や国際交流を実践する能力を身につけます。また、教科外活動として短期研修プログラム、文化交流、短期留学など、海外に出かけ、国際社会及び異文化を実体験できる機会を設けます。これらの自主的活動についても、活動内容に対応する科目として単位認定を行う場合があります。

＜奈良・国際科目群＞

【必修科目】

「奈良学」

【選択科目】

「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」

ⅲ）情報教養科目群（５科目 10 単位、うち必修は１科目２単位、選択は４科目８単位）

高度情報化社会といわれる現代において、安全に、適切に、効率よく、倫理的に正しい方法で、あふれる情報の中から必要な情報を収集し、また自らも情報を処理し、発信していくための基礎的・実践的な情報・コミュニケーション能力を培うための科目を配置しています。特に情報機器の活用能力を身につける「情報機器の操作」を必修科目として配置しています。

＜情報教養科目群＞

【必修科目】

「情報機器の操作」

【選択科目】

「情報倫理とセキュリティ」「シミュレーションの世界」「データの世界」
「CG の基礎と演習」

③キャリア形成科目群（６科目６単位、すべて選択）

社会的・職業的自立に必要な能力や態度である人間力、社会人基礎力を育み、学生が主体的に課題を発見し、これを解決する能力を培うための科目を配置しています。

特に、本学部が想定している進路の特徴を加味した独自の教育プログラムを提供するために、複数の専任教員が主として担当する「キャリアデザインⅡ（１年次)」「キャリアディベロップメントⅡ（２年次)」「キャリアスキルアップⅠ（3 年次)」「キャリアスキルアップⅡ（４年次)」を順次履修することを強く奨励します。具体的には、自分の将来のキャリアプランに関連し、専門教育課程では直接学ぶことができない、実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを主体的に実行することにより、

汎用的能力を培うとともに、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力を段階的に確立できるようにしています。

＜キャリア形成科目群＞

【選択科目】

「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」
「キャリアディベロップメントⅠ」「キャリアディベロップメントⅡ」
「キャリアスキルアップⅠ」「キャリアスキルアップⅡ」

（2）専門基礎科目（24 科目 31 単位、うち必修は 17 科目 21 単位、選択は 7 科目 10 単位）

○専門基礎科目の履修要件（卒業要件）：24 単位以上（必修 21 単位、選択 3 単位以上）

①健康の理解に関する科目群

保健医療専門職として必要な健康、医療、福祉に関する理解を深めるための科目を主として 1 ～ 2 年次に配置しています。特に「保健医療学概論」は入学して間もない 1 年次前期に配置し、看護学、医学、健康科学の専任教員がオムニバス形式で担当することにより、本学部がめざす全人的ケアをふまえた保健医療学の概要について概説します。また、全人的ケアに関連する科目として「心身医療論」「カウンセリング論」「ヘルスプロモーション論」を配置し、主として専任教員が担当します。さらに、保健医療や看護への動機付け及び臨地での基礎看護学実習Ⅰへの導入として、早期に臨床現場を体験する「早期体験演習」を 1 年前期に配置しています。

＜健康の理解に関する科目群＞

【必修科目】

「保健医療学概論」「早期体験演習」「人体構造学Ⅰ」「人体構造学Ⅱ」「人体機能学Ⅰ」「人体機能学Ⅱ」「生化学」「薬理学」「病理学」「微生物学」「栄養と食生活」「疾病治療論Ⅰ」「疾病治療論Ⅱ」「保健学Ⅰ（公衆衛生）」「保健学Ⅱ（疫学）」「社会福祉学」「医療福祉関係法規」

【選択科目】

「免疫学」「遺伝学」「保健統計」「心身医療論」「カウンセリング論」
「ヘルスプロモーション論」「保健医療福祉行政論」

（3）専門科目（70 科目 121 単位、うち必修は 41 科目 72 単位、選択は 29 科目 49 単位）

○専門科目の履修要件（卒業要件）：76 単位以上（必修 72 単位、選択 4 単位以上）

※選択科目について、基本的に、「看護師課程選択」では、看護学の統合と発展の選択科目 9 科目 9 単位のうちから 4 単位以上を履修します。

①看護学の基本に関する科目群（11 科目 15 単位、すべて必修）

看護の実践能力、自己の啓発能力、人間を尊重し、人間関係を形成しながら健康問題を解決するための能力といった、看護職者として基盤となる能力を学ぶための科目を主として 1 ～ 2 年次に配置しています。また、特に本学部の特色として掲げている全人的ケアに関連する基礎的科目として「チーム医療論」を配置しています。

＜看護学の基本に関する科目群＞

【必修科目】

「看護学概論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「看護理論」「看護過程演習」「ヘルスアセスメント」「チーム医療論」「保健医療倫理学」「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」

②看護学の展開に関する科目群（18 科目 38 単位、すべて必修）

看護学の基本で学んだ内容をふまえ、科学的根拠に基づく高度な知識・技術を培い、状況に応じた高度な看護実践を展開することができるようになるための科目を、臨地実

習と連動し、主に２～３年次に配置しています。

＜看護学の展開に関する科目群＞

【必修科目】

「成人看護学概論」「成人看護学援助論Ⅰ（急性期・周手術期）」「成人看護学援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）」「老年看護学概論」「老年看護学援助論」「精神看護学概論」「精神看護学援助論」「小児看護学概論」「小児看護学援助論」「母性看護学概論」「母性看護学援助論」「成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）」「成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」

③看護学の統合と発展に関する科目群（18 科目 22 単位、うち必修は９科目 13 単位、選択は９科目９単位）

看護学の基本及び看護学の展開に関する各科目群で学んだことを統合し、さらにそれらのことを発展させ、全人的な健康観に立ち、科学的・客観的な根拠と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、高い専門性と倫理的配慮、豊かな想像力と国際的な視点を備え、他職種と連携して創造的な全人的ケアの実践ができるようになるための科目を２～４年次に配置しています。特にその特徴的科目として「チーム医療演習」「行動変容アプローチ」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「国際保健医療看護論」「国際保健医療看護演習」などを設定しています。また、「統合看護学実習」では、これまでの学修及び看護学の実践の中で見出した自身の課題に基づき、主体的、自律的に実習計画を立て、それを実行する能力を培います。

＜看護学の統合と発展に関する科目群＞

【必修科目】

「在宅看護学概論」「在宅看護学援助論」「在宅看護学実習」「チーム医療演習」「医療安全管理学」「国際保健医療看護論」「統合看護学実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」

【選択科目】

「家族援助論」「行動変容アプローチ」「感染症看護論」「災害看護論」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「保健医療英語Ⅰ」「保健医療英語Ⅱ（文献講読）」「国際保健医療看護演習」

④公衆衛生看護学に関する科目群（10 科目 19 単位、うち必修は３科目６単位、選択は７科目 13 単位）

「看護師・保健師課程選択」（20 名）では、保健師国家試験受験資格を取得するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、地域活動、学校保健、産業保健など、公衆衛生看護に関する講義、演習、実習などの科目を主に３～４年次に配置しています。

＜公衆衛生看護学に関する科目群＞

【必修科目】

「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護学Ⅰ（地域活動）」「公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）」

【選択科目】

「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」「公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）」「公衆衛生看護学診断演習」

⑤助産学に関する科目群（13 科目 27 単位、すべて選択）

「看護師・助産師課程選択」（女性のみ 10 名）では、助産師国家試験受験資格を取得

するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、助産診断・技術に関する講義、演習、実習を中核とし、ウイメンズヘルスや地域母子保健に関する科目を主に３～４年次に配置しています。

＜助産学に関する科目群＞

【選択科目】

「助産学概論」「ウイメンズヘルス学」「周産期医学」「助産診断・技術学Ⅰ」「助産診断・技術学Ⅱ」「助産診断・技術学Ⅲ」「助産診断・技術学演習」「助産診断・技術学実習Ⅰ」「助産診断・技術学実習Ⅱ」「助産診断・技術学実習Ⅲ」「助産診断・技術学実習Ⅳ」「地域母子保健」「助産管理論」

4.看護学実習の概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の概要と開講時期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり１年次から４年次まで段階的に実習を開講します。

１年次：前期の早期体験演習と後期の基礎看護学実習Ⅰをリンクさせて、早期に臨床現場を経験し、将来の自分の姿を想像することで、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

２年次：基礎看護学実習Ⅱとして、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

３年次：各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等対象の特性に応じた適切な看護を行う能力を養います。

４年次：統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。保健師または助産師課程選択の学生（３年次に選抜）は公衆衛生看護学実習または助産診断・技術学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時期

必修／選択	実習科目	開講時期	単位
必　修	早期体験演習	１年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅰ	１年次後期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	２年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	３年次後期	6
	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
	小児看護学実習		2
	母性看護学実習		2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	４年次前期	2
選　択	公衆衛生看護学実習Ⅰ～Ⅲ	４年次	5
	助産診断・技術学実習Ⅰ～Ⅳ		11

2)看護学実習要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、１年次から継続して実習教育を行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オリエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習の評価

看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

※ 出席が４/５に満たない場合は再履修となります。

4)実習中の事故防止と対処

①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。

②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。

※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険（総合補償制度 will 保険）に加入します。

5)感染防止

①自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。

②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。

③定期健康診断時（４月）に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体（Ｂ型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。3年生は麻疹･風疹の抗体価、HBs 抗体（Ｂ型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。

ⅰ 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について

麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の学生は母子健康手帳などの予防接種歴（ワクチン接種歴）を確認し、下記の対応をしてください。

・ワクチンを２回接種している→２回分の接種証明書を提出。

・ワクチンを１回接種している→ワクチン接種を１回受けて、２回分の接種証明書を提出。

・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→１ヵ月以上の間隔をあけて、２回予防接種を受ける。接種後、２回分の接種証明書を提出。

提出先：学生支援センター

提出書類：接種証明書（医療明細書または母子健康手帳の写し）

提出期限：基礎看護実習Ⅰが始まる１ヵ月前

なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センターに申し出てください。

ⅱ 結核感染の有無について（T- スポット）

検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。

ⅲ HBs 抗体（Ｂ型肝炎）について

HBs 抗体陰性（－）の学生はワクチン接種を受けてください。

※HBs 抗体のワクチンは、３回の接種が必要で、終了までに約７か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。

ⅳ インフルエンザについて

感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

5.看護師・保健師課程選択履修要領

（趣　　旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部 看護学科履修規定第２条第２項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち公衆衛生看護学に係る選択科目（以下「保健師課程選択科目」という）の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（保健師課程選択科目の定義）

第２条　保健師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（履修許可人数）

第３条　保健師課程選択に伴う科目の履修定員は、２０名とする。筆記試験、面接及び２年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

（選考の時期等）

第４条　前条の保健師課程選択科目履修者の選択は、３年次始期から前期履修登録までに行うものとする。

（履修志願手続き）

第５条　保健師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。

３　申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に保健師として働く意欲を記した「保健師課程選択志願理由書」とする。

（課程選択履修者の選考・決定）

第６条　保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員（以下「選考委員」という。）若干名を選考するものとする。

２　選考委員は別表２の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修候補者の選考を行う。

ただし、志願者が第３条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行うこととする。

３　課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

（選考結果の通知）

第７条　保健医療学部長は、前条第３項による選考結果を、志願者に対して通知する。

（委　　任）

第８条　この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、保健医療学部企画委員会において別に定める。

附　　則

この要領は、平成２７年９月２日から施行する。

別表１　保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
	保健医療福祉行政論	2	30
専門科目	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）	2	30
	公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合　　計		17	435

別表２　選考方法

①１・２年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
②筆記試験
　出題科目
　　「保健医療学概論」「保健学Ⅰ（公衆衛生）」
　　「公衆衛生看護学概論」「社会福祉学」
　　上記科目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識
③「面接」

6.看護師・助産師課程選択履修要領

（趣　　旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部　看護学科履修規定第２条第３項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち助産学に係る選択科目（以下「助産師課程選択科目」という。）の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（助産師課程選択科目の定義）

第２条　助産師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（助産師課程選択科目の授業時間）

第３条　助産師課程選択科目の授業時間（主として助産診断・技術学実習）については、履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

（履修許可人数）

第４条　助産師課程選択の履修定員は、女子１０名とする。筆記試験、面接及び２年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

（選考の時期等）

第５条　前条の助産師課程選択科目履修者の選考は、３年次前期履修登録までに行うものとする。

（履修志願手続き）

第６条　助産師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。

３　申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に助産師として働く意欲を記した「助産師課程選択志願理由書」とする。

（課程選択履修者の選考・決定）

第７条　保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員（以下「選考委員」という。）若干名を選考するものとする。

２　選考委員は別表２の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う。

　ただし、志願者が第４条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行うこととする。

３　課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

（選考結果の通知）

第８条　保健医療学部長は、前条第３項による選考結果を、志願者に対して通知する。

（委　　任）

第９条　この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、保健医療学部企画委員会において別に定める。

附則
この要領は平成２７年９月２日から施行する。

別表１　助産師課程選択科目

授業科目	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウイメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学Ⅰ	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習	2	60
助産診断・技術学実習Ⅰ	3	135
助産診断・技術学実習Ⅱ	2	90
助産診断・技術学実習Ⅲ	3	135
助産診断・技術学実習Ⅳ	3	135
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
合　　計	27	765

別表２　選考方法

①１・２年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
②筆記試験
　出題科目
　　「人体構造学Ⅰ・Ⅱ」「人体機能学Ⅰ・Ⅱ」
　　「疾病治療論Ⅰ・Ⅱ」「母性看護学概論」
　　上記科目より、助産学を学ぶために必要な基礎知識。
③「面接」

授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	卒業に必要な単位数
						1年		2年		3年		4年			
			必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●								30	25単位以上（必修10単位を含む）
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		日本語Ⅰ		1	1前	○								30	
		日本語Ⅱ		1	1後		○							30	
		日本語表現Ⅰ		1	2前			○						30	
		日本語表現Ⅱ		1	2後				○					30	
		文学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		心理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		行動科学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		感性・イメージ表現		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会科学の基礎		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		日本国憲法		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		外国史		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		地理学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		物理と地学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		環境化学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		実験と科学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ（理論）	1		1･2･3･4前	●		●		●		●		15	
		健康スポーツ（実技）	1		1･2･3･4後		●		●		●		●	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	共生教養	共生と日本社会		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		生活と環境		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
	奈良・国際	奈良学	2		1･2･3･4前	●		●		●		●		30	
		文化コミュニケーション		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化芸術交流論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		文化芸術交流演習		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		国際経済事情		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1･2･3･4前	●		●		●		●		30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		シミュレーションの世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		データの世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ＣＧの基礎と演習		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後	○								30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2前			○						30	
		キャリアスキルアップⅠ		1	3前					○				30	
		キャリアスキルアップⅡ		1	4前							○		30	
	小計（52科目）　25単位以上		10	72	－										

※「中国語基礎Ⅱ」は「中国語基礎Ⅰ」を修得した者のみが履修できる。
※「文化芸術交流演習」は「文化芸術交流論」を修得した者のみが履修できる。
※「キャリアディベロップメントⅡ」は「キャリアデザインⅡ」を、「キャリアスキルアップⅠ」は「キャリアディベロップメントⅡ」を、「キャリアスキルアップⅡ」は「キャリアスキルアップⅠ」を取得した者のみが履修できる。

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1		1前	●								15	24単位以上（必修21単位を含む）
		早期体験演習	1		1前	●								30	
		人体構造学Ⅰ	1		1前	●								30	
		人体構造学Ⅱ	1		1後		●							30	
		人体機能学Ⅰ	1		1前	●								30	
		人体機能学Ⅱ	1		1後		●							30	
		生化学	1		1前	●								15	
		薬理学	2		1後		●							30	
		免疫学		1	2前			○						15	
		病理学	1		1後		●							15	
		微生物学	1		1後		●							30	
		遺伝学		1	2前			○						15	
		栄養と食生活	1		1前	●								30	
		疾病治療論Ⅰ	1		2前			●						30	
		疾病治療論Ⅱ	2		2後				●					60	
		保健学Ⅰ（公衆衛生）	1		2前			●						15	
		保健学Ⅱ（疫学）	2		2後				●					30	
		保健統計		2	3前					○				30	
		心身医療論		1	2後				○					15	
		カウンセリング論		1	2後				○					15	
		ヘルスプロモーション論		2	2前			○						30	
		社会福祉学	1		2前			●						15	
		医療福祉関係法規	2		2前			●						30	
		保健医療福祉行政論		2	3前					○				30	
	小計（24科目） 24単位以上		21	10	－										
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2		1前	●								30	
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1後		●							60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		2前			●						60	
		基礎看護技術演習Ⅲ	1		2前			●						30	
		看護理論	1		1後		●							15	
		看護過程演習	1		2前			●						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			●						15	
		チーム医療論	1		1後		●							15	
		保健医療倫理学	1		1後		●							15	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1後		●							45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●					90	
	看護学の展開	成人看護学概論	2		2前			●						30	
		成人看護学援助論Ⅰ(急性期･周手術期)	2		2後				●					30	
		成人看護学援助論Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	2		3前					●				30	
		老年看護学概論	2		2後				●					30	
		老年看護学援助論	2		3前					●				30	
		小児看護学概論	2		2後				●					30	
		小児看護学援助論	2		3前					●				30	
		母性看護学概論	2		2後				●					30	
		母性看護学援助論	2		3前					●				30	
		精神看護学概論	2		2後				●					30	
		精神看護学援助論	2		3前					●				30	
		成人看護学実習Ⅰ(急性期･周手術期)	3		3後						●			135	
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	3		3後						●			135	
		老年看護学実習Ⅰ	2		3後						●			90	
		老年看護学実習Ⅱ	2		3後						●			90	
		小児看護学実習	2		3後						●			90	
		母性看護学実習	2		3後						●			90	
		精神看護学実習	2		3後						●			90	

配当年次 ●…必修 ○…選択

科目区分		授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	卒業に必要な単位数
						1年		2年		3年		4年			
			必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目	看護学の統合と発展	在宅看護学概論	2		2後				●					30	76単位以上（必修72単位を含む）
		在宅看護学援助論	2		3前					●				30	
		在宅看護学実習	2		3後						●			90	
		家族援助論		1	2前			○						15	
		行動変容アプローチ		1	3前					○				30	
		チーム医療演習	1		4後								●	30	
		感染症看護論		1	4前							○		15	
		災害看護論		1	4後								○	15	
		ターミナルケア論		1	4後								○	15	
		医療安全管理学	1		4後								●	15	
		看護キャリア開発論		1	4後								○	15	
		保健医療英語Ⅰ		1	2後				○					30	
		保健医療英語Ⅱ（文献講読）		1	4前							○		30	
		国際保健医療看護論	1		4前							●		15	
		国際保健医療看護演習		1	4前							○		30	
		統合看護学実習	2		4前							●		90	
		卒業研究Ⅰ	1		4前							●		15	
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		2前			●						30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後				●					30	
		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					●				30	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)		3	4通							○	○	135	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)		1	4前							○		45	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前							○		45	
		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							○		60	
	助産学	助産学概論		2	3前					○				30	
		ウイメンズヘルス学		2	3前					○				30	
		周産期医学		1	3前					○				15	
		助産診断・技術学Ⅰ		2	3前					○				30	
		助産診断・技術学Ⅱ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学Ⅲ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学演習		2	4前							○		60	
		助産診断・技術学実習Ⅰ		3	4通							○	○	135	
		助産診断・技術学実習Ⅱ		2	4通							○	○	90	
		助産診断・技術学実習Ⅲ		3	4通							○	○	135	
		助産診断・技術学実習Ⅳ		3	4通							○	○	135	
		地域母子保健		1	4前							○		15	
		助産管理論		2	4前							○		30	
	小計（70科目） 76単位以上		72	49	–										
合計（146科目） 125単位以上			103	131	–	●…必修 ○…選択									

課程選択別履修モデル

課程選択別の３つの履修モデルを別表に示しましたので参考にしてください。

履修モデル１は「看護師課程選択」のモデルで、国際理解に関する科目を多く履修し、国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師をめざします。また、キャリア形成科目を多く履修し、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力をそなえた汎用的能力の高い看護師をめざします。

履修モデル２は「看護師・保健師課程選択」のモデルで、看護師に加えて保健師をめざします。さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっています。

履修モデル３は「看護師・助産師課程選択」のモデルで、看護師に加えて助産師をめざします。

履修モデル２及び履修モデル３では、３年次以降は履修すべき科目が多いですが、１～２年次は、「看護師課程選択」と同様に、多彩な共通教育科目の中から自らの志向により科目を選択履修でき、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を養うことが可能となっています。

■看護師課程　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			9	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		中国語会話	1	選	行動科学の基礎	2	選																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	共生教養	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選																						2		
	奈良・国際	奈良学	2	必	国際経済事情	2	選																			7		
		文化芸術交流論	2	選	文化芸術交流演習(集中)	1	選																					
	情報教養	情報機器の操作	2	必																						2		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選				ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅡ	1	選				ｷｬﾘｱｽｷﾙｱｯﾌﾟⅠ	1	選				ｷｬﾘｱｽｷﾙｱｯﾌﾟⅡ	1	選				5		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	免疫学	1	選	疾病治療論Ⅱ	2	必													24		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必															
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必																		
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	社会福祉学	1	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		栄養と食生活	1	必				ﾍﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ論	2	選																		
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	76	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					チーム医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	看護学の統合と発展										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	災害看護論	1	選	17		
											保健医療英語Ⅰ	1	選							国際保健医療看護演習(集中)	1	選	医療安全管理学	1	必			
																				統合看護学実習(集中)	2	必	チーム医療演習	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必						
																				卒業研究Ⅱ(集中)通年				1	必			
																							看護キャリア開発論	1	選			
	公衆衛生学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ	2	必										6		
共通		必修 7	14		必修 3	8		必修 0	1		必修 0	0		必修 0	1		必修 0	0		必修 0	1		必修 0	0		必 10	25	必修103単位 選択22単位 合計125単位以上
		選択 7			選択 5			選択 1			選択 0			選択 1			選択 0			選択 0			選択 0			選 15		
専門基礎		必修 6	6		必修 6	6		必修 5	8		必修 4	4		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 21	24	
		選択 0			選択 0			選択 3			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 3		
専門		必修 2	2		必修 6	6		必修 11	11		必修 14	15		必修 14	14		必修 18	18		必修 4	5		必修 3	5		必 72	76	
		選択 0			選択 0			選択 0			選択 1			選択 0			選択 0			選択 1			選択 2			選 4		
合計		**必修 15**	**22**		**必修 15**	**20**		**必修 16**	**20**		**必修 18**	**19**		**必修 14**	**15**		**必修 18**	**18**		**必修 4**	**6**		**必修 3**	**5**		**必 103**	**125**	
		選択 7			**選択 5**			**選択 4**			**選択 1**			**選択 1**			**選択 0**			**選択 2**			**選択 2**			**選 22**		
		必修30　選択12　合計42						**必修34　選択5　合計39**						**必修32　選択1　合計33**						**必修7　選択4　合計11**						必修103選択22合計125		

■看護師・保健師課程　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			12	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		日本国憲法	2	選	行動科学の基礎	2	選																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	環境化学の基礎	2	選																					
					健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	共生教養	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選	共生と日本社会	2	選																			4		
	奈良国際	奈良学	2	必																						2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	シミュレーションの世界	2	選																			4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選				ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅡ	1	選																3		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅱ	2	必	保健統計	2	選										25		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必	保健医療福祉行政論	2	選												
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	社会福祉学	1	必																		
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必																					
		栄養と食生活	1	必																								
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	85	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					ﾁｰﾑ医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	看護学の統合と発展										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	ﾁｰﾑ医療演習	1	必	13		
																				統合看護学実習(集中)	2	必	医療安全管理学	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必						
																				卒業研究Ⅱ(集中)通年				1	必			
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅱ	2	選		3	選	公衆衛生看護学実習Ⅰ(集中)	3	選				19		
														公衆衛生看護学Ⅲ	2	必				公衆衛生看護学実習Ⅱ(集中)	1	選						
														公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅲ(集中)	1	選						
														公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	選				公衆衛生看護学診断演習	2	選						
共通		必修 7 / 選択 6	13		必修 3 / 選択 8	11		必修 0 / 選択 1	1		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 10 / 選 15	25	必修103単位 選択22単位 合計125単位以上
専門基礎		必修 6 / 選択 0	6		必修 6 / 選択 0	6		必修 5 / 選択 0	5		必修 4 / 選択 0	4		必修 0 / 選択 4	4		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 21 / 選 4	25	
専門		必修 2 / 選択 0	2		必修 6 / 選択 0	6		必修 11 / 選択 0	11		必修 14 / 選択 0	14		必修 14 / 選択 6	20		必修 18 / 選択 0	18		必修 4 / 選択 7	11		必修 3 / 選択 0	3		必 72 / 選 13	85	
合計		**必修 15 / 選択 6**	**21**		**必修 15 / 選択 8**	**23**		**必修 16 / 選択 1**	**17**		**必修 18 / 選択 0**	**18**		**必修 14 / 選択 10**	**24**		**必修 18 / 選択 0**	**18**		**必修 4 / 選択 7**	**11**		**必修 3 / 選択 0**	**3**		**必 103 / 選 32**	**135**	
		必修30　選択14　合計44						**必修34　選択1　合計35**						**必修32　選択10　合計42**						**必修7　選択7　合計14**						必修103選択32合計135		

看護学科 2017以前

■看護師・助産師課程　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			10	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	感性・ｲﾒｰｼﾞ表現	2	選																					
					行動科学の基礎	2	選																					
					健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	教養 共生	生活と環境	2	選	共生と日本社会	2	選																			4		
	教養 奈良・国際	奈良学	2	必	文化芸術交流演習(集中)	1	選																			5		
		文化芸術交流論	2	選																								
	教養 情報	情報機器の操作	2	必	ＣＧの基礎と演習	2	選																			4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選																						2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅱ	2	必													24		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必															
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	社会福祉学	1	必	心身医療論	2	選															
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必	遺伝学	1	選																		
		栄養と食生活	1	必																								
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	72	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					ﾁｰﾑ医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	統合と発展 看護学の										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	医療安全管理学	1	必	13		
																				統合看護学実習(集中)	2	必	ﾁｰﾑ医療演習	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必						
																				卒業研究Ⅱ(集中)通年				1	必			
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ	2	必										6		
	助産学													助産学概論	2	選				助産診断・技術学演習	2	選				27	27	
														ｳｨﾒﾝｽﾞﾍﾙｽ学	2	選				助産診断・技術学実習Ⅰ				3	選			
														周産期医学	1	選				助産診断・技術学実習Ⅱ				2	選			
														助産診断・技術学Ⅰ	2	選				助産診断・技術学実習Ⅲ				3	選			
														助産診断・技術学Ⅱ				2	選	助産診断・技術学実習Ⅳ				3	選			
														助産診断・技術学Ⅲ				2	選	地域母子保健	1	選						
																				助産管理論	2	選						
共通		必修 7	13		必修 3	12		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 10	25	必修103単位 選択22単位 合計125単位以上
		選択 6			選択 9			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 15		
専門基礎		必修 6	6		必修 6	6		必修 5	6		必修 4	6		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 21	24	
		選択 0			選択 0			選択 1			選択 2			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 3		
専門		必修 2	2		必修 6	6		必修 11	11		必修 14	14		必修 14	21		必修 18	22		必修 4	9		必修 3	14		必 72	99	
		選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 7			選択 4			選択 5			選択 11			選 27		
合計		**必修 15**	**21**		**必修 15**	**24**		**必修 16**	**17**		**必修 18**	**20**		**必修 14**	**21**		**必修 18**	**22**		**必修 4**	**9**		**必修 3**	**14**		**必 103**	**148**	
		選択 6			**選択 9**			**選択 1**			**選択 2**			**選択 7**			**選択 4**			**選択 5**			**選択 11**			**選 45**		
		必修30　選択15　合計45						**必修34　選択3　合計37**						**必修32　選択11　合計43**						**必修7　選択16　合計23**						必修103選択45合計148		

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

作業療法学専攻

Ⅳ　リハビリテーション学科

1.履修規程

（総　　則）

第１条　本学学則第 13 条第３項の規定に基づき、保健医療学部リハビリテーション学科（以下「本学科」）の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

（卒業資格）

第２条　本学科を卒業するためには、４年以上在学し、126 単位以上を修得しなければならない。

（授業科目の区分）

第３条　授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。

２　共通教育科目は、これを基礎教養科目群、共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群、キャリア形成科目群及び、導入基礎科目群に区分する。

３　専門基礎科目は、これを人体の構造と機能及び心身の発達科目群、疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進科目群、保健医療福祉とリハビリテーション科目群に区分する。

４　専門科目は、これを以下のように区分する。

〈理学療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎理学療法学、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法学、臨床実習

〈作業療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎作業療法学、作業療法評価学、作業療法治療学、地域作業療法学、臨床実習

（授業科目の履修）

第４条　本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

（１）共通教育科目	（選択科目１６単位を含む）	３１単位以上
（２）専門基礎科目	（選択科目２単位を含む）	３１単位以上
（３）専門科目	（選択科目２単位を含む）	６４単位以上

（単　　位）

第５条　各授業科目の単位数は、45 時間の学修を必要とする内容をもって１単位とする。

（配当年次）

第６条　各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

（授業科目の履修制限）

第７条　授業科目については、原則として、年間 48 単位を超えて履修することができない。

（履修登録）

第８条　履修登録は、各学期初めに行わなければならない（年２回）。

（履修登録の制限）
第 9 条　授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。
2　同時限に開講される授業科目は、１科目しか登録することができない。

（再登録）
第 10 条　単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。
2　単位を修得することができなかった授業科目は、第７条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

（履修登録の変更）
第 11 条　履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
2　学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

（授業科目の開講）
第 12 条　授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

（授業の組分け）
第 13 条　履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

（単位の認定）
第 14 条　担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等（以下「試験等」という）、または平素の履修状況（学習態度等）により学修の成果を評価して単位を与える。
2　各授業への出席が授業時間の３分の２（実習においては５分の４）に満たない場合は再履修とする。

（単位認定を受ける資格）
第 15 条　次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
（1）　授業料その他諸納入金が未納であるとき
（2）　履修登録をしていないとき

（試験等の成績評価）
第 16 条　試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
（1）　100 点から 90 点まで　　秀
（2）　89 点から 80 点まで　　優
（3）　79 点から 70 点まで　　良
（4）　69 点から 60 点まで　　可
（5）　59 点以下　　不可（不合格）

（受験上の注意）
第 17 条　学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

（再試験等）
第 18 条　試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
2　再試験等の実施については、別に定める。
3　再試験等で合格した者の成績評価は、60 点（可）とする。

（追試験等）
第 19 条　病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
2　追試験等の実施については、別に定める。
3　追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附　則
この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

2.履修に関する留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験もしくは実習のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の３分の２（臨床実習科目においては５分の４）に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30 分未満の場合は３分の１回の欠席扱いとし、30 分以上の場合は１回の欠席扱いとします。

3)履修指導の体制

各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行いますので適時相談に来てください。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目（原則的に選択科目は除く）によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります（ただし、成績の評価は 60 点を上限とし、受験回数は１回のみとします）この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、初回履修時の授業への出席が授業時間の３分の２以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)臨床実習科目の履修に関する留意点

臨床実習科目を履修するためには、次の表に示す実習ごとの先修条件を満たしておく必要があります。詳細は「臨床実習の手引き」に記載していますので熟読してください。

先修条件

○理学療法学専攻

臨床実習科目名	開講年次	先修条件
早期体験実習	1年次前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1年次前期に開講された必修科目をすべて履修していること
地域理学療法実習	2年次後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期までに開講された必修科目をすべて履修していること
理学療法評価実習	3年次後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験（OSCE）に合格していること
総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ	4年次前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位をすべて修得していること

○作業療法学専攻

臨床実習科目名	開講年次	先修条件
早期体験実習	1年次前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1年次前期に開講された必修科目をすべて履修していること
地域作業療法実習	2年次後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期までに開講された必修科目をすべて履修していること
検査・測定実習	3年次前期	専門基礎科目と専門科目のうち、3年次前期までに開講された必修科目をすべて履修していること
作業療法評価実習	3年次後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験（OSCE）に合格していること
総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ	4年次前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位をすべて修得していること

3.教育目標と教育課程編成の考え方

学生は以下に示す教育目標と教育課程編成の考え方を理解し、ディプロマポリシーを達成するとともに理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるよう努めてください。

1)教育目標

日々変化する医療・社会情勢を的確にとらえ、科学的根拠に基づいた知識と技術を修得するとともに、多様化する個人・家族・社会のニーズに柔軟に対応して、地域において問題解決能力と実践力を発揮できる人材の養成を目標とします。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるように理学療法士・作業療法士学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

＜カリキュラムポリシー＞

リハビリテーション学科では、時代が求める先端医療と地域包括ケアの一翼を担う人材を育成するために各科目をバランスよく配置し、段階的に必要とされる各能力を向上させ

ることができるようカリキュラムを設定する。教育目標を達成するための学科のカリキュラムポリシーは、以下のとおりとする。

A．豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身に付ける教育
B．自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身に付ける教育
C．主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身に付ける教育
D．リハビリテーション医療職に必要な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育
E．全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育
F．リハビリテーション医療職として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身に付ける教育

各専攻のカリキュラムポリシーは以下のとおりとする。

＜理学療法学専攻のカリキュラムポリシー＞

A．理学療法士にふさわしい豊かな人間性、対象者の障害像を理解するための論理的な思考力、効率的な治療計画を立案できる的確な判断能力を身に付ける教育
B．自然や文化を大切にし、医療者としての倫理性、多様化する社会の中で理学療法士としての役割を認識できる社会性と国際的感覚を身に付ける教育
C．主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、自らの主張や意見を的確に表現する能力を身に付ける教育
D．対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させるために必要な理学療法の知識・技術と理学療法士に必要な情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育
E．理学療法士として対象者の心と身体の痛みを全人的に理解することができるとともに、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育
F．理学療法士として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、対象者が地域で自立した日常生活へ復帰させるために必要な多職種間の連携によるチームへ主体的に活動できる汎用的能力を身に付ける教育

＜作業療法学専攻のカリキュラムポリシー＞

A．対象者の心身機能の向上のみならず、生活の質を高めることも求められる作業療法士に必要な豊かな人間性、論理的な思考力、的確な問題解決能力を身に付ける教育
B．対象者の地域社会での生活支援も担う作業療法士として、自然・文化などの社会特性、倫理性を理解できると共に、多様化する社会の中で対応し得る国際的な感覚を身につける教育
C．主体的な体験や集団での討論を通して自己の意見を確立し、その意見を論理的にまとめた上で、的確に口頭や記述で表現する能力を身につける教育
D．子供から成人、高齢者までの多種多様な疾患、高次脳機能障害を対象として作業を用いた支援・治療を実践する作業療法士に必要な知識および技術、情報機器や言語・非言語的方法を用いた人とのコミュニケーション能力を身に付ける教育
E．作業療法士として、科学的、客観的な根拠に基づいた支援・治療および対象者の主観性や生活背景、障害受容過程を踏まえた精神的ケアが行える能力を身に付ける教育
F．作業療法士として、急速な少子高齢化や障害の多様化による社会的ニーズの変化に対応し、チーム医療や地域包括ケアの中で他職種と連携して活動できる協働性を培い、汎用的能力を身に付ける教育

4.ディプロマポリシーと科目の関連性

次の表はディプロマポリシー（DP）と科目の関連性を示したものです。学生は、この関連性から修得すべき事項を理解して授業に臨んでください。また、選択科目の選択においては、この関連性を参考にしてください。

理学療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

							DP① 理学療法士として備えるべき専門的知識と技術の修得により、対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させる能力を身につけ、心と身体の痛みに対して人間愛に基づいた全人的ケアを実践できる能力を備えている		DP② 理学療法士として対象者がもつ多様で個別的な保健医療ニーズを的確に捉える情報収集と問題解決能力を身につけている		DP③ 理学療法士として多職種間と連携・協働する能力を備え、チーム医療や地域包括ケアに主体的に参加することで、対象者が自立した日常生活行動を再獲得できるよう安全かつ的確に支援できる		DP④ 理学療法士としての知識と技術を高め、社会の変化と対象者の保健医療ニーズへ柔軟に対応しようとする意欲をもち、リハビリテーションの発展に貢献できる探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択		改善・向上させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	前	必			◎					○	
			英語Ⅱ	後	必			◎					○	
			英会話Ⅰ	前	必			◎					○	
			英会話Ⅱ	後	必			◎					○	
			中国語基礎Ⅰ	前	選			◎					○	
			中国語基礎Ⅱ	後	選			◎					○	
			中国語会話	前	選			◎					○	
			スペイン語基礎Ⅰ	前	選			◎					○	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	選			◎					○	
			スペイン語会話	前	選			◎					○	
			文学	後	選			◎					○	
			哲学	前	選			◎			○			
			倫理学	前	選			◎			○			
			心理学	前	必		◎					○		
			行動の科学	後	選		◎					○		
			文化人類学	後	選			◎					○	
			音楽の世界	後	選			◎					○	
			社会学	後	選			◎					○	
			日本国憲法	前	選			◎					○	
			歴史学	後	選			◎					○	
			地理学	後	選			◎					○	
			数学の世界	前	選					○				◎
			自然科学の基礎	後	選					○				◎
			環境化学の基礎	後	選					○				◎
			健康スポーツ（理論）	前	必		◎	○						
			健康スポーツ（実技）	後	選			○			◎			
			スポーツ実技Ⅰ	前	選			○			◎			
			スポーツ実技Ⅱ	後	選			○			◎			
		共生教養	共生と社会	後	選							◎	○	
			人権論	前	選							◎	○	
			ボランティア活動	前	必							◎	○	
			生活と環境	前	選							◎	○	
		奈良・国際	奈良学	前	選			◎					○	
			異文化コミュニケーション	後	選			◎					○	
			国際事情	後	必			◎					○	
		情報教養	情報機器の操作	前	必				◎	○				
			情報倫理とセキュリティ	前	選				◎	○				
			データの世界	前	選				◎	○				
			情報と分析	後	選				◎	○				
			ＣＧの基礎と演習	後	選				◎	○				
		キャリア形成	キャリアデザインⅠ	前	選			○					◎	
			キャリアデザインⅡ	後	選			○					◎	
		導入臨礎	基礎ゼミⅠ	前	必					◎				○
			基礎ゼミⅡ	後	必					◎				○

理学療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 理学療法士として備えるべき専門的知識と技術の修得により、対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させる能力を身につけ、心と身体の痛みに対して人間愛に基づいた全人的ケアを実践できる能力を備えている		DP② 理学療法士として対象者がもつ多様で個別的な保健医療ニーズを的確に捉える情報収集と問題解決能力を身につけている		DP③ 理学療法士として多職種間と連携・協働する能力を備え、チーム医療や地域包括ケアに主体的に参加することで、対象者が自立した日常生活行動を再獲得できるよう安全かつ的確に支援できる		DP④ 理学療法士としての知識と技術を高め、社会の変化と対象者の保健医療ニーズへ柔軟に対応しようとする意欲をもち、リハビリテーションの発展に貢献できる探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	改善・向上させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	前	必	◎	○						
			人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	後	必	◎	○						
			人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	後	必	◎	○						
			人体機能学Ⅰ(植物性機能)	前	必	◎	○						
			人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	◎	○						
			人間発達学	前	必	◎	○						
			運動学入門	前	必	◎	○						
			運動学Ⅰ(総論)	後	必	◎	○						
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	後	必	◎						○	
			リハビリテーション医学	前	必	◎						○	
			痛み学概論	後	必	◎						○	
			スポーツ医学	後	選	◎						○	
		保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	前	必					◎	○		
			チーム医療論	後	必					◎	○		
	専門科目	基礎理学療法学	理学療法概論	前	必	◎						○	
		臨床実習	早期体験実習(理学療法)	前	必	◎						○	
2年次	共通教育	キャリア形成	キャリアディベロップメントⅠ	前	選		◎					○	
			キャリアディベロップメントⅡ	後	選		◎					○	
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造実習	前	必	◎	○						
			人体生理機能実習	前	必	◎	○						
			運動学Ⅱ(各論)	前	必	◎	○						
			運動学演習	前	必	◎			○				
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			整形外科学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			内部障害学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			内部障害学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			神経内科学	前	必	◎	○						
			心身医学概論	後	必	◎	○						
			臨床心理	後	必	◎					○		
			薬理学概論	後	選	◎	○						
		保健医療福祉とリハビリテーション	国際リハビリテーション論	前	必		○					◎	
	専門科目	基礎理学療法学	臨床運動学	後	必	◎	○						
		理学療法評価学	理学療法評価学	前	必	◎	○	○					
			運動器障害評価学	後	必	◎	○	○					
			神経障害評価学	前	必	◎	○	○					
			内部障害評価学	後	必	◎	○	○					
		理学療法治療学	基礎運動療法学	前	必	◎	○						
			義肢装具学Ⅰ(総論)	前	必		○				◎		
			義肢装具学Ⅱ(各論)	後	必		○				◎		
			日常生活動作学	前	必		○				◎		
			日常生活動作学演習	後	必				○		◎		
		地域理学療法学	地域理学療法学	前	必						◎	○	
			地域理学療法学演習	後	必				○		◎		
		臨床実習	地域理学療法実習	後	必						◎	○	

理学療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 理学療法士として備えるべき専門的知識と技術の修得により、対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させる能力を身につけ、心と身体の痛みに対して人間愛に基づいた全人的ケアを実践できる能力を備えている		DP② 理学療法士として対象者がもつ多様で個別的な保健医療ニーズを的確に捉える情報収集と問題解決能力を身につけている		DP③ 理学療法士として多職種間と連携・協働する能力を備え、チーム医療や地域包括ケアに主体的に参加することで、対象者が自立した日常生活行動を再獲得できるよう安全かつ的確に支援できる		DP④ 理学療法士としての知識と技術を高め、社会の変化と対象者の保健医療ニーズへ柔軟に対応しようとする意欲をもち、リハビリテーションの発展に貢献できる探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	改善・向上させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
3年次	基礎専門	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	選	◎	○						
	専門科目	両専攻共通専門	医療リスクマネジメント	後	必				○			◎	
			疼痛リハビリテーション学	後	必		◎					○	
			リハビリテーション行動科学	後	必		◎					○	
			ウイメンズヘルスケア	後	必		◎					○	
			認知発達障害ケア	後	必		◎					○	
		基礎理学療法学	理学療法研究法	前	必				◎				○
			客観的臨床能力演習(理学療法)	後	必		◎		○			○	
		理学療法評価学	理学療法計画論	後	必		◎	○					
		理学療法治療学	物理療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			物理療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			筋骨格障害理学療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			中枢神経障害理学療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			中枢神経障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			小児期障害理学療法学	前	必	◎	○						
			スポーツ障害理学療法学	後	必	◎	○						
			内部障害理学療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			内部障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			内部障害理学療法学演習	後	必	○	◎						
			老年期障害理学療法学	前	必	◎	○						
			神経筋障害理学療法学	後	必	◎	○						
		地域理学療法学	福祉用具・生活環境論Ⅰ(総論)	前	必						◎	○	
			福祉用具・生活環境論Ⅱ(各論)	後	必						◎	○	
		臨床実習	理学療法評価実習	後	必	◎	○	○					
4年次	専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーション	先端リハビリテーション論	後	必							◎	○
			チーム医療論演習	後	必		○			◎			
	専門科目	両専攻共通専門	職場管理論	後	必		○			◎			
		基礎理学療法学	理学療法卒業研究	後	必				○				◎
		理学療法治療学	理学療法技術特論	後	必	◎							○
		臨床実習	総合臨床実習Ⅰ(理学療法)	前	必	◎	○	○	○				
			総合臨床実習Ⅱ(理学療法)	前	必	◎	○	○	○				

作業療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 作業療法士として、多種多様な対象者および疾患に対応するため、備えるべき専門的な知識と技術を修得する。また、全人的ケアが実践できる態度を身につけ、人生への満足度すなわち生活の質を高める支援ができる能力を備えている		DP② 作業療法士として対象者の個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集能力と保健医療の課題に対して問題解決に向けた取り組みが行える能力を備えている		DP③ 対象者が地域社会において主体的に自立した生活をおくれるように、チーム医療や地域包括ケアの中で、対象者を生活の視点で支援するという作業療法士の役割・専門性を理解し、多職種間での連携や協働ができる能力を修得する		DP④ 社会情勢や人口構成の変化に伴う社会ニーズの変化に対応し、さらなる発展に貢献するために、作業療法に対する探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	専門的知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	前	必		◎					○	
			英語Ⅱ	後	必		◎					○	
			英会話Ⅰ	前	必		◎					○	
			英会話Ⅱ	後	必		◎					○	
			中国語基礎Ⅰ	前	選		◎					○	
			中国語基礎Ⅱ	後	選		◎					○	
			中国語会話	前	選		◎					○	
			スペイン語基礎Ⅰ	前	選		◎					○	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	選		◎					○	
			スペイン語会話	前	選		◎					○	
			文学	後	選		◎					○	
			哲学	前	選		◎			○			
			倫理学	前	選		◎			○			
			心理学	前	必	◎					○		
			行動の科学	後	選	◎					○		
			文化人類学	後	選		◎					○	
			音楽の世界	後	選		◎					○	
			社会学	後	選		◎					○	
			日本国憲法	前	選		◎					○	
			歴史学	後	選		◎					○	
			地理学	後	選		◎					○	
			数学の世界	前	選				○				◎
			自然科学の基礎	後	選				○				◎
			環境化学の基礎	後	選				○				◎
			健康スポーツ（理論）	前	必	◎	○						
			健康スポーツ（実技）	後	選		○			◎			
			スポーツ実技Ⅰ	前	選		○			◎			
			スポーツ実技Ⅱ	後	選		○			◎			
		共生教養	共生と社会	後	選						◎	○	
			人権論	前	選						◎	○	
			ボランティア活動	前	必						◎	○	
			生活と環境	前	選						◎	○	
		奈良・国際	奈良学	前	選		◎					○	
			異文化コミュニケーション	後	選		◎					○	
			国際事情	後	必		◎					○	
		情報教養	情報機器の操作	前	必			◎	○				
			情報倫理とセキュリティ	前	選			◎	○				
			データの世界	前	選			◎	○				
			情報と分析	後	選			◎	○				
			ＣＧの基礎と演習	後	選			◎	○				
		キャリア形成	キャリアデザインⅠ	前	選		○					◎	
			キャリアデザインⅡ	後	選		○					◎	
		導入基礎	基礎ゼミⅠ	前	必				◎				○
			基礎ゼミⅡ	後	必				◎				○

作業療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 作業療法士として、多種多様な対象者および疾患に対応するため、備えるべき専門的な知識と技術を修得する。また、全人的ケアが実践できる態度を身につけ、人生への満足度すなわち生活の質を高める支援ができる能力を備えている		DP② 作業療法士として対象者の個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集能力と保健医療の課題に対して問題解決に向けた取り組みが行える能力を備えている		DP③ 対象者が地域社会において主体的に自立した生活をおくれるように、チーム医療や地域包括ケアの中で、対象者を生活の視点で支援するという作業療法士の役割・専門性を理解し、多職種間での連携や協働ができる能力を修得する		DP④ 社会情勢や人口構成の変化に伴う社会ニーズの変化に対応し、さらなる発展に貢献するために、作業療法に対する探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	専門的知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	前	必	◎	○						
			人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	後	必	◎	○						
			人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	後	必	◎	○						
			人体機能学Ⅰ(植物性機能)	前	必	◎	○						
			人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	◎	○						
			人間発達学	前	必	◎	○						
			運動学入門	前	必	◎	○						
			運動学Ⅰ(総論)	後	必	◎	○						
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	後	必	◎						○	
			リハビリテーション医学	前	必	◎						○	
			痛み学概論	後	必	◎						○	
			スポーツ医学	後	選	◎						○	
		保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	前	必					◎	○		
			チーム医療論	後	必					◎	○		
	専門科目	基礎作業療法学	作業療法概論	前	必	◎						○	
		臨床実習	早期体験実習(作業療法)	前	必	◎						○	
2年次	共通教育	キャリア形成	キャリアディベロップメントⅠ	前	選		◎					○	
			キャリアディベロップメントⅡ	後	選		◎					○	
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造実習	前	必	◎	○						
			人体生理機能実習	前	必	◎	○						
			運動学Ⅱ(各論)	前	必	◎	○						
			運動学演習	前	必	◎			○				
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			整形外科学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			内部障害学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			内部障害学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			神経内科学	前	必	○					◎		
			心身医学概論	後	必	○					◎		
			臨床心理	後	必	○					◎		
			薬理学概論	後	選	◎							
		保健医療福祉とリハビリテーション	国際リハビリテーション論	前	必		○					◎	
	専門科目	基礎作業療法学	基礎作業学	前	必	○	◎						
			作業技術学Ⅰ	後	必	○	◎						
			作業技術学Ⅱ	後	必	○	◎						
		作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ(身体)	前	必	◎	○	○					
			作業療法評価学Ⅱ(精神)	前	必	◎	○	○					
			作業療法評価学演習Ⅰ(身体)	後	必	◎		○	○				
			作業療法評価学演習Ⅱ(精神)	後	必	◎		○	○				
		作業療法治療学	身体障害作業療法学Ⅰ(総論・脳神経系)	前	必	◎	○						
			身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	前	必	◎	○						
			身体障害作業療法学Ⅲ(応用)	後	必	◎	○						
			発達障害作業療法学Ⅰ(総論)	後	必	◎	○						
		地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	○		○		○	◎		
			地域作業療法学Ⅱ(各論)	後	必		○			○		◎	
		臨床実習	地域作業療法実習	後	必	○		○		○	◎		

作業療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 作業療法士として、多種多様な対象者および疾患に対応するため、備えるべき専門的な知識と技術を修得する。また、全人的ケアが実践できる態度を身につけ、人生への満足度すなわち生活の質を高める支援ができる能力を備えている		DP② 作業療法士として対象者の個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集能力と保健医療の課題に対して問題解決に向けた取り組みが行える能力を備えている		DP③ 対象者が地域社会において主体的に自立した生活をおくれるように、チーム医療や地域包括ケアの中で、対象者を生活の視点で支援するという作業療法士の役割・専門性を理解し、多職種間での連携や協働ができる能力を修得する		DP④ 社会情勢や人口構成の変化に伴う社会ニーズの変化に対応し、さらなる発展に貢献するために、作業療法に対する探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	専門的知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
3年次	基礎専門	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	選	◎	○						
	専門科目	両専攻共通専門	医療リスクマネジメント	後	必				○			◎	
			疼痛リハビリテーション学	前	選	○						◎	
			リハビリテーション行動科学	後	選	○						◎	
			ウイメンズヘルスケア	前	選	○						◎	
			認知発達障害ケア	後	必	○						◎	
		基礎作業療法学	作業療法研究法	前	必			○	○				◎
			客観的臨床能力演習	後	必	◎		○					
		作業療法評価学	作業療法総合演習	後	必	◎		○					
		作業療法治療学	精神障害作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			発達障害作業療法学Ⅱ(各論)	前	必	◎	○						
			老年期障害作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			高次脳機能障害作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			高次脳機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			日常生活支援学Ⅰ(総論)	前	必	○					◎		
			日常生活支援学Ⅱ(各論)	後	必	○					◎		
			作業療法特論Ⅰ(身体障害)	前	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅱ(精神障害)	後	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅲ(発達障害)	前	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅳ(老年期障害)	後	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅴ(高次脳機能障害)	後	必	◎	○						
			義肢装具学	前	必	○					◎		
		地域作業療法学	生活環境整備論	後	必	○					◎		
		臨床実習	検査・測定実習	前	必	◎		○	○				
			作業療法評価実習	後	必	◎		○	○				
4年次	専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーション	先端リハビリテーション論	後	必		○					◎	
			チーム医療論演習	後	必				○	◎			
	専門科目	両専攻共通専門	職場管理論	後	必				○	◎			
		基礎作業療法学	作業療法卒業研究	後	必			○	○				◎
		臨床実習	総合臨床実習Ⅰ(作業療法)	前	必	◎	○	○	○				
			総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	前	必	◎	○	○	○				

授業科目表

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●								30	必修15単位 選択16単位 以上
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1後		○		○		○		○	30	
		スペイン語会話		1	1前	○		○		○		○		30	
		文学		2	1後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1前	○		○		○		○		30	
		心理学	2		1前	●								30	
		行動の科学		2	1後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1後		○		○		○		○	30	
		日本国憲法		2	1前	○		○		○		○		30	
		歴史学		2	1後		○		○		○		○	30	
		地理学		2	1後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1前	○		○		○		○		30	
		自然科学の基礎		2	1後		○		○		○		○	30	
		環境化学の基礎		2	1後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ（理論）	1		1前	●								15	
		健康スポーツ（実技）		1	1後		○		○		○		○	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1前	○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1後		○		○		○		○	30	
	共生教養	共生と社会		2	1後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動	2		1前	●								30	
		生活と環境		2	1前	○		○		○		○		30	
	奈良国際	奈良学		2	1前	○		○		○		○		30	
		異文化コミュニケーション		2	1後		○		○		○		○	30	
		国際事情	2		1後		●							30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1前	●								30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1前	○		○		○		○		30	
		データの世界		2	1前	○		○		○		○		30	
		情報と分析		2	1後		○		○		○		○	30	
		ＣＧの基礎と演習		2	1後		○		○		○		○	30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後		○							30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				○					30	
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1		1前	●								30	
		基礎ゼミⅡ	1		1後		●							30	
	小計（46科目）		15	57	—										

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1		1前	●								30	必修14単位
		人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1		1後		●							30	
		人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1		1後		●							30	
		人体構造実習	2		2前			●						60	
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1		1前	●								30	
		人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1		1後		●							30	
		人体生理機能実習	2		2前			●						60	
		人間発達学	1		1前	●								30	
		運動学入門	1		1前	●								30	
		運動学Ⅰ（総論）	1		1後		●							30	
		運動学Ⅱ（各論）	1		2前			●						30	
		運動学演習	1		2前			●						30	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	1		1後		●							30	必修10単位 選択2単位 以上
		リハビリテーション医学	1		1前	●								30	
		痛み学概論	1		1後		●							30	
		整形外科学Ⅰ（総論）	1		2前			●						30	
		整形外科学Ⅱ（各論）	1		2後				●					30	
		内部障害学Ⅰ（総論）	1		2前			●						30	
		内部障害学Ⅱ（各論）	1		2後				●					30	
		神経内科学	1		2前			●						30	
		心身医学概論	1		2後				●					30	
		臨床心理	1		2後				●					30	
		スポーツ医学		1	1後		○							30	
		薬理学概論		1	2後				○					30	
		救命救急学概論		1	3後						○			30	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1		1前	●								15	必修 5単位
		先端リハビリテーション論	1		4後								●	30	
		チーム医療論	1		1後		●							15	
		チーム医療論演習	1		4後								●	30	
		国際リハビリテーション論	1		2前			●						30	
	小計（30科目）		29	3	—										
専門科目（両専攻）	共通専門	医療リスクマネジメント	1		3後						●			15	必修2単位 選択2単位 以上
		職場管理論	1		4後								●	15	
		疼痛リハビリテーション学		1	3前					○				30	
		リハビリテーション行動科学		1	3後						○			30	
		ウイメンズヘルスケア		1	3前					○				30	
		認知発達障害ケア		1	3後						○			30	

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門科目（理学療法学専攻）	基礎理学療法学	理学療法概論	1		1前	●								30	必修7単位
		臨床運動学	1		2後				●					30	
		理学療法研究法	1		3前					●				30	
		客観的臨床能力演習（理学療法）	2		3後						●			30	
		理学療法卒業研究	2		4後								●	30	
	理学療法評価学	理学療法評価学	1		2前			●						30	必修6単位
		運動器障害評価学	1		2後				●					30	
		神経障害評価学	1		2前			●						30	
		内部障害評価学	1		2後				●					30	
		理学療法計画論	2		3後						●			30	
	理学療法治療学	基礎運動療法学	1		2前			●						15	必修20単位
		義肢装具学Ⅰ（総論）	1		2前			●						30	
		義肢装具学Ⅱ（各論）	1		2後				●					30	
		物理療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		物理療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		筋骨格障害理学療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		筋骨格障害理学療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		中枢神経障害理学療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		中枢神経障害理学療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		小児期障害理学療法学	1		3前					●				30	
		スポーツ障害理学療法学	1		3後						●			30	
		内部障害理学療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		内部障害理学療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		内部障害理学療法学演習	1		3後						●			30	
		老年期障害理学療法学	1		3前					●				30	
		神経筋障害理学療法学	1		3後						●			30	
		日常生活動作学	1		2前			●						30	
		日常生活動作学演習	2		2後				●					30	
		理学療法技術特論	1		4後								●	30	
	地域理学療法学	地域理学療法学	1		2前			●						30	必修5単位
		地域理学療法学演習	2		2後				●					30	
		福祉用具・生活環境論Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		福祉用具・生活環境論Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
	臨床実習	早期体験実習（理学療法）	1		1前	●								45	必修22単位
		地域理学療法実習	2		2後				●					90	
		理学療法評価実習	3		3後						●			135	
		総合臨床実習Ⅰ（理学療法）	8		4前							●		360	
		総合臨床実習Ⅱ（理学療法）	8		4前							●		360	
	小計（44科目）		62	4	—										

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門科目（作業療法学専攻）	基礎作業療法学	作業療法概論	1		1前	●								30	必修8単位
		基礎作業学	1		2前			●						30	
		作業技術学Ⅰ	1		2後				●					30	
		作業技術学Ⅱ	1		2後				●					30	
		作業療法研究法	1		3前					●				30	
		作業療法卒業研究	2		4後								●	30	
		客観的臨床能力演習（作業療法）	1		3後						●			30	
	作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ（身体）	1		2前			●						30	必修5単位
		作業療法評価学Ⅱ（精神）	1		2前			●						30	
		作業療法評価学演習Ⅰ（身体）	1		2後				●					30	
		作業療法評価学演習Ⅱ（精神）	1		2後				●					30	
		作業療法総合演習	1		3後								●	30	
	作業療法治療学	身体障害作業療法学Ⅰ（総論・脳神経系）	1		2前			●						30	必修20単位
		身体障害作業療法学Ⅱ（運動器・難病）	1		2前			●						30	
		身体障害作業療法学Ⅲ（応用）	1		2後				●					30	
		精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		精神障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		2後				●					30	
		発達障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3前					●				30	
		老年期障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		老年期障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		高次脳機能障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		高次脳機能障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		日常生活支援学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		日常生活支援学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		作業療法特論Ⅰ（身体障害）	1		3前					●				15	
		作業療法特論Ⅱ（精神障害）	1		3後						●			15	
		作業療法特論Ⅲ（発達障害）	1		3前					●				15	
		作業療法特論Ⅳ（老年期障害）	1		3後						●			15	
		作業療法特論Ⅴ（高次脳機能障害）	1		3後						●			15	
		義肢装具学	2		3前					●				30	
	地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ（総論）	2		2前				●					30	必修4単位
		地域作業療法学Ⅱ（各論）	1		2後					●				30	
		生活環境整備論	1		3後						●			30	
	臨床実習	早期体験実習（作業療法）	1		1前	●								45	必修23単位
		地域作業療法実習	2		2後				●					90	
		検査・測定実習	1		3前					●				45	
		作業療法評価実習	3		3後						●			135	
		総合臨床実習Ⅰ（作業療法）	8		4前							●		360	
		総合臨床実習Ⅱ（作業療法）	8		4前							●		360	
	小計（46科目）		62	4	—										
理学療法学専攻　合計(120科目)126単位以上 作業療法学専攻　合計(122科目)126単位以上			106	64	—										

選択科目履修モデル

選択科目の中から希望する就職先（病院・クリニック、訪問看護ステーション・老人保健施設、大学院進学）に合わせ、自らの志向により科目を選択履修してください。

履修モデル１（病院・クリニック）

１年次		２年次		３年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報理論とｾｷｭﾘﾃｨ	薬理学概論	疼痛ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学	救命救急学概論
人権論	健康スポーツ（実技）				ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	情報と分析				

履修モデル２（訪問看護ステーション・老人保健施設）

１年次		２年次		３年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学		薬理学概論		救命救急学概論
日本国憲法	健康スポーツ（実技）				ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ行動科学
人権論	共生と社会				認知発達障害ケア
生活と環境					
奈良学					
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ					

履修モデル３（大学院進学）

１年次		２年次		３年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報倫理とｾｷｭﾘﾃｨ	薬理学概論	疼痛ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学	救命救急学概論
数学の世界	健康スポーツ（実技）				ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	情報と分析				
	スポーツ医学				

履修モデル１（理学療法学専攻）（病院、クリニック就職希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ（理論）	1	必	健康スポーツ（実技）	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						4		
		人権論	2	選																								
	奈良・国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造及び心身の発達と機能	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1	必	人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1	必	人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1	必	人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1	必	運動学Ⅱ（各論）	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ（総論）	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復の過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ（総論）	1	必	整形外科学Ⅱ（各論）	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害学Ⅱ（各論）	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	保健・福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	両専門共通専攻													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	基礎理学療法学	理学療法概論	1	必							臨床運動学	1	必	理学療法研究法	1	必										7		必修7単位
																	客観的臨床能力演習（理学療法）	2	必				理学療法卒業研究	2	必			
	理学療法評価学							理学療法評価学	1	必	運動器障害評価学	1	必				理学療法計画論	2	必							6		必修6単位
								神経障害評価学	1	必	内部障害評価学	1	必															
	理学療法治療学							基礎運動療法学	1	必	義肢装具学Ⅱ（各論）	1	必	物理療法学Ⅰ（総論）	1	必	物理療法学Ⅱ（各論）	1	必				理学療法技術特論	1	必	20		必修20単位
								義肢装具学Ⅰ（総論）	1	必	日常生活動作学演習	2	必	筋骨格障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	筋骨格障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
								日常生活動作学	1	必				中枢神経障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	中枢神経障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														小児期障害理学療法学	1	必	スポーツ障害理学療法学	1	必									
														内部障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														老年期障害理学療法学	1	必	内部障害理学療法学演習	1	必									
																	神経筋障害理学療法学	1	必									
	地域理学療法学							地域理学療法学	1	必	地域理学療法学演習	2	必	福祉用具・生活環境論Ⅰ（総論）	1	必	福祉用具・生活環境論Ⅱ（各論）	1	必							5		必修5単位
	臨床実習	早期体験実習（理学療法）	1	必							地域理学療法実習	2	必				理学療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ（理学療法）	8	必				22		必修22単位
																				総合臨床実習Ⅱ（理学療法）	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必	15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選	16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	6	必修	11	11	必修	4	5	必修			必修		1	必修			必修	2	2	必	29	31	
		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択	1		選択			選択			選	2		
専門		必修	2	2	必修			必修	6	6	必修	10	10	必修	8	9	必修	16	17	必修	16	16	必修	4	4	必	62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選	2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**18**	**必修**	**17**	**19**	**必修**	**14**	**15**	**必修**	**8**	**9**	**必修**	**16**	**18**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**6**	**6**	**必**	**106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**7**		**選択**	**2**		**選択**	**1**		**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選**	**20**		
		必修29 選択14 合計43						**必修31 選択3 合計34**						**必修24 選択3 合計27**						**必修22 選択0 合計22**									

履修モデル２（理学療法学専攻）（訪問看護ステーション、老人保健施設就職希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ（理論）	1	必	健康スポーツ（実技）	1	選																					
		倫理学	2	選																								
		日本国憲法	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						8		
		人権論	2	選																								
		生活と環境	2	選	共生と社会	2	選																					
	奈良・国際	奈良学	2	選	国際事情	2	必																			4		
	情報教養	情報機器の操作	2	必																						2		
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1	必	人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1	必	人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1	必	人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1	必	運動学Ⅱ（各論）	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ（総論）	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ（総論）	1	必	整形外科学Ⅱ（各論）	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害学Ⅱ（各論）	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	専攻共通専門																医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
																	認知発達障害ケア	1	選									
	理学療法学基礎	理学療法概論	1	必							臨床運動学	1	必	理学療法研究法	1	必										7		必修7単位
																	客観的臨床能力演習（理学療法）	2	必				理学療法卒業研究	2	必			
	理学療法評価学							理学療法評価学	1	必	運動器障害評価学	1	必				理学療法計画論	2	必							6		必修6単位
								神経障害評価学	1	必	内部障害評価学	1	必															
	理学療法治療学							基礎運動療法学	1	必	義肢装具学Ⅱ（各論）	1	必	物理療法学Ⅰ（総論）	1	必	物理療法学Ⅱ（各論）	1	必				理学療法技術特論	1	必	20		必修20単位
								義肢装具学Ⅰ（総論）	1	必	日常生活動作学演習	2	必	筋骨格障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	筋骨格障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
								日常生活動作学	1	必				中枢神経障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	中枢神経障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														小児期障害理学療法学	1	必	スポーツ障害理学療法学	1	必									
														内部障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														老年期障害理学療法学	1	必	内部障害理学療法学演習	1	必									
																	神経筋障害理学療法学	1	必									
	地域理学療法学							地域理学療法学	1	必	地域理学療法学演習	2	必	福祉用具・生活環境論Ⅰ（総論）	1	必	福祉用具・生活環境論Ⅱ（各論）	1	必							5		必修5単位
	臨床実習	早期体験実習（理学療法）	1	必							地域理学療法実習	2	必				理学療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ（理学療法）	8	必				22		必修22単位
																				総合臨床実習Ⅱ（理学療法）	8	必						
共通教育		必修 10	21		必修 5	10		必修			必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	
		選択 11			選択 5			選択			選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修 6	6		必修 6	6		必修 11	11		必修 4	5		必修		1	必修		1	必修		2	必修 2		2	必 29	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択			選択			選択			選択 1			選択			選択 1			選択			選択			選 2		
専門		必修 2	2		必修			必修 6	6		必修 10	10		必修 8	8		必修 16	18		必修 16	16		必修 4	4		必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択			選択 2			選択			選択			選 2		
合計		**必修 18**	**29**		**必修 11**	**16**		**必修 17**	**17**		**必修 14**	**15**		**必修 8**	**8**		**必修 16**	**19**		**必修 16**	**16**		**必修 6**	**6**		**必 106**	**126**	
		選択 11			**選択 5**			**選択**			**選択 1**			**選択**			**選択 3**			**選択**			**選択**			**選 20**		
		必修29 選択16 合計45						**必修31 選択1 合計32**						**必修24 選択3 合計27**						**必修22 選択0 合計22**								

コンピュータに戻る

履修モデル３（理学療法学専攻）（大学院進学希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			16	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ(理論)	1	必	健康スポーツ(実技)	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
		数学の世界	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						2		
	奈良・国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	1	必	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	1	必	人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ(植物性機能)	1	必	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	1	必	運動学Ⅱ(各論)	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ(総論)	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ(総論)	1	必	整形外科学Ⅱ(各論)	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ(総論)	1	必	内部障害学Ⅱ(各論)	1	必															
					スポーツ医学	1	選	神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
	福祉機器とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	共通専門 両専攻													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	基礎理学療法学	理学療法概論	1	必							臨床運動学	1	必	理学療法研究法	1	必										7		必修7単位
																	客観的臨床能力演習(理学療法)	2	必				理学療法卒業研究	2	必			
	理学療法評価学							理学療法評価学	1	必	運動器障害評価学	1	必				理学療法計画論	2	必							6		必修6単位
								神経障害評価学	1	必	内部障害評価学	1	必															
	理学療法治療学							基礎運動療法学	1	必	義肢装具学Ⅱ(各論)	1	必	物理療法学Ⅰ(総論)	1	必	物理療法学Ⅱ(各論)	1	必				理学療法技術特論	1	必	20		必修20単位
								義肢装具学Ⅰ(総論)	1	必	日常生活動作学演習	2	必	筋骨格障害理学療法学Ⅰ(総論)	1	必	筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	1	必									
								日常生活動作学	1	必				中枢神経障害理学療法学Ⅰ(総論)	1	必	中枢神経障害理学療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														小児期障害理学療法学	1	必	スポーツ障害理学療法学	1	必									
														内部障害理学療法学Ⅰ(総論)	1	必	内部障害理学療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														老年期障害理学療法学	1	必	内部障害理学療法学演習	1	必									
																	神経筋障害理学療法学	1	必									
	地域理学療法学							地域理学療法学	1	必	地域理学療法学演習	2	必	福祉用具・生活環境論Ⅰ(総論)	1	必	福祉用具・生活環境論Ⅱ(各論)	1	必							5		必修5単位
	臨床実習	早期体験実習(理学療法)	1	必							地域理学療法実習	2	必				理学療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ(理学療法)	8	必				22		必修22単位
																				総合臨床実習Ⅱ(理学療法)	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必	15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選	16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	7	必修	11	11	必修	4	4	必修		1	必修		1	必修		2	必修	2	2	必	29	31	
		選択			選択	1		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択			選	2		
専門		必修	2	2	必修			必修	6	6	必修	10	10	必修	8	9	必修	16	17	必修	16	16	必修	4	4	必	62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選	2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**19**	**必修**	**17**	**19**	**必修**	**14**	**14**	**必修**	**8**	**9**	**必修**	**16**	**18**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**6**	**6**	**必**	**106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**8**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選**	**20**		
		必修29　選択15　合計44						**必修31　選択2　合計33**						**必修24　選択3　合計27**						**必修22　選択0　合計22**									

✐履修モデル４（作業療法学専攻）（病院、クリニック就職希望者）

科目区分		1年生						2年生						3年生						4年生						単位		卒業要件
		＜前　期＞			＜後　期＞			＜前　期＞			＜後　期＞			＜前　期＞			＜後　期＞			＜前　期＞			＜後　期＞					
		科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分			
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ(理論)	1	必	健康スポーツ(実技)	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						4		
		人権論	2	選																								
	奈良・国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	1	必	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	1	必	人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ(植物性機能)	1	必	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	1	必	運動学Ⅱ(各論)	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ(総論)	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ(総論)	1	必	整形外科学Ⅱ(各論)	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ(総論)	1	必	内部障害学Ⅱ(各論)	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	両専攻共通													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	作業療法基礎学	作業療法概論	1	必				作業技術学Ⅰ	1	必	作業技術学Ⅱ	1	必	作業療法研究法	1	必							作業療法卒業研究	2	必	8		必修8単位
											作業技術学Ⅲ	1	必				客観的臨床能力演習(作業療法)	1	必									
	作業療法評価学							作業療法評価学Ⅰ(身体)	1	必	作業療法評価学演習Ⅰ(身体)	1	必				作業療法総合演習	1	必							5		必修5単位
								作業療法評価学Ⅱ(精神)	1	必	作業療法評価学演習Ⅱ(精神)	1	必															
	作業療法治療学							身体障害作業療法学Ⅰ(総論・脳神経系)	1	必	身体障害作業療法学Ⅲ(応用)	1	必	精神障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必							20		必修20単位
								身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	1	必	発達障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	発達障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必	老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														老年期障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														高次脳機能障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	日常生活支援学Ⅱ	1	必									
														日常生活支援学Ⅰ	1	必	作業療法特論Ⅱ(精神障害)	1	必									
														作業療法特論Ⅰ(身体障害)	1	必	作業療法特論Ⅳ(老年期障害)	1	必									
														作業療法特論Ⅲ(発達障害)	1	必	作業療法特論Ⅴ(高次脳機能障害)	1	必									
														義肢装具学	2	必												
	地域作業療法学							地域作業療法学Ⅰ(総論)	2	必	地域作業療法学Ⅱ(各論)	1	必				生活環境整備論	1	必							4		必修4単位
	臨床実習	早期体験実習(作業療法)	1	必							地域作業療法実習	2	必	検査・測定実習	1	必	作業療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ(作業療法)	8	必				23		必修23単位
																				総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	6	必修	11	11	必修	4	5	必修			必修		1	必修			必修	2	2	必 29	31	
		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択	1		選択			選択			選 2		
専門		必修	2	2	必修			必修	7	7	必修	9	9	必修	11	12	必修	14	15	必修	16	16	必修	3	3	必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選 2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**18**	**必修**	**18**	**20**	**必修**	**13**	**14**	**必修**	**11**	**12**	**必修**	**14**	**16**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**5**	**5**	**必 106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**7**		**選択**	**2**		**選択**	**1**		**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選 20**		
		必修29　選択14　合計43						**必修31　選択3　合計34**						**必修25　選択3　合計28**						**必修21　選択0　合計21**								

☞履修モデル５（作業療法学専攻）（訪問看護ステーション、老人保健施設就職希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ（理論）	1	必	健康スポーツ（実技）	1	選																					
		倫理学	2	選																								
		日本国憲法	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						8		
		人権論	2	選																								
		生活と環境	2	選	共生と社会	2	選																					
	奈良・国際	奈良学	2	選	国際事情	2	必																			4		
	情報教養	情報機器の操作	2	必																						2		
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1	必	人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1	必	人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1	必	人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1	必	運動学Ⅱ（各論）	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ（総論）	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成立ちと回復過程及び促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ（総論）	1	必	整形外科学Ⅱ（各論）	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害学Ⅱ（各論）	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	福祉と医療チーム医療	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	専攻共通専門																医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
																	認知発達障害ケア	1	選									
	基礎作業療法学	作業療法概論	1	必				作業技術学Ⅰ	1	必	作業技術学Ⅱ	1	必	作業療法研究法	1	必							作業療法卒業研究	2	必	8		必修8単位
											作業技術学Ⅲ	1	必				客観的臨床能力演習（作業療法）	1	必									
	作業療法評価学							作業療法評価学Ⅰ（身体）	1	必	作業療法評価学演習Ⅰ（身体）	1	必				作業療法総合演習	1	必							5		必修5単位
								作業療法評価学Ⅱ（精神）	1	必	作業療法評価学演習Ⅱ（精神）	1	必															
	作業療法治療学							身体障害作業療法学Ⅰ（総論・脳神経系）	1	必	身体障害作業療法学Ⅲ（応用）	1	必	精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	精神障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必							20		必修20単位
								身体障害作業療法学Ⅱ（運動器・臓所）	1	必	発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	発達障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必	老年期障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														老年期障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														高次脳機能障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	日常生活支援学Ⅱ	1	必									
														日常生活支援学Ⅰ	1	必	作業療法特論Ⅱ（精神障害）	1	必									
														作業療法特論Ⅰ（身体障害）	1	必	作業療法特論Ⅳ（老年期障害）	1	必									
														作業療法特論Ⅲ（発達障害）	1	必	作業療法特論Ⅴ（高次脳機能障害）	1	必									
														義肢装具学	2	必											
	地域作業療法学							地域作業療法学Ⅰ（総論）	2	必	地域作業療法学Ⅱ（各論）	1	必				生活環境整備論	1	必							4		必修4単位
	臨床実習	早期体験実習（作業療法）	1	必							地域作業療法実習	2	必	検査・測定実習	1	必	作業療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ（作業療法）	8	必				23		必修23単位
																				総合臨床実習Ⅱ（作業療法）	8	必						
共通教育		必修	10	21	必修	5	10	必修			必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	11		選択	5		選択			選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	6	必修	11	11	必修	4	5	必修		1	必修			必修		2	必修	2	4	必 29	31	
		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択	1		選択			選択			選 2		
専門		必修	2	2	必修			必修	7	7	必修	9	9	必修	11	11	必修	14	16	必修	16	16	必修	3	3	必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択			選択	2		選択			選択			選 2		
合計		必修	18	29	必修	11	16	必修	18	18	必修	13	14	必修	11	11	必修	14	17	必修	16	16	必修	5	5	必 106	126	
		選択	11		選択	5		選択			選択	1		選択			選択	3		選択			選択			選 20		
		必修29 選択16 合計45						必修31 選択1 合計32						必修25 選択3 合計28						必修21 選択0 合計21								

✐履修モデル６（作業療法学専攻）（大学院進学希望者）

科目区分		1年生						2年生						3年生						4年生						単位		卒業要件
		<前　期>			<後　期>			<前　期>			<後　期>			<前　期>			<後　期>			<前　期>			<後　期>					
		科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分			
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			16	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ(理論)	1	必	健康スポーツ(実技)	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
		数学の世界	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						2		
	奈良･国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	1	必	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	1	必	人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ(植物性機能)	1	必	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	1	必	運動学Ⅱ(各論)	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ(総論)	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ(総論)	1	必	整形外科学Ⅱ(各論)	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ(総論)	1	必	内部障害学Ⅱ(各論)	1	必															
					スポーツ医学	1	選	神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
	保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	両専攻共通													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	基礎作業療法学	作業療法概論	1	必				作業技術学Ⅰ	1	必	作業技術学Ⅱ	1	必	作業療法研究法	1	必							作業療法卒業研究	2	必	8		必修8単位
											作業技術学Ⅲ	1	必				客観的臨床能力演習(作業療法)	1	必									
	作業療法評価学							作業療法評価学Ⅰ(身体)	1	必	作業療法評価学演習Ⅰ(身体)	1	必				作業療法総合演習	1	必							5		必修5単位
								作業療法評価学Ⅱ(精神)	1	必	作業療法評価学演習Ⅱ(精神)	1	必															
	作業治療学							身体障害作業療法学Ⅰ(総論・脳神経系)	1	必	身体障害作業療法学Ⅲ(応用)	1	必	精神障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必							20		必修20単位
								身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	1	必	発達障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	発達障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必	老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														老年期障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														高次脳機能障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	日常生活支援学Ⅱ	1	必									
														日常生活支援学Ⅰ	1	必	作業療法特論Ⅱ(精神障害)	1	必									
														作業療法特論Ⅰ(身体障害)	1	必	作業療法特論Ⅳ(老年期障害)	1	必									
														作業療法特論Ⅲ(発達障害)	1	必	作業療法特論Ⅴ(高次脳機能障害)	1	必									
														義肢装具学	2	必												
	地域作業療法学							地域作業療法学Ⅰ(総論)	2	必	地域作業療法学Ⅱ(各論)	1	必				生活環境整備論	1	必							4		必修4単位
	臨床実習	早期体験実習(作業療法)	1	必							地域作業療法実習	2	必	検査・測定実習	1	必	作業療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ(作業療法)	8	必				23		必修23単位
																				総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	7	必修	11	11	必修	4	4	必修			必修		1	必修			必修	2	2	必 29	31	
		選択			選択	1		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択			選 2		
専門		必修	2	2	必修			必修	7	7	必修	9	9	必修	11	12	必修	14	15	必修	16	16	必修	3	3	必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選 2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**19**	**必修**	**18**	**20**	**必修**	**13**	**13**	**必修**	**11**	**12**	**必修**	**14**	**16**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**5**	**5**	**必 106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**8**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選 20**		
		必修29　選択15　合計44						**必修31　選択2　合計33**						**必修25　選択3　合計28**						**必修21　選択0　合計21**								

平成31年度(2019)

履修の手引

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部

は　じ　め　に

この「履修の手引」は、学生諸君が４年間にわたって本学で学修していくうえで必要な事項をまとめた手引きです。

奈良学園大学では、学修に必要な数多くの教育科目を開設しています。学生諸君は、自分の目標や興味・関心に基づき、本学の定める履修規程に従って、履修する授業科目を選択し、主体的に履修を完遂してください。自ら責任をもって計画を立て学修することは、大学教育の大きな柱の一つです。

学修においては一定の成果を修め、卒業に必要な単位を修得していかなければなりません。この「履修の手引」を熟読し、効果的な履修計画を立て、有意義な学習ができるよう期待しています。

目　次

建学の精神 …… 6

教育理念 …… 6

保健医療学部の教育目的 …… 6

奈良学園大学　教育のポリシー
1）アドミッションポリシー …… 7
2）ディプロマポリシー …… 7

2019 年度　学年暦及び行事予定表
1）看護学科 …… 8
2）リハビリテーション学科 …… 12

Ⅰ　履修要項（2学科共通）

1．教育課程
1）教育課程（カリキュラム）…… 15
2）単位制 …… 15
3）単位の計算方法 …… 15

2．履修登録
1）履修登録 …… 16
2）履修制限 …… 17
3）履修登録の変更・取消 …… 17

3．授　業
1）授業時間 …… 17
2）休講 …… 18
3）臨時休講 …… 18
4）補講 …… 18
5）公欠・長期欠席等 …… 19
6）学校で予防すべき感染症 …… 19

4．試　験
1）定期試験 …… 20
2）論文（レポート）試験・提出 …… 20
3）追試験 …… 20
4）再試験 …… 21
5）試験受験の心得 …… 21
6）不正行為（カンニング）…… 22

5．成　績
1）成績評価 …… 22
2）成績発表 …… 22
3）成績通知書と修得単位 …… 22

6．卒業の要件
1）卒業の要件 …… 23
2）卒業に必要な単位数 …… 23

7．ＧＰＡ制度
1）ＧＰＡ制度導入の趣旨 …… 23
2）ＧＰＡの算出方法 …… 23
3）ＧＰＡの算定基準 …… 23
4）ＧＰＡの算出例 …… 24
5）ＧＰＡ値の確認方法 …… 24

8．オフィス・アワー …… 24

Ⅱ　看護学科（2018 年度以降入学生）

1．履修規程（2018 年度以降入学生） …… 27

2．履修に関する留意点
1）授業の形態 …… 29
2）授業への出席 …… 29
3）履修指導の体制 …… 29
4）再受験科目 …… 29
5）看護学実習科目の履修に関する留意点 …… 29
6）課程選択に伴う履修上の留意点 …… 30
7）課程選択の決定 …… 30

3．教育目的と教育課程編成の考え方
1）教育目的 …… 30
2）教育課程編成の考え方 …… 30

4．ディプロマポリシーとカリキュラムマップ
1）カリキュラムマップ …… 31
2）ディプロマポリシーを構成する要素 …… 31

5．看護学実習の概要
1）看護学実習の概要と開講時期 …… 39
2）看護学実習要綱 …… 39
3）看護学実習の評価 …… 40
4）実習中の事故防止と対処 …… 40
5）感染防止 …… 40

6．看護師・保健師課程選択者選考要領 …… 41

7．看護師・助産師課程選択者選考要領 …… 43

授業科目表 …… 45

課程選択別履修モデル …… 48

Ⅲ　看護学科（2017 年度以前入学生）

1．履修規程 …… 51

2．履修に関する留意点
1）授業の形態 …… 53
2）授業への出席 …… 53
3）履修指導の体制 …… 53
4）看護学実習科目の履修に関する留意点 …… 53
5）再受験科目 …… 53
6）課程選択に伴う履修上の留意点 …… 53
7）課程選択の決定 …… 54

3．教育目標と教育課程編成の考え方
1）教育目標 …… 54
2）教育課程編成の考え方 …… 54
3）教育課程全体の特色 …… 55
4）教育課程の概要 …… 56

4．看護学実習の概要
1）看護学実習の概要と開講時期 …… 60
2）看護学実習要綱 …… 61
3）看護学実習の評価 …… 61
4）実習中の事故防止と対処 …… 61
5）感染防止 …… 61

5．看護師・保健師課程選択履修要領 …… 62

6．看護師・助産師課程選択履修要領 …… 64

授業科目表 …… 66

課程選択別履修モデル …… 69

Ⅳ　リハビリテーション学科

1．履修規程 …… 75

2．履修に関する留意点
1）授業の形態 …… 77
2）授業への出席 …… 77
3）履修指導の体制 …… 77
4）再受験科目 …… 77
5）臨床実習科目の履修に関する留意点 …… 77

3．教育目標と教育課程編成の考え方
1）教育目標 …… 78
2）教育課程編成の考え方 …… 78

4．ディプロマポリシーと科目の関連性
理学療法学専攻 …… 80
作業療法学専攻 …… 84

授業科目表 …… 87

選択科目履修モデル …… 91

建　学　の　精　神

高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する。

教　育　理　念

現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をつちかい、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成する。

保健医療学部の教育目的

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力をそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者を育成することを目的とする。

奈良学園大学　教育のポリシー

1．アドミッションポリシー（admission policy　入学者受入方針）

①大学教育を受けるに相応しい基礎能力や体験を備え、本学での教育を通じて社会人としての一層の成長が期待できる学生を受け入れる。

②実践を重視した演習課題に、積極的にとりくむ意欲のある学生を受け入れる。

③地域社会との交流に関心を持ち、将来、社会全体の発達・発展に貢献する事に使命感を持つ学生を受け入れる。

2．ディプロマポリシー（diploma policy　卒業認定・学位授与に関する方針）

本学は、所定の単位を修得し、以下のような「実践力」を身につけた学生に対して、その卒業を認定する。

①高度な学識と実務能力に基く実践力

②時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をもつ実践力

③社会に貢献することのできる実践力

平成 31 年度（2019） 学年暦及び行事予定表

【看護学科】

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1年次生
4月		1	2	3	4	5	6	3日（水） 入学式 4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日） 履修登録 5日（金）～6日（土） 新入生学外宿泊研修（1泊2日） 5日（金）・8日（月） 教科書販売 8日（月）～14日（日） 履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始 20日（土） 保護者懇談会（3,4年次生） 20日（土） 4月29日の授業日	3日（水） 入学式 4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日） 履修登録 5日（金）～6日（土） 新入生学外宿泊研修（1泊2日） 5日（金）・8日（月） 教科書販売 8日（月）～14日（日） 履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
5月				1	2	3	4	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月）全年次生授業実施日 11日（土） 4月30日の授業日 25日（土） 5月1日の授業日	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月）授業実施日
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
6月							1	22日（土） 保護者懇談会（1,2年次生）	22日（土） 保護者懇談会
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30								
7月		1	2	3	4	5	6	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					
8月					1	2	3	1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示	1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
9月	1	2	3	4	5	6	7	9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始（1,2,4年次生） 23日（月） 授業実施日	2日（月）～13日（金） 基礎看護学実習Ⅰ 9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始 23日（月） 授業実施日
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							

2 年 次 生	3 年 次 生	4 年 次 生
4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）・8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始	4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）・8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始 20日（土） 保護者懇談会	4日（木） ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）・8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月） 前期授業開始 20日（土） 保護者懇談会
2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月） 授業実施日	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月） 授業実施日	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月） 授業実施日 6日（月）～6月7日（金） 統合看護学実習
22日（土） 保護者懇談会		
15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験	15日（月） 授業実施日 20日（土） 前期授業終了 25日（木）～31日（水） 前期定期試験
1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示	1日（木）～6日（火） 実習オリエンテーション 7日（水）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 追再試験成績開示 26日（月）～3月6日（金） 各領域実習	1日（木）～9月15日（日） 夏期休業 6日（火） 成績開示 7日（水）～8日（木） 前期追・再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火） 前期追再試験 23日（金） 成績開示
9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始 23日（月） 授業実施日	9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間	9日（月）～15日（日） 履修登録 16日（月）～22日（日） 履修登録確認期間 16日（月） 授業実施日 後期授業開始 23日（月） 授業実施日

【看護学科】

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1年次生
10月			1	2	3	4	5	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
11月						1	2	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
12月	1	2	3	4	5	6	7	21日（土） 年内授業最終日 22日（日）～1月9日（木） 冬期休業	21日（土） 年内授業最終日
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
1月				1	2	3	4	10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了 21日（火）～27日（月） 後期定期試験（1,2年次生）	10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了 21日（火）～27日（月） 後期定期試験
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
2月							1	7日（金） 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き (1,2年次生)	7日（金） 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
3月	1	2	3	4	5	6	7	2日（月）,3日（火） 後期追再試験 10日（火） 成績開示 15日（日） 卒業式・学位記授与式	2日（月）,3日（火） 後期追再試験 10日（火） 成績開示
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						

2 年 次 生	3 年 次 生	4 年 次 生
13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日（日） 学園祭（三室祭） 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭(登美ヶ丘祭)
1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日	1日（金） 創立記念日　授業実施日	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日
21日（土） 年内授業最終日	21日（土） 年内授業最終日	7日（土） 年内授業最終日 9日（月）～14日（土） 後期試験 19日（木） 成績開示 19日（木）,20日（金） 後期追再試験手続き日
10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了 21日（火）～27日（月） 後期定期試験 31日（金） 基礎看護学実習Ⅱ オリエンテーション	6日（月） 年明け各領域実習開始	10日（金）～11日（土） 後期追再試験
3日（月）～28日（金） 基礎看護学実習Ⅱ 7日（金） 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き		7日（金） 成績開示
2日（月）,3日（火） 後期追再試験 10日（火） 成績開示	10日（火） 成績開示	15日（日） 卒業式・学位記授与式

【リハビリテーション学科】

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定
4月		1	2	3	4	5	6	3日（水）　入学式 4日（木）　ガイダンス・健康診断 4日（木）～7日（日）履修登録 5日（金）～6日（土）新入生学外宿泊研修（1泊2日） 5日（金）・ 8日（月）教科書販売 8日（月）～14日（日）履修登録確認期間 8日（月）　前期授業開始 20日（土）　4月29日の授業日
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
5月				1	2	3	4	2日（木）,3日（金）,4日（土）,6日（月）　全年次生授業実施日 11日（土）　4月30日の授業日 25日（土）　5月1日の授業日
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
6月							1	22日（土）　保護者懇談会
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
7月		1	2	3	4	5	6	15日（月）　授業実施日 20日（土）　前期授業終了 25日（木）～31日（水）　前期定期試験 ※7月中　早期体験実習オリエンテーション、事前学習セミナー
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
8月					1	2	3	1日（木）～9月15日（日）　夏期休業 1日（木）～8日（木）　早期体験実習（うち3日間） 6日（火）　成績開示 7日（水）～8日（木）　前期追再試験手続き 9日（金）,12日（月）,13日（火）　前期追再試験 10日（土）　早期体験実習終了後セミナー 23日（金）　成績開示
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9月	1	2	3	4	5	6	7	9日（月）～15日（日）　履修登録 16日（月）　授業実施日　後期授業開始 16日（月）～22日（日）　履修登録確認期間 23日（月）　授業実施日
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

	日	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定
10月			1	2	3	4	5	13日（日） 学園祭（三室祭） 14日（月） 授業実施日 22日（火） 授業実施日 27日（日） 学園祭（登美ヶ丘祭）
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			
11月						1	2	1日（金） 創立記念日　授業実施日 4日（月） 授業実施日
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	21日（土） 年内授業最終日 22日（日）～1月9日（木） 冬期休業
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
1月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	10日（金） 年明け授業開始 17日（金） 後期授業終了
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	21日（火）～27日（月） 後期定期試験
	26	27	28	29	30	31		
2月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	7日（金） 成績開示
	9	10	11	12	13	14	15	13日（木）,14日（金）,17日（月）,18日（火） 後期追再試験手続き
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
3月	1	2	3	4	5	6	7	2日（月）,3日（火） 後期追再試験
	8	9	10	11	12	13	14	10日（火） 成績開示
	15	16	17	18	19	20	21	15日（日） 卒業式・学位記授与式
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

Ⅰ　履修要項（2学科共通）

1. 教育課程

1)教育課程（カリキュラム）

大学において開設される授業科目は、学部・学科の専門に関する科目と、幅広く深い教養を培う科目に分類されます。これらの授業科目を必修科目・選択科目に分けたり、各年次に配当したり、一週間あたりの時間数を決めるなどして編成したものを教育課程（カリキュラム）といいます。

2)単位制

大学では、高等学校と違い「単位制」が大きな役割を持っています。

本学で開講している各授業科目には、それぞれに「単位数」が定められています。学生諸君は、単位数の定められた授業科目を履修し、その成績が合格点（60点以上）であれば、その所定単位は認定され、単位を修得したことになります。修得した単位数の履修区分ごとの合計が卒業に必要な単位数を満たし、かつ、在学期間が４年以上となった時点で卒業することができます。

3)単位の計算方法

単位数については、文部科学省の定める大学設置基準によって、45時間の学修を必要とする内容を１単位とするとされています。ただし、ここで言う学修とは、授業時間に加えて、予習・復習及び研究等のための自学自習の時間を含みます。自学自習の時間を保証するために、大学では高等学校までと違って授業の入っていない時間帯があるのです。

以下、学修の典型的なパターンのいくつかを示します。なお、１回分の授業を１コマと数え、１コマ90分を2時間として計算します。

＜1単位30時間の科目の場合＞

●学修時間：45時間×１単位＝45時間

授業時間：（前期15週×２時間）または（後期15週×２時間）＝　半年間30時間

自学自習の時間：半年間15時間

授業 30 時間	自学自習 15 時間

計 45 時間

└─ １週間に１コマ２時間（90分）を15週

＜1単位15時間の科目の場合＞

●学修時間：45時間×１単位＝45時間

授業時間：（半期前半7.5週×２時間）または（半期後半7.5週×２時間）＝　半年間15時間

自学自習の時間：半年間30時間

授業 15 時間	自学自習 30 時間

計 45 時間

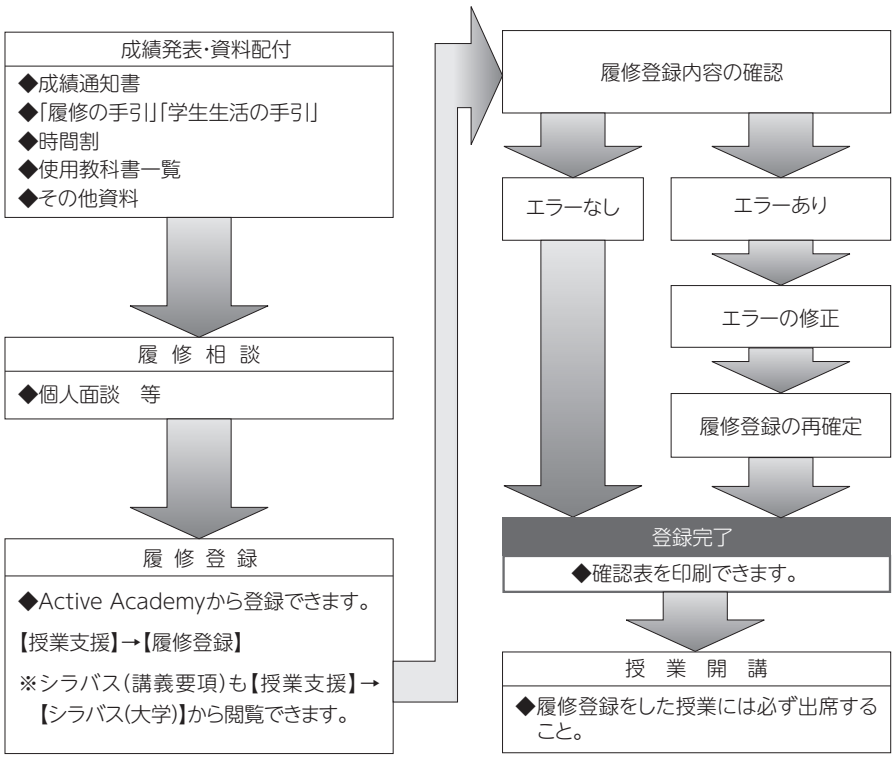
└─ １週間に１コマ２時間（90分）を7.5週

2. 履修登録

1)履修登録

大学では、授業を受講するにあたって、まず履修登録をしなければなりません。

履修登録をしていない科目を受講しても単位は認定されません。履修登録にあたっては、各自の学修計画に基づいて、十分に検討してください。



履修計画の注意点

1．「履修の手引」をよく読み、履修のルール（履修方法や履修規程）をよく知ること。
2．「シラバス（講義概要)」をよく読み、授業の内容や概要をつかむこと。
3．将来の目標に合わせて、必要とする授業科目を選択すること。
4．担任との面談には必ず出席すること。
5．各自の成績通知書を確認し、結果をふまえて履修計画を立てること。
6．必修科目は必ず登録すること。
　前年度の必修科目が修得できなかった場合は再履修すること。
7．選択科目についてもそれぞれの履修区分や単位修得条件について注意してください。
　必修科目ではないからといって履修放棄したり、単位を落としたりしてはいけません。
8．卒業必要単位をギリギリ履修するのではなく余裕ある単位修得計画が必要です。

2)履修制限

履修できる授業科目数は、その授業科目の合計単位数で制限されており、学年ごとに履修登録可能な授業単位数の上限が決められています。この履修制限は、予習・復習等の自習時間を十分にとれるようにし、自ら学修を深めてもらうためのものです。

履修制限の単位数は次表のように定められており、この単位数を超えて履修することはできません。

履修登録の際には、卒業までの履修計画と合わせて履修制限内で登録の科目を考えてください。

■保健医療学部　看護学科　履修制限単位（2018年度以降入学生）

学　年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学　期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	48		48		48		48	

■保健医療学部　看護学科　履修制限単位（2017年度以前入学生）

学　年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学　期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	45		45		45		45	

■保健医療学部　リハビリテーション学科　履修制限単位

学　年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学　期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	48		48		48		48	

3)履修登録の変更･取消

履修登録確定後に変更する場合は、「学年暦及び行事予定表」（pp8 ～ 13）に示された「履修登録確認期間」内に大学事務室（教務課）に申し出てください。

ただし、次の科目は変更できません。

ア．必修科目

イ．履修制限科目（定員があり、それを充足した科目）

①変更したい場合

「履修登録確認期間」内に、各自で Active Academy にアクセスし、変更してください。期間を過ぎての変更はできません。

②取消したい場合

前期・後期とも、第６週目の授業終了までに、所定の用紙に理由等を記入し、大学事務室（教務課）で申請してください。ただし、理由によっては認められない場合もあります。

3. 授　業

1)授業時間

１回の授業時間は90分です。通常、月曜日～金曜日は１～5時限で、土曜日は１～２時限で行います。

ただし、集中講義や補講などでこれ以外の時間帯に授業を行う場合があります。掲示板や学年暦及び行事予定表（pp8～13）で確認してください。

校時表

時　限	時　　間
1	9：00 ～ 10：30
2	10：40 ～ 12：10
昼　休　み	
3	13：00 ～ 14：30
4	14：40 ～ 16：10
5	16：20 ～ 17：50
6	18：00 ～ 19：30

2)休講

大学の事情（入学試験等）や担当教員のやむを得ない理由（病気、出張等）により、休講になることがあります。

休講通知は、原則として１週間前に掲示します。ただし、急な事情のときは、やむを得ず当日に掲示されることもありますので、登校時には必ず掲示板を確認するようにしてください。

また、休講の掲示もなく、授業開始時刻から30分過ぎても担当教員が来室しない場合は、大学事務室に連絡して指示を受けてください。

3)臨時休講

下記のア及びイの場合は、臨時休講となります。学生は各自で情報を的確に収集し、それぞれの判断で以下の定めに従って行動してください。その際、大学への問い合わせはしないでください。

ア．交通機関ストライキの場合

以下に示すいずれかの交通機関がストライキを行った場合、次の時限が休講となります。

①午前7時の時点で実施されている場合：午前の授業（１・２時限）を休講とする。

②午前10時の時点で実施されている場合：午後の授業（3・４・5・6時限）も休講とする。

鉄道会社	対 象 に な る 路 線
近　　鉄	全　　線

イ．気象警報が発表された場合

対象となる地域	対象となる気象警報の種類
奈良県北西部又は大阪府	特別警報・暴風警報

上記警報が発令された場合、次の時限が休講となります。ただし大雨洪水警報は対象外です。

① 午前7時の時点で警報が発表されている場合：午前の授業（１・２時限）を休講とする。

② 午前10時の時点で警報が発表されている場合：午後の授業（３・４・５・６時限）も休講とする。

交通機関のストライキ及び特別警報・暴風警報発表に伴う授業の休講措置について

スト実施及び特別警報・暴風警報発表時刻	授業の措置
午前７時以前に解除	休講しない
午前 10 時までに解除	午後（3・4・5・6 時限）から授業
午前 10 時を過ぎても解除されない	全日休講

※通学途中、通学が危険かつ困難となった場合は、各自の判断で危険等を回避したのち、大学事務室に届け出てください。

4)補講

休講等によって授業時間数が規定時間数に満たない場合は、補講を行います。補講の日程・教室・時間等は、掲示板で指示します。

5)公欠･長期欠席等

授業は勿論のこと、大学行事への参加は学生の本分です。そのため、次のようなやむを得ない理由で授業を欠席する場合は、大学事務室へ申し出て「公欠届」、「公欠願」及び「欠席届」の手続きを行ってください。ただし、公欠願が認められるのは、１つの授業科目につき、原則３回までです。

なお、公欠を許可された学生は、公欠届または公欠願を、登学次第、速やかに提出し、許可を得、当該授業科目担当教員に提出してください。

欠席理由	届の種類	必要書類等	手続先
忌引 〔父母（養父母を含む）・祖父母・実兄弟または実姉妹〕	公欠届 （忌引）	公的証明書（写し可）と印鑑 〔父母（養父母を含む）３日以内・祖父母１日以内・実兄弟または実姉妹２日以内〕	教務課
感染症 （学校保健安全法施行規則第 18 条に規定）	公欠届 （感染症）	学校感染症治癒証明書 ［書式は本学ホームページからダウンロード］	学生支援センター
交通機関の事故・ストライキ等	公欠届 （交通）	遅延証明書等と印鑑	教務課
災害等	公欠届 （災害等）	官公庁による被災証明書と印鑑	教務課
実習・実習に係る事前訪問	公欠届 （実習関係）	印鑑	教務課
単位互換協定大学等の試験	公欠届 （単位互換）	印鑑	教務課
国または都道府県を代表して、諸行事に参加	公欠届 （特別）	印鑑	教務課
警報発表に基づく欠席	公欠届	通学証明書・遅延証明書等と印鑑	教務課
本学課外活動において学長が認めた公式試合及び行事等に参加（注 1）	公欠願	事前に学生支援センターに届け出ておくこと（同好会は対象外）	学生支援センター
本学が認めるボランティア活動に参加（注 1）	公欠願	印鑑	学生支援センター
就職試験等を受験	公欠願	企業が発行した就職試験の受験を証明するもの	キャリアセンター
病気・怪我等による１週間以上の長期欠席	欠席届	医師の診断書と印鑑	教務課

（注1）実習期間中の公欠願は認めません。

6)学校で予防すべき感染症

学校において予防すべき感染症（第２種）の種類と出席停止期間の基準が決まっています。（学校保健安全法施行規則第18条・第19条）

これらの感染症にかかった場合は、以下の手続をしてください。

感染症名	出席停止期間の基準
インフルエンザ	発症後５日を経過し、かつ、解熱後２日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は５日間の適切な抗菌療法が終了するまで
麻疹（はしか）	解熱後３日を経過するまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後２日を経過するまで
結核	感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがないと認められるまで
その他	◎学校において予防すべき感染症第一種：治癒するまで ◎学校において予防すべき感染症第三種：医師において感染のおそれがないと認められるまで

※出席停止の期間は、学校医、その他の医師において、感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

4．試　験

1)定期試験

定期試験、論文（レポート）試験、実技試験、追試験及び再試験があります。なお、この他に担当者の判断で小テスト等の臨時試験を実施する場合もあります。

定期試験とは期間を定めて行う試験のことであり、試験期間は原則として以下の通りです。

ア．前期試験　７月下旬

イ．後期試験　１月下旬から（1･2年次）、12月中旬（４年次）

試験期間は毎年度、学年暦によって決定されます。

定期試験の時間割表は、試験の１週間前までに２号館１階、1号館1階掲示板に掲示します。

試験教室は通常授業の教室とは異なる場合があります。試験教室についても、試験の１週間前までに掲示板に掲示します。

2)論文(レポート)試験･提出

授業科目によっては、論文（レポート）試験や実技試験等によって成績評価を行う場合があります。これらは定期試験の代わりとなるものですから、提出期限や条件等は厳格に守ってください。なお、論文（レポート）試験や実技試験は、担当教員が直接授業中に指示する場合と、掲示板を通して指示する場合があります。

また、試験とは別に、担当教員からレポート課題が課せられることがあります。この場合、担当教員が授業中に直接指示します。

提出期限	指定された提出期日・時刻は厳守することが必要です。 **締切後の提出は一切、受理できません。**
提 出 先	指定された所へ提出してください。 （指定された提出先以外では受理できません） ①担当教員 ②授業時間中もしくは授業担当者の研究室 ③大学事務室窓口（レポート提出 BOX）
受付時間	◎平日　8：30 ～ 16：30 ◎土曜　8：30 ～ 13：00 この時間内でも特に担当教員の締切時刻がある場合は、その締切時刻以降は一切、受理できません。

3)追試験

追試験とは、やむを得ない正当な理由によって定期試験当日に受験できなかった学生又は論文（レポート）試験でレポートを提出することができなかった学生に対して定期試験期間後に実施する試験のことをいいます。

追試験を希望する場合は、理由を証明する書類を添えて期間内に大学事務室教務課に申し込んでください。

追試験の日程・試験教室については、２号館１階、１号館１階掲示板に掲示します。

欠 席 理 由	証　明　書	備　　考
疾病等 （病気・怪我等）	医師の診断書	家族の病気の付き添い等は認めません。
忌引	公的証明書（写し可）と印鑑	父母（養父母を含む）３日以内・祖父母１日以内・実兄弟姉妹２日以内。 法事による欠席は認めません。
就職試験等を受験	企業等が発行した就職試験受験を証明するもの	会社訪問、セミナー、研修等は認めません。

交通障害	遅延証明書・事故証明書	20 分以内の遅延は認めません。 バイク、マイカー使用に起因する交通事故及び交通渋滞による遅刻は認めません。
災害（地震・台風・火災・水害等）	官公庁による被災証明書	本人又は家族の居住地が被災した場合に限ります。
その他（本人の不注意によらない理由であること）	公的な証明書	事前に判明している場合は、大学事務室に問い合わせてください。 資格試験等は認められません。

追試験を受験するためには、上表のように、当該試験を受験できなかったことが公的な証明書により明確に証明されなければなりません。例えば、診断書に証明されている日時が試験日時と一致しない場合は、受付できませんので注意してください。

公的な証明書が添付されていなければ、理由の如何を問わず、追試験を受験することはできません。例えば、風邪などにより、自宅で療養していた場合は、医師の診断書がないため受付できません。必ず医師の診断を受けておくことが必要です。

忌引、就職試験、災害などによる欠席において遠隔地にいた場合は、往復のための所要日数も考慮しますので大学事務室に申し出てください。

4)再試験

再試験とは、試験等で不可となった学生に対して、次の実施要領に従って実施する試験のことをいいます。

（1）目的

再試験とは、履修登録を行った科目の単位を修得することができなかった学生を対象とする試験である。

（2）受験範囲

試験等の結果、前期・後期で「不可」となった科目について、各学期末に受験することができる。

（3）再試験を許可される科目

担当教員が受験を認めた科目。

（4）受験手続き

① 受験希望者は期日内に「再試験願」を大学事務室に提出しなければならない。
② 再試験料は 1 科目 1,000 円とする。
③ 再試験時間割は掲示により発表される。

5)試験受験の心得

受験に際しては、次の注意事項を厳守してください。

（1）学生証を机上に置き、公正な態度で受験する。
（2）学生証・筆記用具・時計等の許可された物品以外は、すべてかばんの中に入れる。
（3）携帯電話は電源を切り、かばんの中にいれる。
（4）試験開始後 20 分が経過した場合には入室することはできない。また、試験開始後、30 分が経過するまでは退室することはできない。
（5）出席不良等で受験停止を命じられている者は、受験することができない。
（6）履修登録をしていない科目は、受験することができない。
（7）質問がある時は、手を挙げて試験監督者に知らせる。
（8）許可された物以外のものが机上または机の中にある時は、不正行為とみなす場合がある。また、物品の貸借は認めない。
（9）解答用紙を試験場外に持ち出した場合は、当該試験を無効とする。
（10）試験中に不正行為を行った者は、厳しい処分を科す。

試験当日、学生証を忘れた場合

大学事務室内の自動証明書発行機で『仮学生証』（100 円）を購入し、試験科目名、試験教室を記入して、机上に置くこと。
※『仮学生証』は発行当日のみ有効
※ 年間 10 枚のみ発行

6)不正行為（カンニング）

試験中の次の行為は、不正行為とみなします。

（1）カンニングペーパーまたはこれに類似するものを試験中に所持または使用すること。
（2）他人に受験させ、または他人の代わりに受験すること。
（3）他人の答案をのぞき見することまたは故意に見せること。
（4）答案用紙を交換すること。
（5）持込みを許可されていない物品を参照すること。
（6）他の受験者と私語をすること。
（7）物品の貸借をすること。
（8）試験監督者の指示に従わないこと。
（9）その他不正行為を疑われるような行為をすること。

試験中に不正行為をした者については、当該学期に履修登録した**全授業科目の単位を無効**とします。ただし、演習科目・実技科目の単位についてはこの限りではありません。

5．成　績

1)成績評価

成績は 100 点を満点とし、60 点以上を合格とします。履修した科目の成績評価は筆記試験・論文・レポート・実技テストその他、授業担当者の定める評価基準により行われます。

成績通知は科目ごとに、次の評価によって発表します。

	点　数	評　価	成績通知書	成績証明書	単　　位
5段階評価	90 点～ 100 点	秀	秀	秀	単位認定（修得）
	80 点～ 89 点	優	優	優	
	70 点～ 79 点	良	良	良	
	60 点～ 69 点	可	可	可	
	0 点～ 59 点	不可	不可	表示しない	単位不認定（未修得）
	評価不能	不可	不可	表示しない	

2)成績発表

成績発表は、原則として、学期末（前期末又は後期末）に成績通知書を学生個人に配付することによって行います。成績発表の日程については、学年暦で確認してください。

また、**成績に関する問い合わせは、成績発表後２週間以内**に大学事務室に申し出て、「成績評価問い合わせ票」に必要事項を記入・捺印のうえ提出してください。電話での問い合わせは受け付けません。

3)成績通知書と修得単位

学期末の成績通知書には、その学期に受講した科目の成績評価（秀・優・良・可・不可）と、入学年度からの単位修得（合格）した科目の成績評価を示しています。

また、成績通知書には、履修区分別の単位修得表も掲載されています。指定された科目群の中から一定の単位を修得する必要がありますので、各自の成績表と比較して、卒業に必要な科目が何かを知るうえでの参考にしてください。

※注　意

①前期の成績通知書
　○前期開講科目…確定した成績評価
　○集中開講科目…確定した成績評価（８月中に授業が終了した科目のみ）
②後期の成績通知書
　○前期開講科目…前期に確定した成績評価
　○通年科目……前期と後期の成績をもとに最終的に確定した成績評価
　○後期開講科目…確定した成績評価
　○集中開講科目…確定した成績評価
※ 成績評価は、秀・優・良・可・不可で示す。

6. 卒業の要件

1)卒業の要件

本学保健医療学部では、卒業するために次の条件を満たす必要があります。

ア．４年間以上の在学（休学期間を除く）

イ．本学保健医療学部が定める卒業に必要な科目、並びに卒業に必要な単位数以上の修得

2)卒業に必要な単位数

看護学科 2018 年度以降入学生は 27 ページ、2017 年度以前入学生は 51 ページ、リハビリテーション学科学生は 75 ページの履修規程第４条を参照してください。

7. GPA制度

1)GPA制度導入の趣旨

本学では成績評価に加えて、GPA（Grade Point Average）を導入しています。

GPA とは成績評価方法の１つで、履修科目の成績の平均を数値化したものです。また、ただ単位を修得すればいいということではなく、その質（成績の評価）も重要となるため、学生の皆さんが自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるよう制度を設けています。

2)GPAの算出方法

履修登録科目のうち GPA 対象科目について、各科目の成績評価（秀・優・良・可・不可）に応じて５段階（４、3、２、１、0）に分けて数値化した評価点（Grade Point）に単位数を掛けたものを総合計し、履修登録科目の総単位数で割ることにより算出します。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{対象科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価点})]\text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$$

※ 小数第３位を四捨五入

3)GPAの算定基準

		評　価	得　点	評価点 (Grade Point)
判　定	合　格	秀	100 ～ 90 点	4
		優	89 ～ 80 点	3
		良	79 ～ 70 点	2
		可	69 ～ 60 点	1
	不合格	不可	0 ～ 59 点	0
無判定	その他	認定	他大学又は短期大学等で修得し、本学部で認定された単位	－

4)GPAの算出例

授業科目名	単位数	成　績	評価点(GP)	単位数 × 評価点(GP)
日本国憲法	2	秀	4	8
看護学概論	2	優	3	6
保健医療学概論	1	良	2	2
奈良学	2	不可	0	0
看護理論	1	優	3	3
免疫学	1	良	2	2
計	9			21
	[単位数 × 評価点(GP)の合計] ÷ [単位数の合計] = GPA 21 ÷ 9 = 2.33 ※ 小数第3位を四捨五入			

5)GPA値の確認方法

GPA 値は成績・履修状況一覧表で確認できます。GPA 値には、学期 GPA と累積 GPA があり、学期 GPA は当該学期の GPA 値を、累積 GPA は通算した GPA 値を示します。

8.オフィス・アワー

オフィス・アワーとは、教員が指定した曜日・時間帯に学生が自由に研究室を訪れ、授業内容・学修上の問題等について質問や相談ができる制度です。

各教員が指定した曜日・時間帯は、新学期当初に掲示します。授業担当の教員を始め、多くの教員に、授業や学生生活に関することなどを相談してください。

なお、相談に際してはマナーを心がけ、有効に活用してください。

看 護 学 科

Ⅱ　看護学科（2018年度以降入学生）

1. 履修規程

（総　　則）

第１条　本学学則第 13 条第３項の規定に基づき、保健医療学部看護学科（以下「本学科」）の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

（卒業資格）

第２条　本学科を卒業するためには、４年以上在学し、132 単位以上を修得しなければならない。

２　看護師･保健師課程選択を選択した場合は、143 単位以上を修得しなければならない。

３　看護師･助産師課程選択を選択した場合は、155 単位以上を修得しなければならない。

（授業科目の区分）

第３条　授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。

２　共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養科目、キャリア形成科目、及び導入基礎科目に区分する。

３　専門基礎科目は、これを人間の理解、環境の理解、健康の理解に区分する。

４　専門教育科目は、これを看護の考え方と方法、看護学の総合と発展、公衆衛生看護学、及び助産学に区分する。

（授業科目の履修）

第４条　本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

（１）共通教育科目	２５単位以上
（２）専門基礎科目	３０単位以上
（３）専門科目	７３単位以上
（４）専門基礎科目および専門科目の選択科目	４単位以上

（単　　位）

第５条　各授業科目の単位数は、45 時間の学修を必要とする内容をもって１単位とする。

（配当年次）

第６条　各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

（授業科目の履修制限）

第７条　授業科目については、原則として、年間 48 単位を超えて履修することができない。

（履修登録）

第８条　履修登録は、各学期初めに年２回行わなければならない。

（履修登録の制限）

第９条　授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。

２　同時限に開講される授業科目は、１科目しか登録することができない。

（再登録）

第 10 条　単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。

2　単位を修得することができなかった授業科目は、第７条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

（履修登録の変更）

第 11 条　履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。

2　学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

（授業科目の開講）

第 12 条　授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

（授業の組分け）

第 13 条　履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

（単位の認定）

第 14 条　担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等（以下「試験等」という）、または平素の履修状況（学習態度等）により学修の成果を評価して単位を与える。

2　各授業への出席が授業時間の３分の２（実習においては５分の４）に満たない場合は再履修とする。

（単位認定を受ける資格）

第 15 条　次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。

（１）　授業料その他諸納入金が未納であるとき

（２）　履修登録をしていないとき

（試験等の成績評価）

第 16 条　試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。

（１）　100 点から 90 点まで　　秀

（２）　89 点から 80 点まで　　優

（３）　79 点から 70 点まで　　良

（４）　69 点から 60 点まで　　可

（５）　59 点以下　　不可（不合格）

（受験上の注意）

第 17 条　学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

（再試験等）

第 18 条　試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。

2　再試験等の実施については、別に定める。

3　再試験等で合格した者の成績評価は、60 点（可）とする。

（追試験等）

第 19 条　病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。

2　追試験等の実施については、別に定める。

3　追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附　則

この規定は、平成 31 年４月１日から施行する。

2. 履修に関する留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の３分の２（実習科目においては５分の４）に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30 分未満の場合は３分の１回の欠席扱いとし、30 分以上の場合は１回の欠席扱いとします。

3)履修指導の体制

各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、再履修しなければなりません。ただし、授業科目（原則的に選択科目は除く）については、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります（ただし、成績の評価は 60 点を上限とし、受験回数は１回のみとします。）この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の３分の２以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)看護学実習科目の履修に関する留意点

看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

①基礎看護学実習Ⅱを履修するためには、次の科目の単位を修得していること。「看護学概論」「看護コミュニケーション論」「看護倫理学」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「看護理論」「看護過程演習」「ヘルスアセスメント」「基礎看護学実習Ⅰ」

②３年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、<u>３年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。</u>

③統合看護学実習を履修するためには、<u>３年次後期までのすべての領域別実習の単位を修得していること。</u>

6)課程選択に伴う履修上の留意点

(1) 看護師・保健師課程選択

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、「保健統計（2単位)」と公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目（7科目、13単位）を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

「公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動)」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健)」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、3年次後期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得していること。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話Ⅰ（1単位)」「英会話Ⅱ（1単位)」「健康スポーツ（理論）（1単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作（2単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「健康スポーツ（実技）（1単位)」「日本国憲法（2単位)」の合計8単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師・助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目14科目27単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

「助産学実習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには、3年次後期までのすべての助産師課程の科目とすべての領域実習の単位を修得していること。

7)課程選択の決定

3年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程（20名以内)」、「看護師・助産師課程（女子のみ10名以内)」のいずれかを選択します。「看護師・保健師課程」選択者は保健師国家試験受験資格を、「看護師・助産師課程」選択者は助産師国家試験受験資格を看護師国家試験受験資格と同時に取得することが可能です。

「看護師・保健師課程」ならびに「看護師・助産師課程」の選択は、2年次の終わりに希望調査を行い、3年次の始業までに希望者に対して筆記試験と面接を行い、それらの結果と2年次までの成績を考慮して決定します。

3. 教育目的と教育課程編成の考え方

1)教育目的

2)教育課程編成の考え方

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的としています。

上記の教育目的とディプロマポリシーを実現するため、以下のようなカリキュラムポリシーに基づき、看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格（保健師、助産師は選択制）を取得できるよう保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を満たした教育課程を編成しています。

カリキュラムポリシー

1．豊かな人間性や国際的感覚、汎用的能力を育むための科目を、1年次から4年次までを通して配する。
2．看護専門職者として、対象となる個や集団を理解し、倫理的態度を基本に全人的看護ケアを実践する力を育むための科目を段階的に配する。
3．専門性を発揮しながら、多職種と協働できる力を育むための科目を配する。
4．看護専門職者として自己研鑽できる力を育むための科目を配する。

4. ディプロマポリシーとカリキュラムマップ

1)カリキュラムマップ

2)ディプロマポリシーを構成する要素

ディプロマポリシーと授業科目がどのように関係しているかを示したものをカリキュラムマップと言います。看護学科のカリキュラムマップを 37 ページから 38 ページに示します。

カリキュラムマップでは、ディプロマポリシーを構成しているいくつかの要素に分けて示しています。それぞれの授業科目がどの要素を育成するかを◎または○で示しています。◎は特に重点的に育成することを、○は重点的に育成することを表しています。

看護学科ディプロマポリシー（DP）	構成要素
1．国際的な視点をもち、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を有することができる。	1）国際的な視点 2）幅広い教養 3）豊かな人間性 4）変化に対応できる汎用的能力
2．看護職として個別的で多様な保健医療ニーズに倫理的配慮をもって応えることができる。	1）看護者としての倫理的態度 2）保健医療ニーズを捉える力
3．人間愛に基づき「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、協調性などを備え、主体的に全人的ケアができる。	1）個に対する看護を実践するための専門的知識 2）個に対する看護を実践するための技術 3）創造性と協調性をもって主体的に看護を実践する力
4．学際性を培い、専門性を発揮しながら他職種と連携・協働し、チーム医療を推進することにより社会に貢献できる。	1）他職種と協働するための調整力 2）他職種連携やチーム医療を推進する基礎力

看護学科　カリキュラムマップ

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	DP1 1)国際的な視点	DP1 2)幅広い教養	DP1 3)豊かな人間性	DP1 4)汎用的能力	DP2 1)倫理的態度	DP2 2)保健医療ニーズ	DP3 1)専門的知識	DP3 2)技術	DP3 3)創造性・協調性・主体的実践力	DP4 1)調整力	DP4 2)他職種連携も推進力
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1前	1		◎			○							
		英語Ⅱ	1後	1		◎			○							
		英会話Ⅰ	1前	1		◎			○							
		英会話Ⅱ	1後	1		◎			○							
		中国語基礎Ⅰ	1･2･3･4前		1	◎			○							
		中国語基礎Ⅱ	1･2･3･4後		1	◎			○							
		中国語会話	1･2･3･4前		1	◎			○							
		スペイン語基礎Ⅰ	1･2･3･4前		1	◎			○							
		スペイン語基礎Ⅱ	1･2･3･4後		1	◎			○							
		スペイン語会話	1･2･3･4前		1	◎			○							
		文学	1･2･3･4後		2		◎									
		哲学	1･2･3･4前		2		◎									
		倫理学	1･2･3･4前		2			◎	○	○						
		心理学	1･2･3･4前		2		○	◎								
		行動の科学	1･2･3･4後		2		○	◎								
		文化人類学	1･2･3･4後		2	○	◎									
		音楽の世界	1･2･3･4後		2		◎									
		社会学	1･2･3･4後		2		◎									
		日本国憲法	1･2･3･4前		2		◎									
		歴史学	1･2･3･4後		2	○	◎									
		地理学	1･2･3･4後		2	○	◎									
		数学の世界	1･2･3･4前		2		○		◎							
		自然科学の基礎	1･2･3･4後		2		◎		○							
		環境化学の基礎	1･2･3･4後		2		◎									
		健康スポーツ（理論）	1前	1			◎									
		健康スポーツ（実技）	1･2･3･4後		1		○	◎								
		スポーツ実技Ⅰ	1･2･3･4前		1		○	◎								
		スポーツ実技Ⅱ	1･2･3･4後		1		○	◎								
	共生教養	共生と社会	1･2･3･4後		2		○	◎								
		人権論	1･2･3･4前		2		○	◎								
		ボランティア活動	1･2･3･4前		2			◎	○							
		生活と環境	1･2･3･4前		2		◎									
	国際・地域	奈良学	1･2･3･4前		2		◎									
		異文化コミュニケーション	1･2･3･4後		2	◎	○									
		国際事情	1･2･3･4後		2	◎	○									
	情報教養	情報機器の操作	1前	2			○		◎							
		情報倫理とセキュリティ	1･2･3･4前		2			◎	○	○						
		データの世界	1･2･3･4前		2		○		◎							
		CGの基礎と演習	1･2･3･4後		2		◎									
		情報と分析	1･2･3･4後		2		○		◎							
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	◎							
		キャリアデザインⅡ	1後		1			○	◎							
		キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	◎							
		キャリアディベロプメントⅡ	2後		1			○	◎							
	学びの技法	基礎演習Ⅰ(ラーニングスキルズ)	1前	1					◎							
		基礎演習Ⅱ(文章表現)	1後	1					◎							
		小計（46科目）		9	63											
専門基礎科目	人間の理解	人体構造機能学Ⅰ	1前	2								◎				
		人体構造機能学Ⅱ	1前	2								◎				
		発達心理学	1前	2								◎				
		生化学	1前	1								◎				
		栄養学	1前	1								◎				
		微生物学	1前	1								◎				
		免疫学	1前	1								◎				
	環境の理解	疫学	2後	2								◎				
		公衆衛生学	1後	1								◎				
		社会福祉学	1前	1								◎				
		医療福祉関係法規	1前	1								◎				
		保健医療福祉行政論	2後	2								◎				
		保健統計	2後		2						○	◎				
	健康の理解	保健医療学概論	1前	1								◎				
		病理学	1前	1								◎				
		疾病治療論Ⅰ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅱ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅲ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅳ	1後	1								◎				
		疾病治療論Ⅴ	2前	1								◎				
		疾病治療論Ⅵ	2前	1								◎				
		小児疾病治療論	2前	1								◎				
		栄養治療論	2後	1								◎				
		薬理学	1後	2								◎				
		リハビリテーション論	2後	1								◎	○			
		小計（25科目）	-	30	2											
専門科目	看護の考え方と方法	看護学概論	1前	2						○	○	◎				
		看護倫理学	1前	1						◎						
		看護コミュニケーション論	1前	1						○		○	◎			
		基礎看護技術演習Ⅰ	1前	2								○	◎	○		
		基礎看護技術演習Ⅱ	2前	2								○	◎	○		
		看護理論	1後	1								◎				
		看護過程演習	2前	1							◎	○				
		ヘルスアセスメント	2前	1								○	◎	○		
		保健医療倫理学	1後	1						◎		○				
		基礎看護学実習Ⅰ	1前	1						○			○	◎		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2							○		○	◎		
		成人看護学概論	1後	2						○	○	◎				
		成人看護学援助論	2通	2							○	◎		○		
		成人看護援助論演習	3前	2							○	○	◎			
		老年看護学概論	2前	1							○	◎				○
		老年看護援助論	2後	1							○	◎	○			
		老年看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		小児看護学概論	2前	2						○		◎				
		小児看護援助論	2後	1							○	◎				
		小児看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		母性看護学概論	2前	2						○	○	◎				
		母性看護援助論	2後	1							○	◎	○			
		母性看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		精神看護学概論	2前	1						○	○	◎				
		精神看護援助論	2後	1							○	◎	○			
		精神看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		成人看護学実習Ⅰ(急性期･周手術期)	3後	3							○		○	◎		
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	3後	3							○		○	◎		
		老年看護学実習Ⅰ	3後	2							○			◎		○
		老年看護学実習Ⅱ	3後	2							○		○	◎		
		小児看護学実習	3後	2							○		○	◎		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	DP1 1)国際的な視点	DP1 2)幅広い教養	DP1 3)豊かな人間性	DP1 4)汎用的能力	DP2 1)倫理的態度	DP2 2)保健医療ニーズ	DP3 1)専門的知識	DP3 2)技術	DP3 3)創造性・協調性・主体的実践力	DP4 1)調整力	DP4 2)他職種連携も推進力
専門科目		母性看護学実習	3後	2							○			◎		○
		精神看護学実習	3後	2							○			◎		○
		ターミナルケア論	4前		1					○		◎				○
		感染看護	4前		1							◎	○			
		家族看護学	4前		1						○	◎				
		ペインコントロール論	4前		1						○	◎	○			
	看護の統合と実践	在宅看護学概論	2前	1								◎			○	○
		在宅看護援助論	2後	2							○	◎	○			
		在宅看護援助論演習	3前	1								○	◎	○		
		在宅看護学実習	3後	2									○	◎	○	
		看護管理学	4前	2								◎			○	○
		チーム医療論	4前	1								◎			○	○
		チーム医療論演習	4後		1							○			◎	○
		統合看護論	4後	2							○	◎				○
		統合看護学実習	4前	2										○	○	◎
		国際看護論	4前	1		◎					○	○				
		国際看護論演習	4後		1	◎						○			○	
		地域包括ケア論	4後		1						○	◎				○
		災害看護学	4後		1							◎	○		○	
		看護教育学	4後		1							◎				
		カウンセリング論	4後		1					○		◎	○			
		卒業研究Ⅰ	4前	1								◎				
		卒業研究Ⅱ	4前後	1					◎	○						
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2							◎					○
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3前		2						○	◎				
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	3前		2						○	◎				
		公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2後	2							○	◎			○	
		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	3前		2						○	◎			○	
		公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	3前	2							○	◎			○	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)	4通		3									◎	○	○
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4通		1								○	◎	○	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4通		1							○	○	◎	○	
		公衆衛生看護学診断演習	4前		2						◎	○	○			
	助産学	助産学概論	3前		2					○		◎				○
		ウィメンズヘルス学	3前		2						○	◎	○			
		周産期医学	3前		1							◎				
		助産診断・技術学Ⅰ	3前		2						○	◎	○			
		助産診断・技術学Ⅱ	3後		2						○	◎	○			
		助産診断・技術学Ⅲ	3後		2						○	◎	○			
		助産診断・技術学演習Ⅰ	3後		1							○	◎	○		
		助産診断・技術学演習Ⅱ	4前		1							○	◎	○		
		助産学実習Ⅰ	4通		2								○	◎	○	
		助産学実習Ⅱ	4通		4								○	◎	○	
		助産学実習Ⅲ	4通		4								○	◎	○	
		助産学実習Ⅳ	4通		1								○	◎	○	
		地域母子保健	4前		1						○	◎				○
		助産管理論	4前		2							◎			○	○
		小計（78科目）	-	73	50											
		合計		112	115											

（注）DP1 ～ DP4 は P31 を参照

保健医療学部看護学科カリキュラム

保健師課程

公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）＊
公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）＊
公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）＊
公衆衛生看護学方法論Ⅱ＊
公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）＊
公衆衛生看護学方法論Ⅰ＊
公衆衛生看護学診断演習＊

助産師課程

助産診断・技術学Ⅰ＊
助産学実習Ⅰ＊
周産期医学＊
助産診断・技術学演習Ⅰ＊
地域母子保健＊
助産学実習Ⅱ＊
ウィメンズヘルス学＊
助産診断・技術学Ⅲ＊
助産管理論＊
助産学実習Ⅲ＊
助産学概論＊
助産診断・技術学Ⅱ＊
助産診断・技術学演習Ⅱ＊
助産学実習Ⅳ＊

看護の統合と実践

卒業研究Ⅱ
卒業研究Ⅰ
統合看護実習
統合看護論
国際看護論
国際看護論演習＊
チーム医療論
チーム医療論演習＊
看護管理学
災害看護学＊
カウンセリング論＊
看護教育学＊
地域包括ケア論＊
在宅看護学概論
在宅看護援助論
在宅看護援助論演習
在宅看護学実習

看護の考え方と方法（発達段階・健康状態に応じた看護）

公衆衛生看護学概論
公衆衛生看護学Ⅰ（地域活動）
公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）
精神看護学概論
精神看護援助論
精神看護援助論演習
精神看護学実習
母性看護学概論
母性看護援助論
母性看護援助論演習
母性看護学実習
小児看護学概論
小児看護援助論
小児看護援助論演習
小児看護学実習
老年看護学実習Ⅱ
老年看護学概論
老年看護援助論
老年看護援助論演習
老年看護学実習Ⅰ
成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）
成人看護学概論
成人看護援助論Ⅰ（急性期・周手術期）
成人看護援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）
成人看護援助論演習
成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）

看護学の拡がりと深まり

家族看護学＊
感染看護＊
ペインコントロール論＊
ターミナルケア論＊

看護の考え方と方法（看護の基礎）

基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護技術演習Ⅱ
基礎看護技術演習Ⅰ
看護コミュニケーション論
ヘルスアセスメント
保健医療倫理学
基礎看護学実習Ⅱ
看護倫理学
看護過程演習
看護学概論
看護理論

健康の理解

薬理学
疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）
疾病治療論Ⅲ（免疫・神経系）
小児疾病治療論
疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌・腎尿路系）
疾病治療論Ⅵ（老年医学）
リハビリテーション論
栄養治療論
病理学
保健医療学概論
疾病治療論Ⅰ（循環器・血液造血器・呼吸器系）
疾病治療論Ⅴ（生殖器系・精神疾患）

環境の理解

保健統計＊
医療福祉関係法規
保健医療福祉行政論
社会福祉学
公衆衛生学
疫学

人間の理解

免疫学
微生物学
栄養学
生化学
発達心理学
人体構造機能学Ⅱ
人体構造機能学Ⅰ

＊は選択科目

共通教育科目

1年次　2年次　3年次　4年次

5. 看護学実習の概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の概要と開講時期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり１年次から４年次まで段階的に実習を開講します。

１年次：基礎看護学実習Ⅰを履修し、臨床現場を経験することで、将来の自分の姿を想像し、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

２年次：基礎看護学実習Ⅱを履修し、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

３年次：各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等、対象の特性に応じた適切な看護を行う能力を養います。

４年次：統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。保健師または助産師課程選択の学生（２年次終了後に選抜）は公衆衛生看護学実習または助産学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時間

必修／選択	実習科目	開講時期	単位
必　修	基礎看護学実習Ⅰ	１年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	２年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	３年次後期	6
	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
	小児看護学実習		2
	母性看護学実習		2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	４年次前期	2
選　択	公衆衛生看護学実習Ⅰ～Ⅲ	４年次	5
	助産学実習Ⅰ～Ⅳ		11

2)看護学実習要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、１年次から継続して実習教育を行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オリエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習の評価	看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とします。 ※ 出席が 4/5 に満たない場合は再履修となります。
4)実習中の事故防止と対処	①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。 ②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。 ※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険（総合補償保険 will 保険）に加入します。
5)感染防止	①自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。 ②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。 ③定期健康診断時（4月）に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体（B型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。3年生は麻疹･風疹の抗体価、HBs 抗体（B型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。 ⅰ 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の学生は母子健康手帳などの予防接種歴（ワクチン接種歴）を確認し、下記の対応をしてください。 ・ワクチンを２回接種している→２回分の接種証明書を提出。 ・ワクチンを１回接種している→ワクチン接種を１回受けて、２回分の接種証明書を提出。 ・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→１ヵ月以上の間隔をあけて、２回予防接種を受ける。接種後、２回分の接種証明書を提出。 提出先：学生支援センター 提出書類：接種証明書（医療明細書または母子健康手帳の写し） 提出期限：基礎看護実習Ⅰが始まる１ヵ月前 なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センターに申し出てください。 ⅱ 結核感染の有無について（T- スポット） 検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。 ⅲ HBs 抗体（B型肝炎）について HBs 抗体陰性（－）の学生はワクチン接種を受けてください。 ※HBs 抗体のワクチンは、３回の接種が必要で、終了までに約７か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。 ⅳ インフルエンザについて 感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

6. 看護師・保健師課程選択者選考要領

（趣旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部看護学科履修規定第２条第２項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目（以下「保健師課程選択科目」という）を選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（保健師課程選択科目の定義）

第２条　保健師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（履修定員）

第３条　保健師課程の履修定員は、原則２０名までとする。

（履修者の決定及び選考）

第４条　前条の保健師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会（以下、「学部企画委員会」という）において行う。

２　履修者の選択は、３年次前期開講までに行う。

３　別表２に定める科目の筆記試験、面接、及び２年次までの成績によって選考する。

４　選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会（以下、「選考委員会」という）が行う。志願者が第３条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

（履修志願手続き）

第５条　保健師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で、２年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。

３　申請に必要な書類は、所定の志願書及び「保健師課程選択志願理由書」とする。

（選考結果の通知）

第６条　保健医療学部長は、第４条による結果を、志願者に対して通知する。

（雑　則）

第７条　この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

（改　廃）

第８条　この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

この要領は、平成２７年９月２日から施行する。

この要領は、平成３０年７月４日から施行する。

別表１　保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
専門科目	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）	2	30
	公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合　　計		15	405

別表２　筆記試験科目

「保健医療学概論」、「公衆衛生学」、「公衆衛生看護学概論」、「社会福祉学」上記科目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識

7. 看護師・助産師課程選択者選考要領

（趣　　旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部看護学科履修規定第２条第３項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目（以下「助産師課程選択科目」という。）を選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（助産師課程選択科目の定義）

第２条　助産師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（助産師課程選択科目の授業時間）

第３条　助産師課程選択科目の授業は、履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

（履修定員）

第４条　助産師課程選択の履修定員は、女子に限り、原則１０名までとする。

（履修者の決定及び選考）

第５条　前条の助産師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会（以下、「学部企画委員会」という）において行う。

２　履修者の選考は、３年次前期開講までに行う。

３　別表２に定める科目の筆記試験、面接、及び２年次までの成績によって選考する。

４　選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会（以下、「選考委員会」という）が、学部企画委員会で決定された選考要領に基づいて行う。志願者が第４条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

（履修志願手続き）

第６条　助産師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で、２年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。

３　申請に必要な書類は、所定の志願書及び「助産師課程選択志願理由書」とする。

（選考結果の通知）

第７条　保健医療学部長は、第５条による結果を、志願者に対して通知する。

（雑　則）

第８条　この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

（改　廃）

第９条　この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

この要領は平成 27 年９月２日から施行する。

この要領は平成 30 年７月４日から施行する。

別表１　助産師課程選択科目

科目名	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウィメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学Ⅰ	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習Ⅰ	1	30
助産診断・技術学演習Ⅱ	1	30
助産学実習Ⅰ	2	90
助産学実習Ⅱ	4	180
助産学実習Ⅲ	4	180
助産学実習Ⅳ	1	45
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
合　　計	27	765

別表２　筆記試験科目

１．専門基礎科目試験
人体構造機能学Ⅰ、人体構造機能学Ⅱ、疾病治療論Ⅰ（循環器・血液造血器・呼吸器系）、疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌･腎尿路系）、疾病治療論Ⅲ（免疫･神経系）、疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）、小児疾病治療論、の範囲から出題する。
２．専門科目試験
母性看護学概論、母性看護援助論、の範囲から出題する。

授業科目表

●…必修　○…選択

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●								30	25単位以上（必修9単位を含む）
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		スペイン語会話		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		文学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		心理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		行動の科学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		日本国憲法		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		歴史学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		地理学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		自然科学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		環境化学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ（理論）	1		1前	●								15	
		健康スポーツ（実技）		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	共生教養	共生と社会		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		生活と環境		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
	奈良・国際	奈良学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		異文化コミュニケーション		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		国際事情		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1前	●								30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		データの世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ＣＧの基礎と演習		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		情報と分析		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後		○							30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				○					30	
	導入基礎	基礎演習Ⅰ（ラーニングスキルズ）	1		1前	●								30	
		基礎演習Ⅱ（文章表現）	1		1後		●							30	
	小計（46科目）		9	63	－										

※「中国語基礎Ⅱ」を履修するためには「中国語基礎Ⅰ」を修得していることが、「スペイン語基礎Ⅱ」を履修するためには「スペイン語基礎Ⅰ」を修得していることが必要です。

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門基礎科目	人間の理解	人体構造機能学Ⅰ	2		1前	●								30	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		人体構造機能学Ⅱ	2		1前	●								30	
		発達心理学	2		1前	●								30	
		生化学	1		1前	●								15	
		栄養学	1		1前	●								15	
		微生物学	1		1前	●								15	
		免疫学	1		1前	●								15	
	環境の理解	疫学	2		2後				●					30	
		公衆衛生学	1		1後		●							15	
		社会福祉学	1		1前	●								15	
		医療福祉関係法規	1		1前	●								15	
		保健医療福祉行政論	2		2後				●					30	
		保健統計		2	2後				○					30	
	健康の理解	保健医療学概論	1		1前	●								15	
		病理学	1		1前	●								15	
		疾病治療論Ⅰ（呼吸器・循環器・血液造血器系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌・腎尿路系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅲ（免疫・神経系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅴ（生殖器系・精神疾患）	1		2前			●						30	
		疾病治療論Ⅵ（老年医学）	1		2前			●						30	
		小児疾病治療論	1		2前			●						30	
		栄養治療論	1		2後				●					15	
		薬理学	2		1後		●							30	
		リハビリテーション論	1		2後				●					30	
	小計（25科目）		30	2	–										
専門科目	看護の考え方と方法	看護学概論	2		1前	●								30	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		看護倫理学	1		1前	●								15	
		看護コミュニケーション論	1		1前	●								30	
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1前	●								60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		1後		●							60	
		看護理論	1		1後		●							15	
		看護過程演習	1		2前			●						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			●						30	
		保健医療倫理学	1		1後		●							15	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1前	●								45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●					90	
		成人看護学概論	2		1後		●							30	
		成人看護援助論Ⅰ(急性期･周手術期)	1		2前			●						30	
		成人看護援助論Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	1		2後				●					30	
		成人看護援助論演習	2		3前					●				60	
		老年看護学概論	1		2前			●						15	
		老年看護援助論	1		2後				●					30	
		老年看護援助論演習	1		3前					●				30	
		小児看護学概論	2		2前			●						30	
		小児看護援助論	1		2後				●					30	
		小児看護援助論演習	1		3前					●				30	
		母性看護学概論	2		2前			●						30	
		母性看護援助論	1		2後				●					30	
		母性看護援助論演習	1		3前					●				30	
		精神看護学概論	1		2前			●						15	
		精神看護援助論	1		2後				●					30	
		精神看護援助論演習	1		3前					●				30	
		成人看護学実習Ⅰ(急性期･周手術期)	3		3後						●			135	
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	3		3後						●			135	
		老年看護学実習Ⅰ	1		3後						●			45	
		老年看護学実習Ⅱ	3		3後						●			135	
		小児看護学実習	2		3後						●			90	
		母性看護学実習	2		3後						●			90	
		精神看護学実習	2		3後						●			90	
		ターミナルケア論		1	4前							○		15	
		感染看護		1	4前							○		15	
		家族看護学		1	4前							○		15	
		ペインコントロール論		1	4前							○		15	

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門科目	看護学の統合と発展	在宅看護学概論	1		2前			●						15	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		在宅看護援助論	2		2後				●					60	
		在宅看護援助論演習	1		3前					●				30	
		在宅看護学実習	2		3後						●			90	
		看護管理学	2		4前							●		30	
		チーム医療論	1		4前							●		15	
		チーム医療論演習		1	4後								○	30	
		統合看護論	2		4後								●	30	
		統合看護実習	2		4前							●		90	
		国際看護論	1		4前							●		15	
		国際看護論演習		1	4後								○	30	
		地域包括ケア論		1	4後								○	15	
		災害看護学		1	4後								○	15	
		看護教育学		1	4後								○	15	
		カウンセリング論		1	4後								○	15	
		卒業研究Ⅰ	1		4前							●		30	
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		2前			●						30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後				●					30	
		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					●				30	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)		3	4前後							○	○	135	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)		1	4前後							○	○	45	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前後							○	○	45	
		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							○		60	
	助産学	助産学概論		2	3前					○				30	
		ウィメンズヘルス学		2	3前					○				30	
		周産期医学		1	3前					○				15	
		助産診断・技術学Ⅰ		2	3前					○				30	
		助産診断・技術学Ⅱ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学Ⅲ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学演習Ⅰ		1	3後						○			30	
		助産診断・技術学演習Ⅱ		1	4前							○		30	
		助産学実習Ⅰ		2	4前後							○	○	90	
		助産学実習Ⅱ		4	4前後							○	○	180	
		助産学実習Ⅲ		4	4前後							○	○	180	
		助産学実習Ⅳ		1	4前後							○	○	45	
		地域母子保健		1	4前							○		15	
		助産管理論		2	4前							○		30	
	小計（79科目）		73	50	―										
合計（150科目）132単位以上			112	115	-	●…必修 ○…選択									

■看護師課程　履修モデル

区分	科目群	1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必	歴史学	2	選	倫理学	2	選													12	25	必修９単位含む25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必																								
		音楽の世界	2	選	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	選																					
	共生教養							生活と環境	2	選																2		
	奈良・国際										異文化コミュニケーション	2	選													2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必				情報倫理とセキュリティ	2	選																4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選	キャリアデザインⅡ	1	選	ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅠ	1	選																5		
		基礎演習Ⅰ（ﾗｰﾆﾝｸﾞ）	1	必	基礎演習Ⅱ（文章）	1	必																					
専門基礎	人間の理解	発達心理学	2	必																						10	30	専門基礎科目必修30単位
		微生物学	1	必																								
		免疫学	1	必																								
		人体構造機能学Ⅰ	2	必																								
		人体構造機能学Ⅱ	2	必																								
		生化学	1	必																								
		栄養学	1	必																								
	環境の理解	社会福祉学	1	必	公衆衛生学	1	必				疫学	2	必													7		
		医療福祉関係法規	1	必							保健医療福祉行政論	2	必															
	健康の理解	保健医療学概論	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅴ	1	必	栄養治療論	1	必													13		
		病理学	1	必	疾病治療論Ⅱ	1	必	小児疾病治療論	1	必	リハビリテーション論	1	必															
					疾病治療論Ⅲ	1	必	疾病治療論Ⅵ	1	必																		
					疾病治療論Ⅳ	1	必																					
					薬理学	2	必																					
専門	看護の考え方と方法	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必	老年看護学概論	1	必	老年看護援助論	1	必							ターミナルケア論	1	選				77	77	専門科目必修73単位 専門基礎科目および専門科目の選択科目4単位以上
		看護倫理学	1	必	看護理論	1	必	成人看護援助論Ⅰ	1	必	成人看護援助論Ⅱ	1	必	成人看護援助論演習	2	必				家族看護学	1	選						
		看護コミュニケーション論	1	必	保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必				老年看護援助論演習	1	必												
		基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	成人看護学概論	2	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
		基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必							基礎看護学実習Ⅱ	2	必															
								小児看護学概論	2	必	小児看護援助論	1	必	小児看護援助論演習	1	必												
								母性看護学概論	2	必	母性看護援助論	1	必	母性看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅰ	3	必									
								精神看護学概論	1	必	精神看護援助論	1	必	精神看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅱ	3	必									
																	老年看護学実習Ⅰ	1	必									
																	老年看護学実習Ⅱ	3	必									
																	小児看護学実習	2	必									
																	母性看護学実習	2	必									
																	精神看護学実習	2	必									
	看護学の統合と発展							在宅看護学概論	1	必	在宅看護援助論	2	必	在宅看護学援助論演習	1	必	在宅看護学実習	2	必	卒業研究Ⅰ	1	必	統合看護論	2	必			
																				卒業研究Ⅱ	1	必	卒業研究Ⅱ	~	必			
																				統合看護実習	2	必						
																				看護管理学	2	必	看護教育学	1	選			
																				チーム医療論	1	必						
																				国際看護論	1	必	国際看護論演習	1	選			
	公衆衛生学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ（地域）	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ（産業）	2	必												

	1年生		2年生		3年生		4年生		単位		
共通	必修 6 選択 3	9	必修 0 選択 7	7	必修 0 選択 0	0	必修 0 選択 0	0	必 9 選 16	25	共通教育科目25単位以上 専門基礎と専門科目の必修103単位, 選択4単位以上
専門基礎	必修 14 選択 0	14	必修 3 選択 0	3	必修 0 選択 0	0	必修 0 選択 0	0	必 30 選 0	30	
専門	必修 7 選択 0	7	必修 12 選択 0	12	必修 9 選択 0	9	必修 8 選択 2	10	必 73 選 4	77	
合計	必修 27 選択 3	30	必修 15 選択 7	22	必修 9 選択 0	9	必修 8 選択 2	10	必 112 選 20	132	
	必修43 選択5 合計48		必修32 選択11 合計43		必修27 選択0 合計27		必修10 選択4 合計14		必修112 選択20 合計132		

■看護師・保健師課程　履修モデル

区分	科目群	1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必	心理学	2	選	行動の科学	2	選													12	25	必修9単位含む25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必																								
		日本国憲法	2	選	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	選																					
	共生教養							ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選																2		
	奈良・国際										異文化コミュニケーション	2	選													2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必				CGの基礎と演習	2	選															4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選	キャリアデザインⅡ	1	選	ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅠ	1	選															5		
		基礎演習Ⅰ（ﾗｰﾆﾝｸﾞ）	1	必	基礎演習Ⅱ（文章）	1	必																					
専門基礎	人間の理解	発達心理学	2	必																						10	32	専門基礎科目必修30単位
		微生物学	1	必																								
		免疫学	1	必																								
		人体構造機能学Ⅰ	2	必																								
		人体構造機能学Ⅱ	2	必																								
		生化学	1	必																								
		栄養学	1	必																								
	環境の理解	社会福祉学	1	必	公衆衛生学	1	必				疫学	2	必													9		「保健統計」1科目2単位
		医療福祉関係法規	1	必							保健医療福祉行政論	2	必															
											保健統計	2	選															
	健康の理解	保健医療学概論	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅴ	1	必	栄養治療論	1	必													13		
		病理学	1	必	疾病治療論Ⅱ	1	必	小児疾病治療論	1	必	リハビリテーション論	1	必															
					疾病治療論Ⅲ	1	必	疾病治療論Ⅵ	1	必																		
					疾病治療論Ⅳ	1	必																					
					薬理学	2	必																					
専門	看護の考え方と方法	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必	老年看護学概論	1	必	老年看護援助論	1	必													86	86	専門科目必修73単位 専門基礎科目および専門科目の選択科目4単位以上 **公衆衛生選択必修7科目13単位**
		看護倫理学	1	必	看護理論	1	必	成人看護援助論Ⅰ	1	必	成人看護援助論Ⅱ	1	必	成人看護援助論演習	2	必												
		看護コミュニケーション論	1	必	保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必				老年看護援助論演習	1	必												
		基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	成人看護学概論	2	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
		基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必							基礎看護学実習Ⅱ	2	必															
								小児看護学概論	2	必	小児看護援助論	1	必	小児看護援助論演習	1	必												
								母性看護学概論	2	必	母性看護援助論	1	必	母性看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅰ	3	必									
								精神看護学概論	1	必	精神看護援助論	1	必	精神看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅱ	3	必									
																	老年看護学実習Ⅰ	1	必									
																	老年看護学実習Ⅱ	3	必									
																	小児看護学実習	2	必									
																	母性看護学実習	2	必									
																	精神看護学実習	2	必									
	看護学の統合と発展							在宅看護学概論	1	必	在宅看護援助論	2	必	在宅看護学援助論演習	1	必	在宅看護学実習	2	必	卒業研究Ⅰ	1	必	統合看護論	2	必			
																				卒業研究Ⅱ	1	必	卒業研究Ⅱ	-	必			
																				統合看護実習	2	必						
																				看護管理学	2	必						
																				チーム医療論	1	必						
																				国際看護論	1	必						
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ（地域）	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ（産業）	2	必												
														公衆衛生看護学Ⅱ（学校）	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	選	公衆衛生看護学実習Ⅰ	-	選			
														公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅱ	1	選	公衆衛生看護学実習Ⅱ	-	選			
														公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅲ	1	選	公衆衛生看護学実習Ⅲ	-	選			
																				公衆衛生看護学診断演習	2	選						

	1年生				2年生				3年生				4年生				単位		
共通	必修 6	9	必修 3	5	必修 0	7	必修 0	4	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必 9	25
	選択 3		選択 2		選択 7		選択 4		選択 0		選択 0		選択 0		選択 0		選 16	
専門基礎	必修 14	14	必修 7	7	必修 3	3	必修 6	8	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必修 0	0	必 30	32
	選択 0		選択 0		選択 0		選択 2		選択 0		選択 0		選択 0		選択 0		選 2	
専門	必修 7	7	必修 6	6	必修 12	12	必修 11	11	必修 9	15	必修 18	18	必修 8	15	必修 2	2	必 73	86
	選択 0		選択 0		選択 0		選択 0		選択 6		選択 0		選択 7		選択 0		選 13	
合計	**必修 27**	**30**	**必修 16**	**18**	**必修 15**	**22**	**必修 17**	**23**	**必修 9**	**15**	**必修 18**	**18**	**必修 8**	**15**	**必修 2**	**2**	**必 112**	143
	選択 3		**選択 2**		**選択 7**		**選択 6**		**選択 6**		**選択 0**		**選択 7**		**選択 0**		**選 31**	
	必修43 選択5 合計48				**必修32 選択13 合計45**				**必修27 選択6 合計33**				**必修10 選択7 合計17**				**必修112 選択31 合計143**		

■看護師・助産師課程　履修モデル

区分	科目群	1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必	心理学	2	選	行動の科学	2	選													12	25	必修9単位含む25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必																								
		日本国憲法	2	選	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	選																					
	共生教養							ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選																2		
	国際・奈良										異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	2	選												2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必				情報倫理とセキュリティ	2	選															4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選	キャリアデザインⅡ	1	選	ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅠ	1	選															5		
		基礎演習Ⅰ（ラーニング）	1	必	基礎演習Ⅱ（文章）	1	必																					
専門基礎	人間の理解	発達心理学	2	必																					10	30	専門基礎科目必修30単位
		微生物学	1	必																								
		免疫学	1	必																								
		人体構造機能学Ⅰ	2	必																								
		人体構造機能学Ⅱ	2	必																								
		生化学	1	必																								
		栄養学	1	必																								
	環境の理解	社会福祉学	1	必	公衆衛生学	1	必				疫学	2	必												7		
		医療福祉師保法規	1	必							保健医療福祉行政論	2	必															
	健康の理解	保健医療学概論	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅴ	1	必	栄養治療論	1	必												13		
		病理学	1	必	疾病治療論Ⅱ	1	必	小児疾病治療論	1	必	リハビリテーション論	1	必															
					疾病治療論Ⅲ	1	必	疾病治療論Ⅵ	1	必																		
					疾病治療論Ⅳ	1	必																					
					薬理学	2	必																					
専門	看護の考え方と方法	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必	老年看護学概論	1	必	老年看護援助論	1	必												100	100	専門科目必修73単位 専門基礎科目および専門科目の選択科目4単位以上 **助産科目** **選択必修** **14科目27単位**
		看護倫理学	1	必	看護理論	1	必	成人看護援助論Ⅰ	1	必	成人看護援助論Ⅱ	1	必	成人看護援助論演習	2	必												
		看護コミュニケーション論	1	必	保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必				老年看護援助論演習	1	必												
		基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	成人看護学概論	2	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
		基礎看護学実習Ⅰ（集中）	1	必							基礎看護学実習Ⅱ	2	必															
								小児看護学概論	2	必	小児看護援助論	1	必	小児看護援助論演習	1	必												
								母性看護学概論	2	必	母性看護援助論	1	必	母性看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅰ	3	必									
								精神看護学概論	1	必	精神看護援助論	1	必	精神看護援助論演習	1	必	成人看護学実習Ⅱ	3	必									
																	老年看護学実習Ⅰ	1	必									
																	老年看護学実習Ⅱ	3	必									
																	小児看護学実習	2	必									
																	母性看護学実習	2	必									
																	精神看護学実習	2	必									
	看護学の統合と発展							在宅看護学概論	1	必	在宅看護援助論	2	必	在宅看護援助論演習	1	必	在宅看護学実習	2	必	卒業研究Ⅰ	1	必	統合看護論	2	必			
																				卒業研究Ⅱ	1	必	卒業研究Ⅱ	-	必			
																				統合看護実習	2	必						
																				看護管理学	2	必						
																				チーム医療論	1	必						
																				国際看護論	1	必						
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ（地域）	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ（産業）	2	必												
	助産学													助産学概論	2	選	助産診断・技術学Ⅱ	2	選	助産診断・技術学演習Ⅰ	1	選						
														ウィメンズヘルス学	2	選	助産診断・技術学Ⅲ	2	選	助産学実習Ⅰ	2	選	助産学実習Ⅰ	-	選			
														周産期医学	1	選	助産診断・技術学演習Ⅰ	1	選	助産学実習Ⅱ	4	選	助産学実習Ⅱ	-	選			
														助産診断技術学Ⅰ	2	選				助産学実習Ⅲ	4	選	助産学実習Ⅲ	-	選			
																				助産学実習Ⅳ	1	選	助産学実習Ⅳ	-	選			
																				地域母子保健	1	選						
																				助産管理論	2	選						
共通		必修 6 / 選択 3	9		必修 3 / 選択 2	5		必修 0 / 選択 7	7		必修 4 / 選択 0	4		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 9 / 選 16	25	
専門基礎		必修 14 / 選択 0	14		必修 7 / 選択 0	7		必修 3 / 選択 0	3		必修 6 / 選択 0	6		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 30 / 選 0	30	
専門		必修 7 / 選択 0	7		必修 6 / 選択 0	6		必修 12 / 選択 0	12		必修 11 / 選択 0	11		必修 9 / 選択 7	16		必修 18 / 選択 5	23		必修 8 / 選択 15	23		必修 2 / 選択 0	2		必 73 / 選 27	100	
合計		必修 27 / 選択 3	30		必修 16 / 選択 2	18		必修 15 / 選択 7	22		必修 17 / 選択 4	21		必修 9 / 選択 7	16		必修 18 / 選択 5	23		必修 8 / 選択 15	23		必修 2 / 選択 0	2		必 112 / 選 43	155	
		必修43　選択5　合計48						必修32　選択11　合計43						必修27　選択12　合計39						必修10　選択15　合計25						必修112　選択43　合計155		

Ⅲ　看護学科（2017年度以前入学生）

1. 履修規程

（総　　則）

第１条　本学学則第 13 条第３項の規定に基づき、保健医療学部看護学科（以下「本学科」）の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

（卒業資格）

第２条　本学科を卒業するためには、４年以上在学し、125 単位以上を修得しなければならない。

２　看護師･保健師課程選択を選択した場合は、135 単位以上を修得しなければならない。

３　看護師･助産師課程選択を選択した場合は、148 単位以上を修得しなければならない。

（授業科目の区分）

第３条　授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。

２　共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養科目及び、キャリア形成科目に区分する。

３　専門基礎科目は、これを健康の理解と区分する。

４　専門教育科目は、これを看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に区分する。

（授業科目の履修）

第４条　本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

（１）共通教育科目	２５単位以上
（２）専門基礎科目	２４単位以上
（３）専門科目	７６単位以上

（単　　位）

第５条　各授業科目の単位数は、45 時間の学修を必要とする内容をもって１単位とする。

（配当年次）

第６条　各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

（授業科目の履修制限）

第７条　授業科目については、原則として、年間 45 単位を超えて履修することができない。

（履修登録）

第８条　履修登録は、各学期初めに年２回行わなければならない。

（履修登録の制限）

第９条　授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。

２　同時限に開講される授業科目は、１科目しか登録することができない。

（再登録）

第 10 条　単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。

２　単位を修得することができなかった授業科目は、第７条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

（履修登録の変更）
第 11 条　履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
2　学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

（授業科目の開講）
第 12 条　授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

（授業の組分け）
第 13 条　履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

（単位の認定）
第 14 条　担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等（以下「試験等」という）、または平素の履修状況（学習態度等）により学修の成果を評価して単位を与える。
2　各授業への出席が授業時間の３分の２（実習においては５分の４）に満たない場合は再履修とする。

（単位認定を受ける資格）
第 15 条　次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
（1）　授業料その他諸納入金が未納であるとき
（2）　履修登録をしていないとき

（試験等の成績評価）
第 16 条　試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
（1）　100 点から 90 点まで　　秀
（2）　89 点から 80 点まで　　優
（3）　79 点から 70 点まで　　良
（4）　69 点から 60 点まで　　可
（5）　59 点以下　　不可（不合格）

（受験上の注意）
第 17 条　学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

（再試験等）
第 18 条　試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
2　再試験等の実施については、別に定める。
3　再試験等で合格した者の成績評価は、60 点（可）とする。

（追試験等）
第 19 条　病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
2　追試験等の実施については、別に定める。
3　追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附　則
この規程は、平成 31 年４月１日から施行する。

2.履修に関する留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の３分の２（実習科目においては５分の４）に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30 分未満の場合は３分の１回の欠席扱いとし、30 分以上の場合は１回の欠席扱いとします。

3)履修指導の体制

各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)看護学実習科目の履修に関する留意点

看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

①基礎看護学実習Ⅱを履修するためには、次の科目の単位を修得していること。

「看護学概論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「看護理論」「早期体験演習」「基礎看護学実習Ⅰ」「看護過程演習」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「ヘルスアセスメント」

②３年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、３年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。

③統合看護学実習を履修するためには、３年次後期までのすべての領域別実習の単位を修得していること。

5)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目（原則的に選択科目は除く）によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります（ただし、成績の評価は 60 点を上限とし、受験回数は１回のみとします。）この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の３分の２以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

6)課程選択に伴う履修上の留意点

（1）看護師・保健師課程

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の選択科目のうち「保健統計（２単位)」及び「保健医療福祉行政論（２単位)」を修得し、公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目７科目 13 単位を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

ただし、「公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動)」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健)」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、３年次後期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得していることが必要です。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話Ⅰ（１単位)」「英会話Ⅱ（１単位)」「健康スポーツ（理論）（１単位)」「健康スポーツ（実技）（１単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作（２単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「日

本国憲法（２単位)」の合計８単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師・助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目 13 科目 27 単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

「助産診断・技行学実習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには、３年次後期までのすべての助産師課程の科目とすべての領域実習の単位を修得しておく必要があります。

7)課程選択の決定

看護学科の学生は、入学者全員が看護学を学び、看護師国家試験受験資格を取得することができます。また、３年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程（20 名以内)」、「看護師・助産師課程（女子のみ 10 名以内)」のいずれかを選択します。「看護師･保健師課程」は保健師国家試験受験資格を、「看護師･助産師課程」は助産師国家試験受験資格を同時に取得することが可能です。

課程選択の決定は、２年次の終わりに希望調査を行い、３年次の始業までに希望者に対して試験、面接を行い、それらの結果と２年次までの成績を考慮して判定します。

3.教育目標と教育課程編成の考え方

以下の内容をよく読んで、明確な目標をもって履修する授業科目を考え、履修登録を行い授業に臨んでください。

1)教育目標

保健医療学部看護学科では、知識や技術の修得のみならず、看護のフィロソフィーの獲得を目指し、看護の役割の拡大や質の変化に対応でき、チーム医療の一員として他職種と協働して全人的ケアの提供ができる質の高い看護職者（看護師、保健師、助産師）を育成することを目標としています。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、看護師、及び希望者には保健師または助産師の国家試験受験資格が取得できるように保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

＜カリキュラムポリシーとそれに相応する教育課程＞

①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養科目群の語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養、共生教養及び奈良・国際の各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味･関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。特に、国際的な視点や国際感覚を身につけた人材を養成するために、共通教育科目の必修科目として「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を通して国際的なコミュニケーション能力を身につけ、「奈良学」を通して自国の文化を理解するとともに奈良の国際色豊かな文化・芸術、仏教文化などを学ぶ。さらに専門基礎科目の必修科目として「保健医療学概論」を通して全人的ケアに主眼をおいた保健医療学について諸外国の現状と実践例を学び、専門科目の必修科目として「国際保健医療看護論」を通して保健・医療・看護について国際社会の動向を知り、看護職者としてグローバルな視点で保健医療活動ができる基礎的能力を身につける。また、学生が自らの興味・関心によって主体的に国際

的な視点や国際感覚を身につけるための選択科目も豊富に配置している。共通教育科目では、奈良・国際科目群の「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」をはじめ、基礎教養科目群の「文化人類学」「外国史」、共生教養科目群の「生活と環境」、専門科目では「国際保健医療看護演習」をはじめ「保健医療英語Ⅰ」「保健医療英語Ⅱ（文献購読）」を配置している。

③主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養及びキャリアの各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

また、専門科目のグループワーク、臨地実習、卒業研究などを通して培う。

④看護職に必要な高度な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群、専門科目の看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に関する各科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。特に情報活用能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目の情報教養科目群の科目を主体的に受講することにより培い、応用的能力は専門科目の演習科目などにおいて必要に応じて多様なメディアを高度に利用することにより培う。また、コミュニケーション能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目のコミュニケーション関連科目を主体的に受講することにより身につけ、実践的応用的能力は専門基礎科目の「早期体験演習」及び専門科目の臨地実習などを通して身につける。

⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠（エビデンス）と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、探求心と想像力をもって、創造的な全人的ケアの実践ができる能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群及び専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。

特に、本学部が目指す全人的ケアの実践ができる能力について、まず、１年次必修科目の「保健医療学概論（専門基礎科目）」及び「チーム医療論」において、看護学、医学、健康諸科学の専任教員及び当該分野の専門家がオムニバス形式で担当することにより、その基本的な考え方と枠組について学ぶ。その後、全人的ケアを実践するための応用的能力について、主として、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の「ヘルスプロモーション論」「心身医療論」、「カウンセリング論」、専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の「行動変容アプローチ」「チーム医療演習」「ターミナルケア論」「統合看護学実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」などを主体的に受講することにより培う。

⑥看護職として学際性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身につける教育

主として、学際性は共通教育科目の基礎教養科目群及び専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の科目、社会のニーズや多様な変化に対応する能力は共通教育科目の共生教養、国際教養、情報教養、キャリア形成の各科目群の科目を主体的に受講することにより身につける。他職種と連携してチームで活動できる基礎的な能力や資質は、専門科目の看護学の基本に関する科目群の１年次後期必修科目の「チーム医療論」で学ぶ。また、チームで活動するための実践力や汎用的能力は、看護学の統合と発展に関する科目群の４年次後期必修科目の「チーム医療演習」で身につける。

3)教育課程全体の特色

教育課程編成の考え方をふまえ、全学（すべての学部）に共通する「共通教育科目」と、看護学科独自の「専門基礎科目」及び「専門科目」を設け、上述の教育目標が達成できる

ようなカリキュラムを構築し、学生一人ひとりの自主性と自立を支援するための充実した教育プログラムを展開しています。

「共通教育科目」は、語学、人文科学、社会科学、自然科学、スポーツに関連する科目を幅広く配置した基礎教養科目群、本学の教育・研究の特色（キーワード）である「共生」「国際」「情報」「奈良文化」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群、さらに社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むためのキャリア形成科目群の5つの科目群で構成し、専門性にとらわれない幅広い教養と豊かな人間性、社会のニーズや多様な変化に対応するための汎用的能力を培います。

「専門基礎科目」は保健医療専門職として必要な健康の理解に関する科目群、専門科目は、看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展に関する3つの科目群で構成し、人間を全人的に理解し高い専門性と創造力、倫理的配慮を備え、他職種と連携して全人的ケアができる看護職者の育成をめざしています。また、専門科目には、保健師養成のための公衆衛生看護学、助産師養成のための助産学に関する各科目群を配置しています。

4)教育課程の概要

(1) 共通教育科目（52科目82単位、うち必修は8科目10単位、選択は44科目72単位）

○共通教育科目の履修要件（卒業要件）：25単位以上（必修10単位、選択15単位以上）

①基礎教養科目群（32科目49単位、うち必修は6科目6単位、選択は26科目43単位）

語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する32科目（49単位）を配置しています。これらの幅広い科目の中から選択受講することにより、論理的・科学的な思考力、的確な判断能力、倫理性、社会性、豊かな表現力、コミュニケーション能力、自然や文化を大切にする心など、幅広い教養と豊かな人間性を主体的な学びにより培います。なお、国際的な視点で学び、世界各地の人々とコミュニケーションをとり活動する上で不可欠な「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」及び保健医療職者として自らが健康的で活動的なライフスタイルを形成するための基礎となる「健康スポーツ（理論）」「健康スポーツ（実技）」の6科目6単位は必修科目としています。

＜基礎教養科目群＞

【必修科目】

「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「健康スポーツ（理論）」
「健康スポーツ（実技）」

【選択科目】

「中国語基礎Ⅰ」「中国語基礎Ⅱ」「中国語会話」「文学」「哲学」「倫理学」
「心理学」「行動科学の基礎」「文化人類学」「感性・イメージ表現」「音楽の世界」
「社会学」「社会科学の基礎」「日本国憲法」「外国史」「地理学」「数学の世界」
「物理と地学の基礎」「環境化学の基礎」「実験と科学」「スポーツ実技Ⅰ」
「スポーツ実技Ⅱ」

※ 以下は留学生のための日本語科目（4科目4単位）を開講する。
「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語表現Ⅰ」「日本語表現Ⅱ」

②「共生」「奈良・国際」「情報」に呼応する科目群

以下に示す本学の教育･研究の特色（キーワード）である「共生」「奈良･国際」「情報」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群から、主体的に選択受講することにより、社会のニーズや多様な変化に対応し、人類・社会に貢献するための汎用的能力を培います。

ⅰ）共生教養科目群（4科目8単位、すべて選択）

様々な事象が絡み合った複雑な現代社会の現状を理解した上で、人や集団、自然との共生を実現させる方法及びその問題点について学ぶ科目を配置しています。人と人との共生を学ぶ科目「人権論」、共生を実現するための社会の仕組みについて学ぶ科目「共

生と日本社会」、人と自然との共生を学ぶ科目「生活と環境」があるほか、科目「ボランティア活動」を通して共生の実践を学び、他者を支援しながら、幸せを共有できる姿勢を養います。

＜共生教養科目群＞

【選択科目】

「共生と日本社会」「人権論」「ボランティア活動」「生活と環境」

ⅱ）奈良・国際科目群（５科目９単位、うち必修は１科目２単位、選択は４科目７単位）

国際化した現代社会では、様々な社会生活の場面で異文化との交流が必然的に発生します。その交流を積極的に進めるためには、海外及び自国の諸事情を把握し、互いの差異を理解することが必要となります。国際交流を進めていくために必要な準備及び国際交流の実践方法について学びます。特に国際交流の前提として、自らを深く理解するために本学が所在する奈良を重視し、日本人の特質や日本文化の土台を形成した奈良文化について学ぶ「奈良学」は必要不可欠な教養と考え、必修科目として配置しています。その上で自国文化を海外の人々に伝える方法や国際交流を実践する能力を身につけます。また、教科外活動として短期研修プログラム、文化交流、短期留学など、海外に出かけ、国際社会及び異文化を実体験できる機会を設けます。これらの自主的活動についても、活動内容に対応する科目として単位認定を行う場合があります。

＜奈良・国際科目群＞

【必修科目】

「奈良学」

【選択科目】

「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」

ⅲ）情報教養科目群（５科目 10 単位、うち必修は１科目２単位、選択は４科目８単位）

高度情報化社会といわれる現代において、安全に、適切に、効率よく、倫理的に正しい方法で、あふれる情報の中から必要な情報を収集し、また自らも情報を処理し、発信していくための基礎的・実践的な情報・コミュニケーション能力を培うための科目を配置しています。特に情報機器の活用能力を身につける「情報機器の操作」を必修科目として配置しています。

＜情報教養科目群＞

【必修科目】

「情報機器の操作」

【選択科目】

「情報倫理とセキュリティ」「シミュレーションの世界」「データの世界」
「CG の基礎と演習」

③キャリア形成科目群（６科目６単位、すべて選択）

社会的・職業的自立に必要な能力や態度である人間力、社会人基礎力を育み、学生が主体的に課題を発見し、これを解決する能力を培うための科目を配置しています。

特に、本学部が想定している進路の特徴を加味した独自の教育プログラムを提供するために、複数の専任教員が主として担当する「キャリアデザインⅡ（１年次)」「キャリアディベロップメントⅡ（２年次)」「キャリアスキルアップⅠ（3 年次)」「キャリアスキルアップⅡ（４年次)」を順次履修することを強く奨励します。具体的には、自分の将来のキャリアプランに関連し、専門教育課程では直接学ぶことができない、実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを主体的に実行することにより、

汎用的能力を培うとともに、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力を段階的に確立できるようにしています。

＜キャリア形成科目群＞

【選択科目】

「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」
「キャリアディベロップメントⅠ」「キャリアディベロップメントⅡ」
「キャリアスキルアップⅠ」「キャリアスキルアップⅡ」

（2）専門基礎科目（24 科目 31 単位、うち必修は 17 科目 21 単位、選択は 7 科目 10 単位）

○専門基礎科目の履修要件（卒業要件）：24 単位以上（必修 21 単位、選択 3 単位以上）

①健康の理解に関する科目群

保健医療専門職として必要な健康、医療、福祉に関する理解を深めるための科目を主として 1 ～ 2 年次に配置しています。特に「保健医療学概論」は入学して間もない 1 年次前期に配置し、看護学、医学、健康科学の専任教員がオムニバス形式で担当することにより、本学部がめざす全人的ケアをふまえた保健医療学の概要について概説します。また、全人的ケアに関連する科目として「心身医療論」「カウンセリング論」「ヘルスプロモーション論」を配置し、主として専任教員が担当します。さらに、保健医療や看護への動機付け及び臨地での基礎看護学実習Ⅰへの導入として、早期に臨床現場を体験する「早期体験演習」を 1 年前期に配置しています。

＜健康の理解に関する科目群＞

【必修科目】

「保健医療学概論」「早期体験演習」「人体構造学Ⅰ」「人体構造学Ⅱ」「人体機能学Ⅰ」「人体機能学Ⅱ」「生化学」「薬理学」「病理学」「微生物学」「栄養と食生活」「疾病治療論Ⅰ」「疾病治療論Ⅱ」「保健学Ⅰ（公衆衛生）」「保健学Ⅱ（疫学）」「社会福祉学」「医療福祉関係法規」

【選択科目】

「免疫学」「遺伝学」「保健統計」「心身医療論」「カウンセリング論」
「ヘルスプロモーション論」「保健医療福祉行政論」

（3）専門科目（70 科目 121 単位、うち必修は 41 科目 72 単位、選択は 29 科目 49 単位）

○専門科目の履修要件（卒業要件）：76 単位以上（必修 72 単位、選択 4 単位以上）

※選択科目について、基本的に、「看護師課程選択」では、看護学の統合と発展の選択科目 9 科目 9 単位のうちから 4 単位以上を履修します。

①看護学の基本に関する科目群（11 科目 15 単位、すべて必修）

看護の実践能力、自己の啓発能力、人間を尊重し、人間関係を形成しながら健康問題を解決するための能力といった、看護職者として基盤となる能力を学ぶための科目を主として 1 ～ 2 年次に配置しています。また、特に本学部の特色として掲げている全人的ケアに関連する基礎的科目として「チーム医療論」を配置しています。

＜看護学の基本に関する科目群＞

【必修科目】

「看護学概論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「看護理論」「看護過程演習」「ヘルスアセスメント」「チーム医療論」「保健医療倫理学」「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」

②看護学の展開に関する科目群（18 科目 38 単位、すべて必修）

看護学の基本で学んだ内容をふまえ、科学的根拠に基づく高度な知識・技術を培い、状況に応じた高度な看護実践を展開することができるようになるための科目を、臨地実

習と連動し、主に２～３年次に配置しています。

＜看護学の展開に関する科目群＞

【必修科目】

「成人看護学概論」「成人看護学援助論Ⅰ（急性期・周手術期）」「成人看護学援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）」「老年看護学概論」「老年看護学援助論」「精神看護学概論」「精神看護学援助論」「小児看護学概論」「小児看護学援助論」「母性看護学概論」「母性看護学援助論」「成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）」「成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」

③看護学の統合と発展に関する科目群（18 科目 22 単位、うち必修は９科目 13 単位、選択は９科目９単位）

看護学の基本及び看護学の展開に関する各科目群で学んだことを統合し、さらにそれらのことを発展させ、全人的な健康観に立ち、科学的・客観的な根拠と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、高い専門性と倫理的配慮、豊かな想像力と国際的な視点を備え、他職種と連携して創造的な全人的ケアの実践ができるようになるための科目を２～４年次に配置しています。特にその特徴的科目として「チーム医療演習」「行動変容アプローチ」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「国際保健医療看護論」「国際保健医療看護演習」などを設定しています。また、「統合看護学実習」では、これまでの学修及び看護学の実践の中で見出した自身の課題に基づき、主体的、自律的に実習計画を立て、それを実行する能力を培います。

＜看護学の統合と発展に関する科目群＞

【必修科目】

「在宅看護学概論」「在宅看護学援助論」「在宅看護学実習」「チーム医療演習」「医療安全管理学」「国際保健医療看護論」「統合看護学実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」

【選択科目】

「家族援助論」「行動変容アプローチ」「感染症看護論」「災害看護論」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「保健医療英語Ⅰ」「保健医療英語Ⅱ（文献講読）」「国際保健医療看護演習」

④公衆衛生看護学に関する科目群（10 科目 19 単位、うち必修は３科目６単位、選択は７科目 13 単位）

「看護師・保健師課程選択」（20 名）では、保健師国家試験受験資格を取得するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、地域活動、学校保健、産業保健など、公衆衛生看護に関する講義、演習、実習などの科目を主に３～４年次に配置しています。

＜公衆衛生看護学に関する科目群＞

【必修科目】

「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護学Ⅰ（地域活動）」「公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）」

【選択科目】

「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」「公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）」「公衆衛生看護学診断演習」

⑤助産学に関する科目群（13 科目 27 単位、すべて選択）

「看護師・助産師課程選択」（女性のみ 10 名）では、助産師国家試験受験資格を取得

するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、助産診断・技術に関する講義、演習、実習を中核とし、ウイメンズヘルスや地域母子保健に関する科目を主に３～４年次に配置しています。

＜助産学に関する科目群＞

【選択科目】

「助産学概論」「ウイメンズヘルス学」「周産期医学」「助産診断・技術学Ⅰ」「助産診断・技術学Ⅱ」「助産診断・技術学Ⅲ」「助産診断・技術学演習」「助産診断・技術学実習Ⅰ」「助産診断・技術学実習Ⅱ」「助産診断・技術学実習Ⅲ」「助産診断・技術学実習Ⅳ」「地域母子保健」「助産管理論」

4.看護学実習の概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の概要と開講時期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり１年次から４年次まで段階的に実習を開講します。

１年次：前期の早期体験演習と後期の基礎看護学実習Ⅰをリンクさせて、早期に臨床現場を経験し、将来の自分の姿を想像することで、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

２年次：基礎看護学実習Ⅱとして、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

３年次：各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等対象の特性に応じた適切な看護を行う能力を養います。

４年次：統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。保健師または助産師課程選択の学生（３年次に選抜）は公衆衛生看護学実習または助産診断・技術学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時期

必修／選択	実習科目	開講時期	単位
必　修	早期体験演習	１年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅰ	１年次後期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	２年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	３年次後期	6
	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
	小児看護学実習		2
	母性看護学実習		2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	４年次前期	2
選　択	公衆衛生看護学実習Ⅰ～Ⅲ	４年次	5
	助産診断・技術学実習Ⅰ～Ⅳ		11

2)看護学実習要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、１年次から継続して実習教育を行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オリエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習の評価

看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

※ 出席が４/５に満たない場合は再履修となります。

4)実習中の事故防止と対処

①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。

②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。

※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険（総合補償制度 will 保険）に加入します。

5)感染防止

①自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。

②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。

③定期健康診断時（４月）に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体（Ｂ型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。3年生は麻疹･風疹の抗体価、HBs 抗体（Ｂ型肝炎）、結核感染の有無（T- スポット）を調べます。

ⅰ 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について

麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の学生は母子健康手帳などの予防接種歴（ワクチン接種歴）を確認し、下記の対応をしてください。

・ワクチンを２回接種している→２回分の接種証明書を提出。

・ワクチンを１回接種している→ワクチン接種を１回受けて、２回分の接種証明書を提出。

・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→１ヵ月以上の間隔をあけて、２回予防接種を受ける。接種後、２回分の接種証明書を提出。

提出先：学生支援センター

提出書類：接種証明書（医療明細書または母子健康手帳の写し）

提出期限：基礎看護実習Ⅰが始まる１ヵ月前

なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センターに申し出てください。

ⅱ 結核感染の有無について（T- スポット）

検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。

ⅲ HBs 抗体（Ｂ型肝炎）について

HBs 抗体陰性（－）の学生はワクチン接種を受けてください。

※HBs 抗体のワクチンは、３回の接種が必要で、終了までに約７か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。

ⅳ インフルエンザについて

感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

5.看護師・保健師課程選択履修要領

（趣　　旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部 看護学科履修規定第２条第２項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち公衆衛生看護学に係る選択科目（以下「保健師課程選択科目」という）の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（保健師課程選択科目の定義）

第２条　保健師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（履修許可人数）

第３条　保健師課程選択に伴う科目の履修定員は、２０名とする。筆記試験、面接及び２年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

（選考の時期等）

第４条　前条の保健師課程選択科目履修者の選択は、３年次始期から前期履修登録までに行うものとする。

（履修志願手続き）

第５条　保健師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。

３　申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に保健師として働く意欲を記した「保健師課程選択志願理由書」とする。

（課程選択履修者の選考・決定）

第６条　保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員（以下「選考委員」という。）若干名を選考するものとする。

２　選考委員は別表２の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修候補者の選考を行う。

ただし、志願者が第３条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行うこととする。

３　課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

（選考結果の通知）

第７条　保健医療学部長は、前条第３項による選考結果を、志願者に対して通知する。

（委　　任）

第８条　この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、保健医療学部企画委員会において別に定める。

附　　則

この要領は、平成２７年９月２日から施行する。

別表１　保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
	保健医療福祉行政論	2	30
専門科目	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）	2	30
	公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合　　計		17	435

別表２　選考方法

①１・２年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
②筆記試験
　出題科目
　　「保健医療学概論」「保健学Ⅰ（公衆衛生）」
　　「公衆衛生看護学概論」「社会福祉学」
　　上記科目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識
③「面接」

6.看護師・助産師課程選択履修要領

（趣　　旨）

第１条　この要領は、奈良学園大学学則１３条第３項の規定及び保健医療学部　看護学科履修規定第２条第３項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち助産学に係る選択科目（以下「助産師課程選択科目」という。）の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

（助産師課程選択科目の定義）

第２条　助産師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表１のとおりとする。

（助産師課程選択科目の授業時間）

第３条　助産師課程選択科目の授業時間（主として助産診断・技術学実習）については、履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

（履修許可人数）

第４条　助産師課程選択の履修定員は、女子１０名とする。筆記試験、面接及び２年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

（選考の時期等）

第５条　前条の助産師課程選択科目履修者の選考は、３年次前期履修登録までに行うものとする。

（履修志願手続き）

第６条　助産師課程選択科目を履修しようとする者（以下「志願者」という。）は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。

２　申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。

３　申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に助産師として働く意欲を記した「助産師課程選択志願理由書」とする。

（課程選択履修者の選考・決定）

第７条　保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員（以下「選考委員」という。）若干名を選考するものとする。

２　選考委員は別表２の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う。

　ただし、志願者が第４条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行うこととする。

３　課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

（選考結果の通知）

第８条　保健医療学部長は、前条第３項による選考結果を、志願者に対して通知する。

（委　　任）

第９条　この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、保健医療学部企画委員会において別に定める。

附則
この要領は平成２７年９月２日から施行する。

別表１　助産師課程選択科目

授業科目	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウイメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学Ⅰ	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習	2	60
助産診断・技術学実習Ⅰ	3	135
助産診断・技術学実習Ⅱ	2	90
助産診断・技術学実習Ⅲ	3	135
助産診断・技術学実習Ⅳ	3	135
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
合　　計	27	765

別表２　選考方法

①１・２年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
②筆記試験
　出題科目
　　「人体構造学Ⅰ・Ⅱ」「人体機能学Ⅰ・Ⅱ」
　　「疾病治療論Ⅰ・Ⅱ」「母性看護学概論」
　　上記科目より、助産学を学ぶために必要な基礎知識。
③「面接」

授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	卒業に必要な単位数
						1年		2年		3年		4年			
			必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●								30	25単位以上（必修10単位を含む）
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		日本語Ⅰ		1	1前	○								30	
		日本語Ⅱ		1	1後		○							30	
		日本語表現Ⅰ		1	2前			○						30	
		日本語表現Ⅱ		1	2後				○					30	
		文学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		心理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		行動科学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		感性・イメージ表現		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会科学の基礎		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		日本国憲法		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		外国史		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		地理学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		物理と地学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		環境化学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		実験と科学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ（理論）	1		1･2･3･4前	●		●		●		●		15	
		健康スポーツ（実技）	1		1･2･3･4後		●		●		●		●	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	共生教養	共生と日本社会		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		生活と環境		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
	奈良・国際	奈良学	2		1･2･3･4前	●		●		●		●		30	
		文化コミュニケーション		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化芸術交流論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		文化芸術交流演習		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		国際経済事情		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1･2･3･4前	●		●		●		●		30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		シミュレーションの世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		データの世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ＣＧの基礎と演習		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後	○								30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2前			○						30	
		キャリアスキルアップⅠ		1	3前					○				30	
		キャリアスキルアップⅡ		1	4前							○		30	
	小計（52科目）　25単位以上		10	72	－										

※「中国語基礎Ⅱ」は「中国語基礎Ⅰ」を修得した者のみが履修できる。
※「文化芸術交流演習」は「文化芸術交流論」を修得した者のみが履修できる。
※「キャリアディベロップメントⅡ」は「キャリアデザインⅡ」を、「キャリアスキルアップⅠ」は「キャリアディベロップメントⅡ」を、「キャリアスキルアップⅡ」は「キャリアスキルアップⅠ」を取得した者のみが履修できる。

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1		1前	●								15	24単位以上（必修21単位を含む）
		早期体験演習	1		1前	●								30	
		人体構造学Ⅰ	1		1前	●								30	
		人体構造学Ⅱ	1		1後		●							30	
		人体機能学Ⅰ	1		1前	●								30	
		人体機能学Ⅱ	1		1後		●							30	
		生化学	1		1前	●								15	
		薬理学	2		1後		●							30	
		免疫学		1	2前			○						15	
		病理学	1		1後		●							15	
		微生物学	1		1後		●							30	
		遺伝学		1	2前			○						15	
		栄養と食生活	1		1前	●								30	
		疾病治療論Ⅰ	1		2前			●						30	
		疾病治療論Ⅱ	2		2後				●					60	
		保健学Ⅰ（公衆衛生）	1		2前			●						15	
		保健学Ⅱ（疫学）	2		2後				●					30	
		保健統計		2	3前					○				30	
		心身医療論		1	2後				○					15	
		カウンセリング論		1	2後				○					15	
		ヘルスプロモーション論		2	2前			○						30	
		社会福祉学	1		2前			●						15	
		医療福祉関係法規	2		2前			●						30	
		保健医療福祉行政論		2	3前					○				30	
	小計（24科目） 24単位以上		21	10	－										
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2		1前	●								30	
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1後		●							60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		2前			●						60	
		基礎看護技術演習Ⅲ	1		2前			●						30	
		看護理論	1		1後		●							15	
		看護過程演習	1		2前			●						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			●						15	
		チーム医療論	1		1後		●							15	
		保健医療倫理学	1		1後		●							15	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1後		●							45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●					90	
	看護学の展開	成人看護学概論	2		2前			●						30	
		成人看護学援助論Ⅰ(急性期･周手術期)	2		2後				●					30	
		成人看護学援助論Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	2		3前					●				30	
		老年看護学概論	2		2後				●					30	
		老年看護学援助論	2		3前					●				30	
		小児看護学概論	2		2後				●					30	
		小児看護学援助論	2		3前					●				30	
		母性看護学概論	2		2後				●					30	
		母性看護学援助論	2		3前					●				30	
		精神看護学概論	2		2後				●					30	
		精神看護学援助論	2		3前					●				30	
		成人看護学実習Ⅰ(急性期･周手術期)	3		3後						●			135	
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期･回復期･終末期)	3		3後						●			135	
		老年看護学実習Ⅰ	2		3後						●			90	
		老年看護学実習Ⅱ	2		3後						●			90	
		小児看護学実習	2		3後						●			90	
		母性看護学実習	2		3後						●			90	
		精神看護学実習	2		3後						●			90	

配当年次 ●…必修 ○…選択

科目区分		授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	卒業に必要な単位数
						1年		2年		3年		4年			
			必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目	看護学の統合と発展	在宅看護学概論	2		2後				●					30	76単位以上（必修72単位を含む）
		在宅看護学援助論	2		3前					●				30	
		在宅看護学実習	2		3後						●			90	
		家族援助論		1	2前			○						15	
		行動変容アプローチ		1	3前					○				30	
		チーム医療演習	1		4後								●	30	
		感染症看護論		1	4前							○		15	
		災害看護論		1	4後								○	15	
		ターミナルケア論		1	4後								○	15	
		医療安全管理学	1		4後								●	15	
		看護キャリア開発論		1	4後								○	15	
		保健医療英語Ⅰ		1	2後				○					30	
		保健医療英語Ⅱ（文献講読）		1	4前							○		30	
		国際保健医療看護論	1		4前							●		15	
		国際保健医療看護演習		1	4前							○		30	
		統合看護学実習	2		4前							●		90	
		卒業研究Ⅰ	1		4前							●		15	
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		2前			●						30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後				●					30	
		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					●				30	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)		3	4通							○	○	135	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)		1	4前							○		45	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前							○		45	
		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							○		60	
	助産学	助産学概論		2	3前					○				30	
		ウイメンズヘルス学		2	3前					○				30	
		周産期医学		1	3前					○				15	
		助産診断・技術学Ⅰ		2	3前					○				30	
		助産診断・技術学Ⅱ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学Ⅲ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学演習		2	4前							○		60	
		助産診断・技術学実習Ⅰ		3	4通							○	○	135	
		助産診断・技術学実習Ⅱ		2	4通							○	○	90	
		助産診断・技術学実習Ⅲ		3	4通							○	○	135	
		助産診断・技術学実習Ⅳ		3	4通							○	○	135	
		地域母子保健		1	4前							○		15	
		助産管理論		2	4前							○		30	
	小計（70科目） 76単位以上		72	49	–										
合計（146科目） 125単位以上			103	131	–	●…必修 ○…選択									

課程選択別履修モデル

課程選択別の３つの履修モデルを別表に示しましたので参考にしてください。

履修モデル１は「看護師課程選択」のモデルで、国際理解に関する科目を多く履修し、国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師をめざします。また、キャリア形成科目を多く履修し、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力をそなえた汎用的能力の高い看護師をめざします。

履修モデル２は「看護師・保健師課程選択」のモデルで、看護師に加えて保健師をめざします。さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっています。

履修モデル３は「看護師・助産師課程選択」のモデルで、看護師に加えて助産師をめざします。

履修モデル２及び履修モデル３では、３年次以降は履修すべき科目が多いですが、１～２年次は、「看護師課程選択」と同様に、多彩な共通教育科目の中から自らの志向により科目を選択履修でき、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を養うことが可能となっています。

■看護師課程　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			9	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		中国語会話	1	選	行動科学の基礎	2	選																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	共生教養	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選																						2		
	奈良・国際	奈良学	2	必	国際経済事情	2	選																			7		
		文化芸術交流論	2	選	文化芸術交流演習(集中)	1	選																					
	情報教養	情報機器の操作	2	必																						2		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選				ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅡ	1	選				ｷｬﾘｱｽｷﾙｱｯﾌﾟⅠ	1	選				ｷｬﾘｱｽｷﾙｱｯﾌﾟⅡ	1	選				5		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	免疫学	1	選	疾病治療論Ⅱ	2	必													24		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必															
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必																		
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	社会福祉学	1	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		栄養と食生活	1	必				ﾍﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ論	2	選																		
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	76	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					チーム医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	看護学の統合と発展										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	災害看護論	1	選	17		
											保健医療英語Ⅰ	1	選							国際保健医療看護演習(集中)	1	選	医療安全管理学	1	必			
																				統合看護学実習(集中)	2	必	チーム医療演習	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必						
																				卒業研究Ⅱ(集中)通年				1	必			
																							看護キャリア開発論	1	選			
	公衆衛生学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ	2	必										6		
共通		必修 7	14		必修 3	8		必修 0	1		必修 0	0		必修 0	1		必修 0	0		必修 0	1		必修 0	0		必 10	25	必修103単位 選択22単位 合計125単位以上
		選択 7			選択 5			選択 1			選択 0			選択 1			選択 0			選択 0			選択 0			選 15		
専門基礎		必修 6	6		必修 6	6		必修 5	8		必修 4	4		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 21	24	
		選択 0			選択 0			選択 3			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 3		
専門		必修 2	2		必修 6	6		必修 11	11		必修 14	15		必修 14	14		必修 18	18		必修 4	5		必修 3	5		必 72	76	
		選択 0			選択 0			選択 0			選択 1			選択 0			選択 0			選択 1			選択 2			選 4		
合計		**必修 15**	**22**		**必修 15**	**20**		**必修 16**	**20**		**必修 18**	**19**		**必修 14**	**15**		**必修 18**	**18**		**必修 4**	**6**		**必修 3**	**5**		**必 103**	**125**	
		選択 7			**選択 5**			**選択 4**			**選択 1**			**選択 1**			**選択 0**			**選択 2**			**選択 2**			**選 22**		
		必修30　選択12　合計42						**必修34　選択5　合計39**						**必修32　選択1　合計33**						**必修7　選択4　合計11**						必修103選択22合計125		

■看護師・保健師課程　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			12	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		日本国憲法	2	選	行動科学の基礎	2	選																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	環境化学の基礎	2	選																					
					健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	共生教養	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選	共生と日本社会	2	選																			4		
	奈良国際	奈良学	2	必																						2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	シミュレーションの世界	2	選																			4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選				ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅡ	1	選																3		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅱ	2	必	保健統計	2	選										25		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必	保健医療福祉行政論	2	選												
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	社会福祉学	1	必																		
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必																					
		栄養と食生活	1	必																								
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	85	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					ﾁｰﾑ医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	看護学の統合と発展										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	ﾁｰﾑ医療演習	1	必	13		
																				統合看護学実習(集中)	2	必	医療安全管理学	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必						
																				卒業研究Ⅱ(集中)通年				1	必			
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅱ	2	選		3	選	公衆衛生看護学実習Ⅰ(集中)	3	選				19		
														公衆衛生看護学Ⅲ	2	必				公衆衛生看護学実習Ⅱ(集中)	1	選						
														公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅲ(集中)	1	選						
														公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	選				公衆衛生看護学診断演習	2	選						
共通		必修 7 / 選択 6	13		必修 3 / 選択 8	11		必修 0 / 選択 1	1		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 10 / 選 15	25	必修103単位 選択22単位 合計125単位以上
専門基礎		必修 6 / 選択 0	6		必修 6 / 選択 0	6		必修 5 / 選択 0	5		必修 4 / 選択 0	4		必修 0 / 選択 4	4		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必修 0 / 選択 0	0		必 21 / 選 4	25	
専門		必修 2 / 選択 0	2		必修 6 / 選択 0	6		必修 11 / 選択 0	11		必修 14 / 選択 0	14		必修 14 / 選択 6	20		必修 18 / 選択 0	18		必修 4 / 選択 7	11		必修 3 / 選択 0	3		必 72 / 選 13	85	
合計		**必修 15 / 選択 6**	**21**		**必修 15 / 選択 8**	**23**		**必修 16 / 選択 1**	**17**		**必修 18 / 選択 0**	**18**		**必修 14 / 選択 10**	**24**		**必修 18 / 選択 0**	**18**		**必修 4 / 選択 7**	**11**		**必修 3 / 選択 0**	**3**		**必 103 / 選 32**	**135**	
		必修30　選択14　合計44						**必修34　選択1　合計35**						**必修32　選択10　合計42**						**必修7　選択7　合計14**						必修103選択32合計135		

看護学科 2017以前

■看護師・助産師課程　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			10	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	感性・ｲﾒｰｼﾞ表現	2	選																					
					行動科学の基礎	2	選																					
					健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	教養 共生	生活と環境	2	選	共生と日本社会	2	選																			4		
	教養 奈良・国際	奈良学	2	必	文化芸術交流演習(集中)	1	選																			5		
		文化芸術交流論	2	選																								
	教養 情報	情報機器の操作	2	必	ＣＧの基礎と演習	2	選																			4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選																						2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅱ	2	必													24		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必															
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	社会福祉学	1	必	心身医療論	2	選															
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必	遺伝学	1	選																		
		栄養と食生活	1	必																								
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	72	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					ﾁｰﾑ医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	統合と発展 看護学の										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	医療安全管理学	1	必	13		
																				統合看護学実習(集中)	2	必	ﾁｰﾑ医療演習	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必						
																				卒業研究Ⅱ(集中)通年				1	必			
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ	2	必										6		
	助産学													助産学概論	2	選				助産診断・技術学演習	2	選				27	27	
														ｳｨﾒﾝｽﾞﾍﾙｽ学	2	選				助産診断・技術学実習Ⅰ				3	選			
														周産期医学	1	選				助産診断・技術学実習Ⅱ				2	選			
														助産診断・技術学Ⅰ	2	選				助産診断・技術学実習Ⅲ				3	選			
														助産診断・技術学Ⅱ				2	選	助産診断・技術学実習Ⅳ				3	選			
														助産診断・技術学Ⅲ				2	選	地域母子保健	1	選						
																				助産管理論	2	選						
共通		必修 7	13		必修 3	12		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 10	25	必修103単位 選択22単位 合計125単位以上
		選択 6			選択 9			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 15		
専門基礎		必修 6	6		必修 6	6		必修 5	6		必修 4	6		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 21	24	
		選択 0			選択 0			選択 1			選択 2			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 3		
専門		必修 2	2		必修 6	6		必修 11	11		必修 14	14		必修 14	21		必修 18	22		必修 4	9		必修 3	14		必 72	99	
		選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 7			選択 4			選択 5			選択 11			選 27		
合計		**必修 15**	**21**		**必修 15**	**24**		**必修 16**	**17**		**必修 18**	**20**		**必修 14**	**21**		**必修 18**	**22**		**必修 4**	**9**		**必修 3**	**14**		**必 103**	**148**	
		選択 6			**選択 9**			**選択 1**			**選択 2**			**選択 7**			**選択 4**			**選択 5**			**選択 11**			**選 45**		
		必修30　選択15　合計45						**必修34　選択3　合計37**						**必修32　選択11　合計43**						**必修7　選択16　合計23**						必修103選択45合計148		

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

作業療法学専攻

Ⅳ　リハビリテーション学科

1.履修規程

（総　　則）

第１条　本学学則第 13 条第３項の規定に基づき、保健医療学部リハビリテーション学科（以下「本学科」）の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

（卒業資格）

第２条　本学科を卒業するためには、４年以上在学し、126 単位以上を修得しなければならない。

（授業科目の区分）

第３条　授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。

２　共通教育科目は、これを基礎教養科目群、共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群、キャリア形成科目群及び、導入基礎科目群に区分する。

３　専門基礎科目は、これを人体の構造と機能及び心身の発達科目群、疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進科目群、保健医療福祉とリハビリテーション科目群に区分する。

４　専門科目は、これを以下のように区分する。

〈理学療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎理学療法学、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法学、臨床実習

〈作業療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎作業療法学、作業療法評価学、作業療法治療学、地域作業療法学、臨床実習

（授業科目の履修）

第４条　本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

（１）共通教育科目	（選択科目１６単位を含む）	３１単位以上
（２）専門基礎科目	（選択科目２単位を含む）	３１単位以上
（３）専門科目	（選択科目２単位を含む）	６４単位以上

（単　　位）

第５条　各授業科目の単位数は、45 時間の学修を必要とする内容をもって１単位とする。

（配当年次）

第６条　各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

（授業科目の履修制限）

第７条　授業科目については、原則として、年間 48 単位を超えて履修することができない。

（履修登録）

第８条　履修登録は、各学期初めに行わなければならない（年２回）。

（履修登録の制限）
第 9 条　授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。
2　同時限に開講される授業科目は、１科目しか登録することができない。

（再登録）
第 10 条　単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。
2　単位を修得することができなかった授業科目は、第７条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

（履修登録の変更）
第 11 条　履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
2　学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

（授業科目の開講）
第 12 条　授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

（授業の組分け）
第 13 条　履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

（単位の認定）
第 14 条　担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等（以下「試験等」という）、または平素の履修状況（学習態度等）により学修の成果を評価して単位を与える。
2　各授業への出席が授業時間の３分の２（実習においては５分の４）に満たない場合は再履修とする。

（単位認定を受ける資格）
第 15 条　次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
（1）　授業料その他諸納入金が未納であるとき
（2）　履修登録をしていないとき

（試験等の成績評価）
第 16 条　試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
（1）　100 点から 90 点まで　　秀
（2）　89 点から 80 点まで　　優
（3）　79 点から 70 点まで　　良
（4）　69 点から 60 点まで　　可
（5）　59 点以下　　不可（不合格）

（受験上の注意）
第 17 条　学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

（再試験等）
第 18 条　試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
2　再試験等の実施については、別に定める。
3　再試験等で合格した者の成績評価は、60 点（可）とする。

（追試験等）
第 19 条　病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
2　追試験等の実施については、別に定める。
3　追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附　則
この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

2.履修に関する留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験もしくは実習のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の３分の２（臨床実習科目においては５分の４）に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30 分未満の場合は３分の１回の欠席扱いとし、30 分以上の場合は１回の欠席扱いとします。

3)履修指導の体制

各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行いますので適時相談に来てください。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目（原則的に選択科目は除く）によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります（ただし、成績の評価は 60 点を上限とし、受験回数は１回のみとします）この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、初回履修時の授業への出席が授業時間の３分の２以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)臨床実習科目の履修に関する留意点

臨床実習科目を履修するためには、次の表に示す実習ごとの先修条件を満たしておく必要があります。詳細は「臨床実習の手引き」に記載していますので熟読してください。

先修条件

○理学療法学専攻

臨床実習科目名	開講年次	先修条件
早期体験実習	1年次前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1年次前期に開講された必修科目をすべて履修していること
地域理学療法実習	2年次後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期までに開講された必修科目をすべて履修していること
理学療法評価実習	3年次後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験（OSCE）に合格していること
総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ	4年次前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位をすべて修得していること

○作業療法学専攻

臨床実習科目名	開講年次	先修条件
早期体験実習	1年次前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1年次前期に開講された必修科目をすべて履修していること
地域作業療法実習	2年次後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期までに開講された必修科目をすべて履修していること
検査・測定実習	3年次前期	専門基礎科目と専門科目のうち、3年次前期までに開講された必修科目をすべて履修していること
作業療法評価実習	3年次後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験（OSCE）に合格していること
総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ	4年次前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位をすべて修得していること

3.教育目標と教育課程編成の考え方

学生は以下に示す教育目標と教育課程編成の考え方を理解し、ディプロマポリシーを達成するとともに理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるよう努めてください。

1)教育目標

日々変化する医療・社会情勢を的確にとらえ、科学的根拠に基づいた知識と技術を修得するとともに、多様化する個人・家族・社会のニーズに柔軟に対応して、地域において問題解決能力と実践力を発揮できる人材の養成を目標とします。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるように理学療法士・作業療法士学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

＜カリキュラムポリシー＞

リハビリテーション学科では、時代が求める先端医療と地域包括ケアの一翼を担う人材を育成するために各科目をバランスよく配置し、段階的に必要とされる各能力を向上させ

ることができるようカリキュラムを設定する。教育目標を達成するための学科のカリキュラムポリシーは、以下のとおりとする。

A．豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身に付ける教育
B．自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身に付ける教育
C．主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身に付ける教育
D．リハビリテーション医療職に必要な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育
E．全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育
F．リハビリテーション医療職として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身に付ける教育

各専攻のカリキュラムポリシーは以下のとおりとする。

＜理学療法学専攻のカリキュラムポリシー＞

A．理学療法士にふさわしい豊かな人間性、対象者の障害像を理解するための論理的な思考力、効率的な治療計画を立案できる的確な判断能力を身に付ける教育
B．自然や文化を大切にし、医療者としての倫理性、多様化する社会の中で理学療法士としての役割を認識できる社会性と国際的感覚を身に付ける教育
C．主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、自らの主張や意見を的確に表現する能力を身に付ける教育
D．対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させるために必要な理学療法の知識・技術と理学療法士に必要な情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育
E．理学療法士として対象者の心と身体の痛みを全人的に理解することができるとともに、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育
F．理学療法士として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、対象者が地域で自立した日常生活へ復帰させるために必要な多職種間の連携によるチームへ主体的に活動できる汎用的能力を身に付ける教育

＜作業療法学専攻のカリキュラムポリシー＞

A．対象者の心身機能の向上のみならず、生活の質を高めることも求められる作業療法士に必要な豊かな人間性、論理的な思考力、的確な問題解決能力を身に付ける教育
B．対象者の地域社会での生活支援も担う作業療法士として、自然・文化などの社会特性、倫理性を理解できると共に、多様化する社会の中で対応し得る国際的な感覚を身につける教育
C．主体的な体験や集団での討論を通して自己の意見を確立し、その意見を論理的にまとめた上で、的確に口頭や記述で表現する能力を身につける教育
D．子供から成人、高齢者までの多種多様な疾患、高次脳機能障害を対象として作業を用いた支援・治療を実践する作業療法士に必要な知識および技術、情報機器や言語・非言語的方法を用いた人とのコミュニケーション能力を身に付ける教育
E．作業療法士として、科学的、客観的な根拠に基づいた支援・治療および対象者の主観性や生活背景、障害受容過程を踏まえた精神的ケアが行える能力を身に付ける教育
F．作業療法士として、急速な少子高齢化や障害の多様化による社会的ニーズの変化に対応し、チーム医療や地域包括ケアの中で他職種と連携して活動できる協働性を培い、汎用的能力を身に付ける教育

4.ディプロマポリシーと科目の関連性

次の表はディプロマポリシー（DP）と科目の関連性を示したものです。学生は、この関連性から修得すべき事項を理解して授業に臨んでください。また、選択科目の選択においては、この関連性を参考にしてください。

理学療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

							DP① 理学療法士として備えるべき専門的知識と技術の修得により、対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させる能力を身につけ、心と身体の痛みに対して人間愛に基づいた全人的ケアを実践できる能力を備えている		DP② 理学療法士として対象者がもつ多様で個別的な保健医療ニーズを的確に捉える情報収集と問題解決能力を身につけている		DP③ 理学療法士として多職種間と連携・協働する能力を備え、チーム医療や地域包括ケアに主体的に参加することで、対象者が自立した日常生活行動を再獲得できるよう安全かつ的確に支援できる		DP④ 理学療法士としての知識と技術を高め、社会の変化と対象者の保健医療ニーズへ柔軟に対応しようとする意欲をもち、リハビリテーションの発展に貢献できる探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択		改善・向上させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	前	必			◎					○	
			英語Ⅱ	後	必			◎					○	
			英会話Ⅰ	前	必			◎					○	
			英会話Ⅱ	後	必			◎					○	
			中国語基礎Ⅰ	前	選			◎					○	
			中国語基礎Ⅱ	後	選			◎					○	
			中国語会話	前	選			◎					○	
			スペイン語基礎Ⅰ	前	選			◎					○	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	選			◎					○	
			スペイン語会話	前	選			◎					○	
			文学	後	選			◎					○	
			哲学	前	選			◎			○			
			倫理学	前	選			◎			○			
			心理学	前	必		◎					○		
			行動の科学	後	選		◎					○		
			文化人類学	後	選			◎					○	
			音楽の世界	後	選			◎					○	
			社会学	後	選			◎					○	
			日本国憲法	前	選			◎					○	
			歴史学	後	選			◎					○	
			地理学	後	選			◎					○	
			数学の世界	前	選					○				◎
			自然科学の基礎	後	選					○				◎
			環境化学の基礎	後	選					○				◎
			健康スポーツ（理論）	前	必		◎	○						
			健康スポーツ（実技）	後	選			○			◎			
			スポーツ実技Ⅰ	前	選			○			◎			
			スポーツ実技Ⅱ	後	選			○			◎			
		共生教養	共生と社会	後	選							◎	○	
			人権論	前	選							◎	○	
			ボランティア活動	前	必							◎	○	
			生活と環境	前	選							◎	○	
		奈良・国際	奈良学	前	選			◎					○	
			異文化コミュニケーション	後	選			◎					○	
			国際事情	後	必			◎					○	
		情報教養	情報機器の操作	前	必				◎	○				
			情報倫理とセキュリティ	前	選				◎	○				
			データの世界	前	選				◎	○				
			情報と分析	後	選				◎	○				
			ＣＧの基礎と演習	後	選				◎	○				
		キャリア形成	キャリアデザインⅠ	前	選			○					◎	
			キャリアデザインⅡ	後	選			○					◎	
		導入臨礎	基礎ゼミⅠ	前	必					◎				○
			基礎ゼミⅡ	後	必					◎				○

理学療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 理学療法士として備えるべき専門的知識と技術の修得により、対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させる能力を身につけ、心と身体の痛みに対して人間愛に基づいた全人的ケアを実践できる能力を備えている		DP② 理学療法士として対象者がもつ多様で個別的な保健医療ニーズを的確に捉える情報収集と問題解決能力を身につけている		DP③ 理学療法士として多職種間と連携・協働する能力を備え、チーム医療や地域包括ケアに主体的に参加することで、対象者が自立した日常生活行動を再獲得できるよう安全かつ的確に支援できる		DP④ 理学療法士としての知識と技術を高め、社会の変化と対象者の保健医療ニーズへ柔軟に対応しようとする意欲をもち、リハビリテーションの発展に貢献できる探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	改善・向上させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	前	必	◎	○						
			人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	後	必	◎	○						
			人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	後	必	◎	○						
			人体機能学Ⅰ(植物性機能)	前	必	◎	○						
			人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	◎	○						
			人間発達学	前	必	◎	○						
			運動学入門	前	必	◎	○						
			運動学Ⅰ(総論)	後	必	◎	○						
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	後	必	◎						○	
			リハビリテーション医学	前	必	◎						○	
			痛み学概論	後	必	◎						○	
			スポーツ医学	後	選	◎						○	
		保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	前	必					◎	○		
			チーム医療論	後	必					◎	○		
	専門科目	基礎理学療法学	理学療法概論	前	必	◎						○	
		臨床実習	早期体験実習(理学療法)	前	必	◎						○	
2年次	共通教育	キャリア形成	キャリアディベロップメントⅠ	前	選		◎					○	
			キャリアディベロップメントⅡ	後	選		◎					○	
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造実習	前	必	◎	○						
			人体生理機能実習	前	必	◎	○						
			運動学Ⅱ(各論)	前	必	◎	○						
			運動学演習	前	必	◎			○				
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			整形外科学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			内部障害学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			内部障害学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			神経内科学	前	必	◎	○						
			心身医学概論	後	必	◎	○						
			臨床心理	後	必	◎					○		
			薬理学概論	後	選	◎	○						
		保健医療福祉とリハビリテーション	国際リハビリテーション論	前	必		○					◎	
	専門科目	基礎理学療法学	臨床運動学	後	必	◎	○						
		理学療法評価学	理学療法評価学	前	必	◎	○	○					
			運動器障害評価学	後	必	◎	○	○					
			神経障害評価学	前	必	◎	○	○					
			内部障害評価学	後	必	◎	○	○					
		理学療法治療学	基礎運動療法学	前	必	◎	○						
			義肢装具学Ⅰ(総論)	前	必		○				◎		
			義肢装具学Ⅱ(各論)	後	必		○				◎		
			日常生活動作学	前	必		○				◎		
			日常生活動作学演習	後	必				○		◎		
		地域理学療法学	地域理学療法学	前	必						◎	○	
			地域理学療法学演習	後	必				○		◎		
		臨床実習	地域理学療法実習	後	必						◎	○	

理学療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 理学療法士として備えるべき専門的知識と技術の修得により、対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させる能力を身につけ、心と身体の痛みに対して人間愛に基づいた全人的ケアを実践できる能力を備えている		DP② 理学療法士として対象者がもつ多様で個別的な保健医療ニーズを的確に捉える情報収集と問題解決能力を身につけている		DP③ 理学療法士として多職種間と連携・協働する能力を備え、チーム医療や地域包括ケアに主体的に参加することで、対象者が自立した日常生活行動を再獲得できるよう安全かつ的確に支援できる		DP④ 理学療法士としての知識と技術を高め、社会の変化と対象者の保健医療ニーズへ柔軟に対応しようとする意欲をもち、リハビリテーションの発展に貢献できる探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	改善・向上させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
3年次	基礎専門	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	選	◎	○						
	専門科目	両専攻共通専門	医療リスクマネジメント	後	必				○			◎	
			疼痛リハビリテーション学	後	必		◎					○	
			リハビリテーション行動科学	後	必		◎					○	
			ウイメンズヘルスケア	後	必		◎					○	
			認知発達障害ケア	後	必		◎					○	
		基礎理学療法学	理学療法研究法	前	必				◎				○
			客観的臨床能力演習(理学療法)	後	必		◎		○			○	
		理学療法評価学	理学療法計画論	後	必		◎	○					
		理学療法治療学	物理療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			物理療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			筋骨格障害理学療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			中枢神経障害理学療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			中枢神経障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			小児期障害理学療法学	前	必	◎	○						
			スポーツ障害理学療法学	後	必	◎	○						
			内部障害理学療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			内部障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			内部障害理学療法学演習	後	必	○	◎						
			老年期障害理学療法学	前	必	◎	○						
			神経筋障害理学療法学	後	必	◎	○						
		地域理学療法学	福祉用具・生活環境論Ⅰ(総論)	前	必						◎	○	
			福祉用具・生活環境論Ⅱ(各論)	後	必						◎	○	
		臨床実習	理学療法評価実習	後	必	◎	○	○					
4年次	専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーション	先端リハビリテーション論	後	必							◎	○
			チーム医療論演習	後	必		○			◎			
	専門科目	両専攻共通専門	職場管理論	後	必		○			◎			
		基礎理学療法学	理学療法卒業研究	後	必				○				◎
		理学療法治療学	理学療法技術特論	後	必	◎							○
		臨床実習	総合臨床実習Ⅰ(理学療法)	前	必	◎	○	○	○				
			総合臨床実習Ⅱ(理学療法)	前	必	◎	○	○	○				

作業療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 作業療法士として、多種多様な対象者および疾患に対応するため、備えるべき専門的な知識と技術を修得する。また、全人的ケアが実践できる態度を身につけ、人生への満足度すなわち生活の質を高める支援ができる能力を備えている		DP② 作業療法士として対象者の個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集能力と保健医療の課題に対して問題解決に向けた取り組みが行える能力を備えている		DP③ 対象者が地域社会において主体的に自立した生活をおくれるように、チーム医療や地域包括ケアの中で、対象者を生活の視点で支援するという作業療法士の役割・専門性を理解し、多職種間での連携や協働ができる能力を修得する		DP④ 社会情勢や人口構成の変化に伴う社会ニーズの変化に対応し、さらなる発展に貢献するために、作業療法に対する探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	専門的知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	前	必		◎					○	
			英語Ⅱ	後	必		◎					○	
			英会話Ⅰ	前	必		◎					○	
			英会話Ⅱ	後	必		◎					○	
			中国語基礎Ⅰ	前	選		◎					○	
			中国語基礎Ⅱ	後	選		◎					○	
			中国語会話	前	選		◎					○	
			スペイン語基礎Ⅰ	前	選		◎					○	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	選		◎					○	
			スペイン語会話	前	選		◎					○	
			文学	後	選		◎					○	
			哲学	前	選		◎			○			
			倫理学	前	選		◎			○			
			心理学	前	必	◎					○		
			行動の科学	後	選	◎					○		
			文化人類学	後	選		◎					○	
			音楽の世界	後	選		◎					○	
			社会学	後	選		◎					○	
			日本国憲法	前	選		◎					○	
			歴史学	後	選		◎					○	
			地理学	後	選		◎					○	
			数学の世界	前	選				○				◎
			自然科学の基礎	後	選				○				◎
			環境化学の基礎	後	選				○				◎
			健康スポーツ（理論）	前	必	◎	○						
			健康スポーツ（実技）	後	選		○			◎			
			スポーツ実技Ⅰ	前	選		○			◎			
			スポーツ実技Ⅱ	後	選		○			◎			
		共生教養	共生と社会	後	選						◎	○	
			人権論	前	選						◎	○	
			ボランティア活動	前	必						◎	○	
			生活と環境	前	選						◎	○	
		奈良・国際	奈良学	前	選		◎					○	
			異文化コミュニケーション	後	選		◎					○	
			国際事情	後	必		◎					○	
		情報教養	情報機器の操作	前	必			◎	○				
			情報倫理とセキュリティ	前	選			◎	○				
			データの世界	前	選			◎	○				
			情報と分析	後	選			◎	○				
			ＣＧの基礎と演習	後	選			◎	○				
		キャリア形成	キャリアデザインⅠ	前	選		○					◎	
			キャリアデザインⅡ	後	選		○					◎	
		導入基礎	基礎ゼミⅠ	前	必				◎				○
			基礎ゼミⅡ	後	必				◎				○

作業療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 作業療法士として、多種多様な対象者および疾患に対応するため、備えるべき専門的な知識と技術を修得する。また、全人的ケアが実践できる態度を身につけ、人生への満足度すなわち生活の質を高める支援ができる能力を備えている		DP② 作業療法士として対象者の個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集能力と保健医療の課題に対して問題解決に向けた取り組みが行える能力を備えている		DP③ 対象者が地域社会において主体的に自立した生活をおくれるように、チーム医療や地域包括ケアの中で、対象者を生活の視点で支援するという作業療法士の役割・専門性を理解し、多職種間での連携や協働ができる能力を修得する		DP④ 社会情勢や人口構成の変化に伴う社会ニーズの変化に対応し、さらなる発展に貢献するために、作業療法に対する探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	専門的知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
1年次	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	前	必	◎	○						
			人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	後	必	◎	○						
			人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	後	必	◎	○						
			人体機能学Ⅰ(植物性機能)	前	必	◎	○						
			人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	◎	○						
			人間発達学	前	必	◎	○						
			運動学入門	前	必	◎	○						
			運動学Ⅰ(総論)	後	必	◎	○						
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	後	必	◎						○	
			リハビリテーション医学	前	必	◎						○	
			痛み学概論	後	必	◎						○	
			スポーツ医学	後	選	◎						○	
		保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	前	必					◎	○		
			チーム医療論	後	必					◎	○		
	専門科目	基礎作業療法学	作業療法概論	前	必	◎						○	
		臨床実習	早期体験実習(作業療法)	前	必	◎						○	
2年次	共通教育	キャリア形成	キャリアディベロップメントⅠ	前	選		◎					○	
			キャリアディベロップメントⅡ	後	選		◎					○	
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造実習	前	必	◎	○						
			人体生理機能実習	前	必	◎	○						
			運動学Ⅱ(各論)	前	必	◎	○						
			運動学演習	前	必	◎			○				
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			整形外科学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			内部障害学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			内部障害学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			神経内科学	前	必	○					◎		
			心身医学概論	後	必	○					◎		
			臨床心理	後	必	○					◎		
			薬理学概論	後	選	◎							
		保健医療福祉とリハビリテーション	国際リハビリテーション論	前	必		○					◎	
	専門科目	基礎作業療法学	基礎作業学	前	必	○	◎						
			作業技術学Ⅰ	後	必	○	◎						
			作業技術学Ⅱ	後	必	○	◎						
		作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ(身体)	前	必	◎	○	○					
			作業療法評価学Ⅱ(精神)	前	必	◎	○	○					
			作業療法評価学演習Ⅰ(身体)	後	必	◎		○	○				
			作業療法評価学演習Ⅱ(精神)	後	必	◎		○	○				
		作業療法治療学	身体障害作業療法学Ⅰ(総論・脳神経系)	前	必	◎	○						
			身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	前	必	◎	○						
			身体障害作業療法学Ⅲ(応用)	後	必	◎	○						
			発達障害作業療法学Ⅰ(総論)	後	必	◎	○						
		地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	○		○		○	◎		
			地域作業療法学Ⅱ(各論)	後	必		○			○		◎	
		臨床実習	地域作業療法実習	後	必	○		○		○	◎		

作業療法学専攻

ディプロマポリシーと科目の関連性

◎…特に関連が強い科目
○…関連が強い科目

						DP① 作業療法士として、多種多様な対象者および疾患に対応するため、備えるべき専門的な知識と技術を修得する。また、全人的ケアが実践できる態度を身につけ、人生への満足度すなわち生活の質を高める支援ができる能力を備えている		DP② 作業療法士として対象者の個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集能力と保健医療の課題に対して問題解決に向けた取り組みが行える能力を備えている		DP③ 対象者が地域社会において主体的に自立した生活をおくれるように、チーム医療や地域包括ケアの中で、対象者を生活の視点で支援するという作業療法士の役割・専門性を理解し、多職種間での連携や協働ができる能力を修得する		DP④ 社会情勢や人口構成の変化に伴う社会ニーズの変化に対応し、さらなる発展に貢献するために、作業療法に対する探求心と研究心を備えている	
年次	科目区分	科目群	科目名	開講期	必修選択	専門的知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	問題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と研究心
3年次	基礎専門	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	選	◎	○						
	専門科目	両専攻共通専門	医療リスクマネジメント	後	必				○			◎	
			疼痛リハビリテーション学	前	選	○						◎	
			リハビリテーション行動科学	後	選	○						◎	
			ウイメンズヘルスケア	前	選	○						◎	
			認知発達障害ケア	後	必	○						◎	
		基礎作業療法学	作業療法研究法	前	必			○	○				◎
			客観的臨床能力演習	後	必	◎		○					
		作業療法評価学	作業療法総合演習	後	必	◎		○					
		作業療法治療学	精神障害作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			発達障害作業療法学Ⅱ(各論)	前	必	◎	○						
			老年期障害作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			高次脳機能障害作業療法学Ⅰ(総論)	前	必	◎	○						
			高次脳機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	◎	○						
			日常生活支援学Ⅰ(総論)	前	必	○					◎		
			日常生活支援学Ⅱ(各論)	後	必	○					◎		
			作業療法特論Ⅰ(身体障害)	前	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅱ(精神障害)	後	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅲ(発達障害)	前	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅳ(老年期障害)	後	必	◎	○						
			作業療法特論Ⅴ(高次脳機能障害)	後	必	◎	○						
			義肢装具学	前	必	○					◎		
		地域作業療法学	生活環境整備論	後	必	○					◎		
		臨床実習	検査・測定実習	前	必	◎		○	○				
			作業療法評価実習	後	必	◎		○	○				
4年次	専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーション	先端リハビリテーション論	後	必		○					◎	
			チーム医療論演習	後	必				○	◎			
	専門科目	両専攻共通専門	職場管理論	後	必				○	◎			
		基礎作業療法学	作業療法卒業研究	後	必			○	○				◎
		臨床実習	総合臨床実習Ⅰ(作業療法)	前	必	◎	○	○	○				
			総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	前	必	◎	○	○	○				

授業科目表

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●								30	必修15単位 選択16単位 以上
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1後		○		○		○		○	30	
		スペイン語会話		1	1前	○		○		○		○		30	
		文学		2	1後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1前	○		○		○		○		30	
		心理学	2		1前	●								30	
		行動の科学		2	1後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1後		○		○		○		○	30	
		日本国憲法		2	1前	○		○		○		○		30	
		歴史学		2	1後		○		○		○		○	30	
		地理学		2	1後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1前	○		○		○		○		30	
		自然科学の基礎		2	1後		○		○		○		○	30	
		環境化学の基礎		2	1後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ（理論）	1		1前	●								15	
		健康スポーツ（実技）		1	1後		○		○		○		○	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1前	○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1後		○		○		○		○	30	
	共生教養	共生と社会		2	1後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動	2		1前	●								30	
		生活と環境		2	1前	○		○		○		○		30	
	奈良国際	奈良学		2	1前	○		○		○		○		30	
		異文化コミュニケーション		2	1後		○		○		○		○	30	
		国際事情	2		1後		●							30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1前	●								30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1前	○		○		○		○		30	
		データの世界		2	1前	○		○		○		○		30	
		情報と分析		2	1後		○		○		○		○	30	
		ＣＧの基礎と演習		2	1後		○		○		○		○	30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後		○							30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				○					30	
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1		1前	●								30	
		基礎ゼミⅡ	1		1後		●							30	
	小計（46科目）		15	57	—										

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1		1前	●								30	必修14単位
		人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1		1後		●							30	
		人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1		1後		●							30	
		人体構造実習	2		2前			●						60	
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1		1前	●								30	
		人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1		1後		●							30	
		人体生理機能実習	2		2前			●						60	
		人間発達学	1		1前	●								30	
		運動学入門	1		1前	●								30	
		運動学Ⅰ（総論）	1		1後		●							30	
		運動学Ⅱ（各論）	1		2前			●						30	
		運動学演習	1		2前			●						30	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	1		1後		●							30	必修10単位 選択2単位 以上
		リハビリテーション医学	1		1前	●								30	
		痛み学概論	1		1後		●							30	
		整形外科学Ⅰ（総論）	1		2前			●						30	
		整形外科学Ⅱ（各論）	1		2後				●					30	
		内部障害学Ⅰ（総論）	1		2前			●						30	
		内部障害学Ⅱ（各論）	1		2後				●					30	
		神経内科学	1		2前			●						30	
		心身医学概論	1		2後				●					30	
		臨床心理	1		2後				●					30	
		スポーツ医学		1	1後		○							30	
		薬理学概論		1	2後				○					30	
		救命救急学概論		1	3後						○			30	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1		1前	●								15	必修 5単位
		先端リハビリテーション論	1		4後								●	30	
		チーム医療論	1		1後		●							15	
		チーム医療論演習	1		4後								●	30	
		国際リハビリテーション論	1		2前			●						30	
	小計（30科目）		29	3	—										
専門科目（両専攻）	共通専門	医療リスクマネジメント	1		3後						●			15	必修2単位 選択2単位 以上
		職場管理論	1		4後								●	15	
		疼痛リハビリテーション学		1	3前					○				30	
		リハビリテーション行動科学		1	3後						○			30	
		ウイメンズヘルスケア		1	3前					○				30	
		認知発達障害ケア		1	3後						○			30	

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門科目（理学療法学専攻）	基礎理学療法学	理学療法概論	1		1前	●								30	必修7単位
		臨床運動学	1		2後				●					30	
		理学療法研究法	1		3前					●				30	
		客観的臨床能力演習（理学療法）	2		3後						●			30	
		理学療法卒業研究	2		4後								●	30	
	理学療法評価学	理学療法評価学	1		2前			●						30	必修6単位
		運動器障害評価学	1		2後				●					30	
		神経障害評価学	1		2前			●						30	
		内部障害評価学	1		2後				●					30	
		理学療法計画論	2		3後						●			30	
	理学療法治療学	基礎運動療法学	1		2前			●						15	必修20単位
		義肢装具学Ⅰ（総論）	1		2前			●						30	
		義肢装具学Ⅱ（各論）	1		2後				●					30	
		物理療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		物理療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		筋骨格障害理学療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		筋骨格障害理学療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		中枢神経障害理学療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		中枢神経障害理学療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		小児期障害理学療法学	1		3前					●				30	
		スポーツ障害理学療法学	1		3後						●			30	
		内部障害理学療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		内部障害理学療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		内部障害理学療法学演習	1		3後						●			30	
		老年期障害理学療法学	1		3前					●				30	
		神経筋障害理学療法学	1		3後						●			30	
		日常生活動作学	1		2前			●						30	
		日常生活動作学演習	2		2後				●					30	
		理学療法技術特論	1		4後								●	30	
	地域理学療法学	地域理学療法学	1		2前			●						30	必修5単位
		地域理学療法学演習	2		2後				●					30	
		福祉用具・生活環境論Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		福祉用具・生活環境論Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
	臨床実習	早期体験実習（理学療法）	1		1前	●								45	必修22単位
		地域理学療法実習	2		2後				●					90	
		理学療法評価実習	3		3後						●			135	
		総合臨床実習Ⅰ（理学療法）	8		4前							●		360	
		総合臨床実習Ⅱ（理学療法）	8		4前							●		360	
	小計（44科目）		62	4	—										

科目区分	科目群	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門科目（作業療法学専攻）	基礎作業療法学	作業療法概論	1		1前	●								30	必修8単位
		基礎作業学	1		2前			●						30	
		作業技術学Ⅰ	1		2後				●					30	
		作業技術学Ⅱ	1		2後				●					30	
		作業療法研究法	1		3前					●				30	
		作業療法卒業研究	2		4後								●	30	
		客観的臨床能力演習（作業療法）	1		3後						●			30	
	作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ（身体）	1		2前			●						30	必修5単位
		作業療法評価学Ⅱ（精神）	1		2前			●						30	
		作業療法評価学演習Ⅰ（身体）	1		2後				●					30	
		作業療法評価学演習Ⅱ（精神）	1		2後				●					30	
		作業療法総合演習	1		3後								●	30	
	作業療法治療学	身体障害作業療法学Ⅰ（総論・脳神経系）	1		2前			●						30	必修20単位
		身体障害作業療法学Ⅱ（運動器・難病）	1		2前			●						30	
		身体障害作業療法学Ⅲ（応用）	1		2後				●					30	
		精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		精神障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		2後				●					30	
		発達障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3前					●				30	
		老年期障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		老年期障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		高次脳機能障害作業療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		高次脳機能障害作業療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		日常生活支援学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		日常生活支援学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		作業療法特論Ⅰ（身体障害）	1		3前					●				15	
		作業療法特論Ⅱ（精神障害）	1		3後						●			15	
		作業療法特論Ⅲ（発達障害）	1		3前					●				15	
		作業療法特論Ⅳ（老年期障害）	1		3後						●			15	
		作業療法特論Ⅴ（高次脳機能障害）	1		3後						●			15	
		義肢装具学	2		3前					●				30	
	地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ（総論）	2		2前				●					30	必修4単位
		地域作業療法学Ⅱ（各論）	1		2後					●				30	
		生活環境整備論	1		3後						●			30	
	臨床実習	早期体験実習（作業療法）	1		1前	●								45	必修23単位
		地域作業療法実習	2		2後				●					90	
		検査・測定実習	1		3前					●				45	
		作業療法評価実習	3		3後						●			135	
		総合臨床実習Ⅰ（作業療法）	8		4前							●		360	
		総合臨床実習Ⅱ（作業療法）	8		4前							●		360	
	小計（46科目）		62	4	—										
理学療法学専攻　合計(120科目)126単位以上 作業療法学専攻　合計(122科目)126単位以上			106	64	—										

選択科目履修モデル

選択科目の中から希望する就職先（病院・クリニック、訪問看護ステーション・老人保健施設、大学院進学）に合わせ、自らの志向により科目を選択履修してください。

履修モデル１（病院・クリニック）

１年次		２年次		３年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報理論とｾｷｭﾘﾃｨ	薬理学概論	疼痛ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学	救命救急学概論
人権論	健康スポーツ（実技）				ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	情報と分析				

履修モデル２（訪問看護ステーション・老人保健施設）

１年次		２年次		３年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学		薬理学概論		救命救急学概論
日本国憲法	健康スポーツ（実技）				ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ行動科学
人権論	共生と社会				認知発達障害ケア
生活と環境					
奈良学					
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ					

履修モデル３（大学院進学）

１年次		２年次		３年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報倫理とｾｷｭﾘﾃｨ	薬理学概論	疼痛ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学	救命救急学概論
数学の世界	健康スポーツ（実技）				ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	情報と分析				
	スポーツ医学				

履修モデル１（理学療法学専攻）（病院、クリニック就職希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ（理論）	1	必	健康スポーツ（実技）	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						4		
		人権論	2	選																								
	奈良・国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造及び心身の発達と機能	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1	必	人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1	必	人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1	必	人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1	必	運動学Ⅱ（各論）	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ（総論）	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復の過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ（総論）	1	必	整形外科学Ⅱ（各論）	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害学Ⅱ（各論）	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	保健・福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	両専門共通専攻													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	基礎理学療法学	理学療法概論	1	必							臨床運動学	1	必	理学療法研究法	1	必										7		必修7単位
																	客観的臨床能力演習（理学療法）	2	必				理学療法卒業研究	2	必			
	理学療法評価学							理学療法評価学	1	必	運動器障害評価学	1	必				理学療法計画論	2	必							6		必修6単位
								神経障害評価学	1	必	内部障害評価学	1	必															
	理学療法治療学							基礎運動療法学	1	必	義肢装具学Ⅱ（各論）	1	必	物理療法学Ⅰ（総論）	1	必	物理療法学Ⅱ（各論）	1	必				理学療法技術特論	1	必	20		必修20単位
								義肢装具学Ⅰ（総論）	1	必	日常生活動作学演習	2	必	筋骨格障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	筋骨格障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
								日常生活動作学	1	必				中枢神経障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	中枢神経障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														小児期障害理学療法学	1	必	スポーツ障害理学療法学	1	必									
														内部障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														老年期障害理学療法学	1	必	内部障害理学療法学演習	1	必									
																	神経筋障害理学療法学	1	必									
	地域理学療法学							地域理学療法学	1	必	地域理学療法学演習	2	必	福祉用具・生活環境論Ⅰ（総論）	1	必	福祉用具・生活環境論Ⅱ（各論）	1	必							5		必修5単位
	臨床実習	早期体験実習（理学療法）	1	必							地域理学療法実習	2	必				理学療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ（理学療法）	8	必				22		必修22単位
																				総合臨床実習Ⅱ（理学療法）	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必	15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選	16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	6	必修	11	11	必修	4	5	必修			必修		1	必修			必修	2	2	必	29	31	
		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択	1		選択			選択			選	2		
専門		必修	2	2	必修			必修	6	6	必修	10	10	必修	8	9	必修	16	17	必修	16	16	必修	4	4	必	62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選	2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**18**	**必修**	**17**	**19**	**必修**	**14**	**15**	**必修**	**8**	**9**	**必修**	**16**	**18**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**6**	**6**	**必**	**106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**7**		**選択**	**2**		**選択**	**1**		**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選**	**20**		
		必修29 選択14 合計43						**必修31 選択3 合計34**						**必修24 選択3 合計27**						**必修22 選択0 合計22**									

履修モデル２（理学療法学専攻）（訪問看護ステーション、老人保健施設就職希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ（理論）	1	必	健康スポーツ（実技）	1	選																					
		倫理学	2	選																								
		日本国憲法	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						8		
		人権論	2	選																								
		生活と環境	2	選	共生と社会	2	選																					
	奈良・国際	奈良学	2	選	国際事情	2	必																			4		
	情報教養	情報機器の操作	2	必																						2		
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1	必	人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1	必	人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1	必	人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1	必	運動学Ⅱ（各論）	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ（総論）	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ（総論）	1	必	整形外科学Ⅱ（各論）	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害学Ⅱ（各論）	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	専攻共通専門																医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
																	認知発達障害ケア	1	選									
	理学療法学基礎	理学療法概論	1	必							臨床運動学	1	必	理学療法研究法	1	必										7		必修7単位
																	客観的臨床能力演習（理学療法）	2	必				理学療法卒業研究	2	必			
	理学療法評価学							理学療法評価学	1	必	運動器障害評価学	1	必				理学療法計画論	2	必							6		必修6単位
								神経障害評価学	1	必	内部障害評価学	1	必															
	理学療法治療学							基礎運動療法学	1	必	義肢装具学Ⅱ（各論）	1	必	物理療法学Ⅰ（総論）	1	必	物理療法学Ⅱ（各論）	1	必				理学療法技術特論	1	必	20		必修20単位
								義肢装具学Ⅰ（総論）	1	必	日常生活動作学演習	2	必	筋骨格障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	筋骨格障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
								日常生活動作学	1	必				中枢神経障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	中枢神経障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														小児期障害理学療法学	1	必	スポーツ障害理学療法学	1	必									
														内部障害理学療法学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害理学療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														老年期障害理学療法学	1	必	内部障害理学療法学演習	1	必									
																	神経筋障害理学療法学	1	必									
	地域理学療法学							地域理学療法学	1	必	地域理学療法学演習	2	必	福祉用具・生活環境論Ⅰ（総論）	1	必	福祉用具・生活環境論Ⅱ（各論）	1	必							5		必修5単位
	臨床実習	早期体験実習（理学療法）	1	必							地域理学療法実習	2	必				理学療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ（理学療法）	8	必				22		必修22単位
																				総合臨床実習Ⅱ（理学療法）	8	必						
共通教育		必修 10	21		必修 5	10		必修			必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	
		選択 11			選択 5			選択			選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修 6	6		必修 6	6		必修 11	11		必修 4	5		必修		1	必修		1	必修		2	必修 2		2	必 29	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択			選択			選択			選択 1			選択			選択 1			選択			選択			選 2		
専門		必修 2	2		必修			必修 6	6		必修 10	10		必修 8	8		必修 16	18		必修 16	16		必修 4	4		必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択			選択 2			選択			選択			選 2		
合計		**必修 18**	**29**		**必修 11**	**16**		**必修 17**	**17**		**必修 14**	**15**		**必修 8**	**8**		**必修 16**	**19**		**必修 16**	**16**		**必修 6**	**6**		**必 106**	**126**	
		選択 11			**選択 5**			**選択**			**選択 1**			**選択**			**選択 3**			**選択**			**選択**			**選 20**		
		必修29 選択16 合計45						**必修31 選択1 合計32**						**必修24 選択3 合計27**						**必修22 選択0 合計22**								

コンピュータに戻る

履修モデル３（理学療法学専攻）（大学院進学希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			16	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ(理論)	1	必	健康スポーツ(実技)	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
		数学の世界	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						2		
	奈良・国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	1	必	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	1	必	人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ(植物性機能)	1	必	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	1	必	運動学Ⅱ(各論)	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ(総論)	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ(総論)	1	必	整形外科学Ⅱ(各論)	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ(総論)	1	必	内部障害学Ⅱ(各論)	1	必															
					スポーツ医学	1	選	神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
	福祉機器とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	共通専門 両専攻													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	基礎理学療法学	理学療法概論	1	必							臨床運動学	1	必	理学療法研究法	1	必										7		必修7単位
																	客観的臨床能力演習(理学療法)	2	必				理学療法卒業研究	2	必			
	理学療法評価学							理学療法評価学	1	必	運動器障害評価学	1	必				理学療法計画論	2	必							6		必修6単位
								神経障害評価学	1	必	内部障害評価学	1	必															
	理学療法治療学							基礎運動療法学	1	必	義肢装具学Ⅱ(各論)	1	必	物理療法学Ⅰ(総論)	1	必	物理療法学Ⅱ(各論)	1	必				理学療法技術特論	1	必	20		必修20単位
								義肢装具学Ⅰ(総論)	1	必	日常生活動作学演習	2	必	筋骨格障害理学療法学Ⅰ(総論)	1	必	筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	1	必									
								日常生活動作学	1	必				中枢神経障害理学療法学Ⅰ(総論)	1	必	中枢神経障害理学療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														小児期障害理学療法学	1	必	スポーツ障害理学療法学	1	必									
														内部障害理学療法学Ⅰ(総論)	1	必	内部障害理学療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														老年期障害理学療法学	1	必	内部障害理学療法学演習	1	必									
																	神経筋障害理学療法学	1	必									
	地域理学療法学							地域理学療法学	1	必	地域理学療法学演習	2	必	福祉用具・生活環境論Ⅰ(総論)	1	必	福祉用具・生活環境論Ⅱ(各論)	1	必							5		必修5単位
	臨床実習	早期体験実習(理学療法)	1	必							地域理学療法実習	2	必				理学療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ(理学療法)	8	必				22		必修22単位
																				総合臨床実習Ⅱ(理学療法)	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必	15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選	16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	7	必修	11	11	必修	4	4	必修		1	必修		1	必修		2	必修	2	2	必	29	31	
		選択			選択	1		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択			選	2		
専門		必修	2	2	必修			必修	6	6	必修	10	10	必修	8	9	必修	16	17	必修	16	16	必修	4	4	必	62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選	2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**19**	**必修**	**17**	**19**	**必修**	**14**	**14**	**必修**	**8**	**9**	**必修**	**16**	**18**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**6**	**6**	**必**	**106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**8**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選**	**20**		
		必修29　選択15　合計44						**必修31　選択2　合計33**						**必修24　選択3　合計27**						**必修22　選択0　合計22**									

✐履修モデル４（作業療法学専攻）（病院、クリニック就職希望者）

科目区分		1年生						2年生						3年生						4年生						単位		卒業要件
		<前　期>			<後　期>			<前　期>			<後　期>			<前　期>			<後　期>			<前　期>			<後　期>					
		科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分			
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ(理論)	1	必	健康スポーツ(実技)	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						4		
		人権論	2	選																								
	奈良・国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ(総論・組織学)	1	必	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	1	必	人体構造学Ⅲ(神経・運動器)	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ(植物性機能)	1	必	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	1	必	運動学Ⅱ(各論)	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ(総論)	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ(総論)	1	必	整形外科学Ⅱ(各論)	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ(総論)	1	必	内部障害学Ⅱ(各論)	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	両専攻共通専門													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	基礎作業療法学	作業療法概論	1	必				作業技術学Ⅰ	1	必	作業技術学Ⅱ	1	必	作業療法研究法	1	必							作業療法卒業研究	2	必	8		必修8単位
											作業技術学Ⅲ	1	必				客観的臨床能力演習(作業療法)	1	必									
	作業療法評価学							作業療法評価学Ⅰ(身体)	1	必	作業療法評価学演習Ⅰ(身体)	1	必				作業療法総合演習	1	必							5		必修5単位
								作業療法評価学Ⅱ(精神)	1	必	作業療法評価学演習Ⅱ(精神)	1	必															
	作業療法治療学							身体障害作業療法学Ⅰ(総論・脳神経系)	1	必	身体障害作業療法学Ⅲ(応用)	1	必	精神障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必							20		必修20単位
								身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	1	必	発達障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	発達障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必	老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														老年期障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	1	必									
														高次脳機能障害作業療法学Ⅰ(総論)	1	必	日常生活支援学Ⅱ	1	必									
														日常生活支援学Ⅰ	1	必	作業療法特論Ⅱ(精神障害)	1	必									
														作業療法特論Ⅰ(身体障害)	1	必	作業療法特論Ⅳ(老年期障害)	1	必									
														作業療法特論Ⅲ(発達障害)	1	必	作業療法特論Ⅴ(高次脳機能障害)	1	必									
														義肢装具学	2	必												
	地域作業療法学							地域作業療法学Ⅰ(総論)	2	必	地域作業療法学Ⅱ(各論)	1	必				生活環境整備論	1	必							4		必修4単位
	臨床実習	早期体験実習(作業療法)	1	必							地域作業療法実習	2	必	検査・測定実習	1	必	作業療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ(作業療法)	8	必				23		必修23単位
																				総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	6	必修	11	11	必修	4	5	必修			必修		1	必修			必修	2	2	必 29	31	
		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択	1		選択			選択			選 2		
専門		必修	2	2	必修			必修	7	7	必修	9	9	必修	11	12	必修	14	15	必修	16	16	必修	3	3	必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選 2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**18**	**必修**	**18**	**20**	**必修**	**13**	**14**	**必修**	**11**	**12**	**必修**	**14**	**16**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**5**	**5**	**必 106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**7**		**選択**	**2**		**選択**	**1**		**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選 20**		
		必修29　選択14　合計43						**必修31　選択3　合計34**						**必修25　選択3　合計28**						**必修21　選択0　合計21**								

☞履修モデル５（作業療法学専攻）（訪問看護ステーション、老人保健施設就職希望者）

科目区分		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			14	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ（理論）	1	必	健康スポーツ（実技）	1	選																					
		倫理学	2	選																								
		日本国憲法	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						8		
		人権論	2	選																								
		生活と環境	2	選	共生と社会	2	選																					
	奈良・国際	奈良学	2	選	国際事情	2	必																			4		
	情報教養	情報機器の操作	2	必																						2		
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1	必	人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1	必	人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1	必	人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1	必	運動学Ⅱ（各論）	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ（総論）	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成立ちと回復過程及び促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ（総論）	1	必	整形外科学Ⅱ（各論）	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害学Ⅱ（各論）	1	必															
								神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
											薬理学概論	1	選															
	福祉と医療チーム医療	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	専攻共通専門																医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
																	認知発達障害ケア	1	選									
	基礎作業療法学	作業療法概論	1	必				作業技術学Ⅰ	1	必	作業技術学Ⅱ	1	必	作業療法研究法	1	必							作業療法卒業研究	2	必	8		必修8単位
											作業技術学Ⅲ	1	必				客観的臨床能力演習（作業療法）	1	必									
	作業療法評価学							作業療法評価学Ⅰ（身体）	1	必	作業療法評価学演習Ⅰ（身体）	1	必				作業療法総合演習	1	必							5		必修5単位
								作業療法評価学Ⅱ（精神）	1	必	作業療法評価学演習Ⅱ（精神）	1	必															
	作業療法治療学							身体障害作業療法学Ⅰ（総論・脳神経系）	1	必	身体障害作業療法学Ⅲ（応用）	1	必	精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	精神障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必							20		必修20単位
								身体障害作業療法学Ⅱ（運動器・臓所）	1	必	発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	発達障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必	老年期障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														老年期障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														高次脳機能障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	日常生活支援学Ⅱ	1	必									
														日常生活支援学Ⅰ	1	必	作業療法特論Ⅱ（精神障害）	1	必									
														作業療法特論Ⅰ（身体障害）	1	必	作業療法特論Ⅳ（老年期障害）	1	必									
														作業療法特論Ⅲ（発達障害）	1	必	作業療法特論Ⅴ（高次脳機能障害）	1	必									
														義肢装具学	2	必											
	地域作業療法学							地域作業療法学Ⅰ（総論）	2	必	地域作業療法学Ⅱ（各論）	1	必				生活環境整備論	1	必							4		必修4単位
	臨床実習	早期体験実習（作業療法）	1	必							地域作業療法実習	2	必	検査・測定実習	1	必	作業療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ（作業療法）	8	必				23		必修23単位
																				総合臨床実習Ⅱ（作業療法）	8	必						
共通教育		必修	10	21	必修	5	10	必修			必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	11		選択	5		選択			選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	6	必修	11	11	必修	4	5	必修		1	必修			必修		2	必修	2	4	必 29	31	
		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択	1		選択			選択			選 2		
専門		必修	2	2	必修			必修	7	7	必修	9	9	必修	11	11	必修	14	16	必修	16	16	必修	3	3	必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択			選択	2		選択			選択			選 2		
合計		必修	18	29	必修	11	16	必修	18	18	必修	13	14	必修	11	11	必修	14	17	必修	16	16	必修	5	5	必 106	126	
		選択	11		選択	5		選択			選択	1		選択			選択	3		選択			選択			選 20		
		必修29 選択16 合計45						必修31 選択1 合計32						必修25 選択3 合計28						必修21 選択0 合計21								

✐履修モデル６（作業療法学専攻）（大学院進学希望者）

科目区分		1年生						2年生						3年生						4年生						単位		卒業要件
		＜前　期＞			＜後　期＞			＜前　期＞			＜後　期＞			＜前　期＞			＜後　期＞			＜前　期＞			＜後　期＞					
		科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分	科　目	単位	区分			
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			16	31	必修15単位、選択16単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		心理学	2	必	行動の科学	2	選																					
		健康スポーツ（理論）	1	必	健康スポーツ（実技）	1	選																					
		倫理学	2	選	自然科学の基礎	2	選																					
		数学の世界	2	選																								
	共生教養	ボランティア活動	2	必																						2		
	奈良･国際				国際事情	2	必																			2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	情報と分析	2	選	情報倫理とセキュリティ	2	選																8		
		データの世界	2	選																								
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1	選																						1		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1	必	基礎ゼミⅡ	1	必																			2		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1	必	人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1	必	人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1	必																14	31	必修14単位
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1	必	人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1	必	運動学Ⅱ（各論）	1	必																		
		人間発達学	1	必	運動学Ⅰ（総論）	1	必	運動学演習	1	必																		
		運動学入門	1	必				人体構造実習	2	必																		
								人体生理機能実習	2	必																		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	1	必	精神医学	1	必	整形外科学Ⅰ（総論）	1	必	整形外科学Ⅱ（各論）	1	必				救命救急学概論	1	選							12		必修10単位、選択2単位以上
					痛み学概論	1	必	内部障害学Ⅰ（総論）	1	必	内部障害学Ⅱ（各論）	1	必															
					スポーツ医学	1	選	神経内科学	1	必	心身医学概論	1	必															
											臨床心理	1	必															
	保健医療福祉とリハビリテーション	リハビリテーション概論	1	必	チーム医療論	1	必	国際リハビリテーション論	1	必													先端リハビリテーション論	1	必	5		必修5単位
																							チーム医療論演習	1	必			
専門科目	両専攻共通													疼痛リハビリテーション学	1	選	医療リスクマネジメント	1	必				職場管理論	1	必	4	64	必修2単位、選択2単位以上
																	リハビリテーション行動科学	1	選									
	基礎作業療法学	作業療法概論	1	必				作業技術学Ⅰ	1	必	作業技術学Ⅱ	1	必	作業療法研究法	1	必							作業療法卒業研究	2	必	8		必修8単位
											作業技術学Ⅲ	1	必				客観的臨床能力演習（作業療法）	1	必									
	作業療法評価学							作業療法評価学Ⅰ（身体）	1	必	作業療法評価学演習Ⅰ（身体）	1	必				作業療法総合演習	1	必							5		必修5単位
								作業療法評価学Ⅱ（精神）	1	必	作業療法評価学演習Ⅱ（精神）	1	必															
	作業治療学							身体障害作業療法学Ⅰ（総論・脳神経系）	1	必	身体障害作業療法学Ⅲ（応用）	1	必	精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	精神障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必							20		必修20単位
								身体障害作業療法学Ⅱ（運動器・難病）	1	必	発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	発達障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必	老年期障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														老年期障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ（各論）	1	必									
														高次脳機能障害作業療法学Ⅰ（総論）	1	必	日常生活支援学Ⅱ	1	必									
														日常生活支援学Ⅰ	1	必	作業療法特論Ⅱ（精神障害）	1	必									
														作業療法特論Ⅰ（身体障害）	1	必	作業療法特論Ⅳ（老年期障害）	1	必									
														作業療法特論Ⅲ（発達障害）	1	必	作業療法特論Ⅴ（高次脳機能障害）	1	必									
														義肢装具学	2	必												
	地域作業療法学							地域作業療法学Ⅰ（総論）	2	必	地域作業療法学Ⅱ（各論）	1	必				生活環境整備論	1	必							4		必修4単位
	臨床実習	早期体験実習（作業療法）	1	必							地域作業療法実習	2	必	検査・測定実習	1	必	作業療法評価実習	3	必	総合臨床実習Ⅰ（作業療法）	8	必				23		必修23単位
																				総合臨床実習Ⅱ（作業療法）	8	必						
共通教育		必修	10	17	必修	5	12	必修		2	必修			必修			必修			必修			必修			必 15	31	必修106単位 選択 20単位 合計126単位以上
		選択	7		選択	7		選択	2		選択			選択			選択			選択			選択			選 16		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	7	必修	11	11	必修	4	4	必修			必修		1	必修			必修	2	2	必 29	31	
		選択			選択	1		選択			選択			選択			選択	1		選択			選択			選 2		
専門		必修	2	2	必修			必修	7	7	必修	9	9	必修	11	12	必修	14	15	必修	16	16	必修	3	3	必 62	64	
		選択			選択			選択			選択			選択	1		選択	1		選択			選択			選 2		
合計		**必修**	**18**	**25**	**必修**	**11**	**19**	**必修**	**18**	**20**	**必修**	**13**	**13**	**必修**	**11**	**12**	**必修**	**14**	**16**	**必修**	**16**	**16**	**必修**	**5**	**5**	**必 106**	**126**	
		選択	**7**		**選択**	**8**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**	**1**		**選択**	**2**		**選択**			**選択**			**選 20**		
		必修29　選択15　合計44						**必修31　選択2　合計33**						**必修25　選択3　合計28**						**必修21　選択0　合計21**								

2019 履修の手引

奈良学園大学

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY
〒631-8524 奈良県奈良市中登美ヶ丘3丁目15-1
FAX 0742-95-9850